

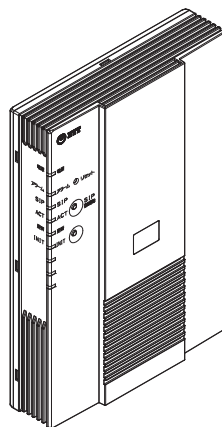
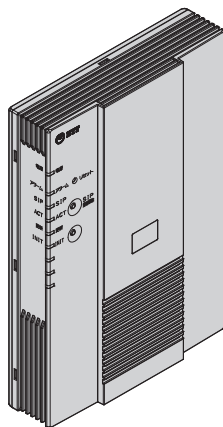
データコネクタアダプタ

SIP-TA-200、SIP-TA-3200

取扱説明書

このたびは、データコネクタアダプタ SIP-TA-200、SIP-TA-3200
をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください





この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本書中のマーク説明

■表示の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

△記号は、注意事項を示しています。					
 注意	 発火注意	 感電注意			
○記号は、してはいけない内容を示しています。					
 禁止	 火気禁止	 風呂等での 使用禁止	 分解禁止	 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止
●記号は、実行しなければならない内容を示しています。					
 電源プラグ を抜く					

ご使用にあたって

本商品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧したあとは、動作を確実にするため、一度電源アダプタを電源コンセントから抜いた後、10 秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

警告

設置場所

● 風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● 水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● 本商品や電源アダプタのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



● 本商品や電源アダプタを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所



● 電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源アダプタと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

電源アダプタは容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。



警告

こんなときは

● 発煙した場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタを抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● 水が商品内部に入った場合

万一、本商品やケーブルの内部に水などがに入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異物が商品内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



● 電源アダプタのコードが傷んだ場合

電源アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



● 異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合

本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



警告

禁止事項

● 電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



● 電源アダプタのコードの取り扱い注意

電源アダプタのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。

重い物を載せたり、加熱したりすると電源アダプタのコードが破損し、火災・感電の原因となります。



● 延長コード

電源アダプタには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



● たこ足配線の禁止

本商品の電源アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



● 商用電源以外の使用禁止

AC100 V (50/60 Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



● 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



警告

● 分解・改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



● むらすことの禁止

本商品や電源アダプタ、ケーブルに水が入ったりしないよう、また、むらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



● むれた手でのご操作禁止

むれた手で本商品や電源アダプタ、ケーブルを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他のご注意

● 異物を入れないための注意

本商品やケーブルの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



⚠ 注意

設置場所

● 火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブル類、電源アダプタのコード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● 温度の低い場所への設置禁止

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



● 湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度90%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を逆さまに置かないでください。



⚠ 注意

- **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**
- **本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。**
- **屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。**
- **塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**



禁止事項

- **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
 - ・ 横向きに寝かせる
 - ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
 - ・ 毛布や布団をかぶせる



⚠ 注意

電源

● 電源アダプタの取り扱い注意

電源アダプタは電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



● 電源アダプタの清掃

電源アダプタと電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。清掃の際は、必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



● 長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。



● 本商品の電源アダプタの抜き差しをする場合は、電源アダプタを電源コンセントから抜いたら、10秒以上あけてから差し込んでください。



その他のご注意

● 移動させるときの注意

移動させる場合は、電源アダプタを電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



● 雷のときの注意

落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控ください。落雷時に、火災・感電・故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、電源アダプタのコードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



● 火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。商品故障の恐れがあります。



注意

- 本書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- 本商品は、スタンドを取り付けて設置してください。
転倒により、けが・故障の原因となることがあります。
- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けるとデータ通信ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、データ通信ができないときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- お客様ご利用の固有環境に合わせた具体的な操作・障害などについては、サポート対象外となります。
- ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報漏洩などの危険を回避するため、必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

データ通信ご利用に関する注意事項

- データ通信をご利用いただくためには、フレッツ 光ネクストまたはフレッツ 光ライト、およびひかり電話サービスのご契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ご利用いただくことはできません。
- ご使用の環境により、通信中に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- 再起動中は通信ができません。
- 「Web設定」により、IP端末やパソコンなどの通信が切断される場合があります。設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。
- ファームウェアの更新に伴う再起動中（約3分程度）は、全ての接続が切断されます。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。データの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、交換される場合には、本商品の設定を工場出荷時の状態に戻し、本商品内に登録または保持されたデータを消去していただきますようお願いいたします。
- 本商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、最寄の自治体にお問い合わせください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順に従って実施してください。

本書における商標の表記について

- Internet Explorer[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

※Windows[®] 7は、Windows[®] 7 Home Premium、Windows[®] 7 Professional、Windows[®] 7 Enterprise、Windows[®] 7 Ultimateの各日本語版かつ32ビット(x86)/64ビット(x64)版の略です。

※Windows Vista[®]は、Windows Vista[®] Home Basic、Windows Vista[®] Home Premium、Windows Vista[®] Business およびWindows Vista[®] Ultimateの各日本語版かつ32ビット(x86)版の略です。

※Windows[®] XPは、Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating system およびMicrosoft[®] Windows[®] XP Professional operating systemの略です。

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本商品のOSには、米国Wind River Systems, Inc.のVxWorks[®]を採用しています。

VxWorks[®]は、米国Wind River Systems, Inc.の登録商標です。

- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークは、NTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライトおよびデータコネクトは、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本書に記載されている製品名はそれぞれの販売元あるいは製造元の登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
ご利用前の注意事項	13
目次	15
マニュアルの読み進めかた	19
1 章 最初に確認する	1-1
1-1 セットを確認してください	1-2
SIP-TA-200 (本体が黒色) の場合	1-2
SIP-TA-3200 (本体が白色) の場合	1-3
1-2 各部の名前	1-5
SIP-TA-200 (本体が黒色) の場合	1-5
SIP-TA-3200 (本体が白色) の場合	1-8
1-3 あらかじめ確認してください	1-11
パソコンの準備	1-11
対応 OS の確認と Web ブラウザの準備	1-11
2 章 本商品を設置する	2-1
2-1 設置・接続	2-2
本商品を設置する	2-2
スタンドを付ける (縦置きの場合)	2-3
スタンドを取り付けて壁掛けする (横向きの場合)	2-4
スタンドを取り付けて壁掛けする (縦向きの場合)	2-6
本商品を接続する	2-8
3 章 パソコンと本商品を接続する	3-1
3-1 接続設定の流れ	3-2
3-2 パソコンのネットワーク設定 (Windows® 7)	3-3
パソコンのネットワーク設定をする (Windows® 7)	3-3
パソコンとの接続を確認する (Windows® 7)	3-6
Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)	3-7
アクティブスクリプトの設定をする (Windows® 共通)	3-9
3-3 本商品に接続する	3-13

4 章	データ通信をする	4-1
4-1	データ通信の概要	4-2
	データコネクトサービス	4-2
	トンネル通信	4-4
	LAN 間接続トンネル通信のご利用方法	4-5
	リモートアクセス型接続トンネル通信のご利用方法	4-6
	TCP ストリーム通信	4-8
	TCP ストリーム通信のご利用方法	4-9
4-2	データ通信設定の流れ	4-10
	共通設定	4-11
	発信設定パターン 1 (LAN 間接続トンネル通信-発信)	4-12
	着信設定パターン 1 (LAN 間接続トンネル通信-着信)	4-12
	発信設定パターン 2 (リモートアクセス型接続トンネル通信-発信)	4-13
	着信設定パターン 2 (リモートアクセス型接続トンネル通信-着信)	4-14
	発信設定パターン 3 (TCP ストリーム通信-発信)	4-15
	着信設定パターン 3 (TCP ストリーム通信-着信)	4-15
4-3	データ通信をする	4-16
	ランプの確認	4-16
	SIP セッション発信と SIP セッション情報確認	4-17
	SIP セッション着信と SIP セッション情報確認	4-19
4-4	データ通信の設定例	4-21
	トンネル通信の作成例	4-21
	LAN 間接続トンネル通信の設定例	4-23
	リモートアクセス型接続トンネル通信の設定例	4-27
	TCP ストリーム通信の作成例	4-31
	TCP ストリーム通信の設定例	4-33
	高度な使い方-発信 / 着信許容数 SIP セッションの設定による優先制御	4-36
4-5	サービスご利用時のご注意	4-37
	ボイスワープ	4-37
	ナンバー・ディスプレイ	4-37
	ナンバー・リクエスト	4-37
	発信者情報 (番号) の通知について	4-37
	迷惑電話おことわり	4-38
	キャッチホン	4-38
	着信お知らせメール	4-38
	ダブルチャンネル/複数チャンネルを利用する	4-38
	マイナンバー/追加番号を利用する	4-39
	FAX お知らせメール	4-39
	フリーアクセス・ひかりワイド	4-39
	特定番号通知機能	4-39
	最大チャンネル数	4-40
	グループ化機能について	4-40
	最大グループ化数について	4-41
	複数のデータ通信の収容について	4-42

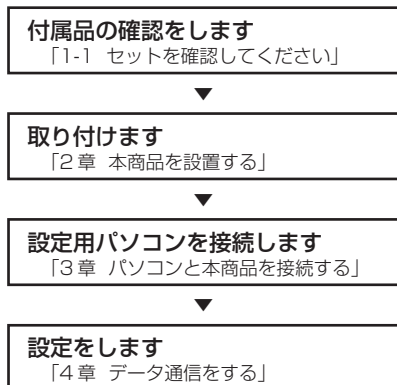
	2 番号冗長機能について	4-43
	接続先電話番号	4-43
	本商品のファームウェアバージョンによる接続性について	4-43
4-6	遠隔管理の確認	4-44
	遠隔管理接続の確認	4-44
5 章	Web 設定	5-1
5-1	画面の見かた	5-2
5-2	基本的な操作	5-5
5-3	各画面の説明	5-8
	基本設定－発着信設定－トンネル用－発信テーブル設定	5-8
	基本設定－発着信設定－トンネル用－着信テーブル設定	5-13
	基本設定－発着信設定－トンネル用－アドレスプール設定	5-14
	基本設定－発着信設定－トンネル用－アドレスプール設定－ アドレス割当設定	5-15
	基本設定－発着信設定－TCP ストリーム用－発信テーブル設定	5-16
	基本設定－発着信設定－TCP ストリーム用－着信テーブル設定	5-20
	基本設定－発着信設定－発信者番号認証テーブル設定	5-22
	詳細設定－設定値の初期化	5-24
	詳細設定－通信情報ログ	5-25
	詳細設定－通信情報ログ－定期保存設定	5-26
	詳細設定－ネットワーク設定－LAN 接続・DHCPv4 サーバ設定	5-27
	詳細設定－ネットワーク設定－LAN 接続・DHCPv4 サーバ設定－ アドレス割当設定	5-30
	詳細設定－ネットワーク設定－静的ルート設定 (IPv4)	5-31
	詳細設定－ネットワーク設定－静的ルート設定 (IPv6)	5-32
	詳細設定－SIP 関連設定－SIP アダプテーション設定	5-33
	詳細設定－SIP 関連設定－SIP アダプテーション詳細設定	5-36
	詳細設定－SIP 関連設定－発信者番号認証モード設定	5-38
	詳細設定－ポート設定－ポート通信設定	5-39
	メンテナンス－パスワード変更	5-41
	メンテナンス－設定保存	5-42
	メンテナンス－設定情報のアップロード	5-44
	メンテナンス－設定情報のダウンロード	5-45
	メンテナンス－ファームウェア更新	5-46
	メンテナンス－ファームウェア自動更新設定	5-47
	メンテナンス－PING テスト	5-48
	メンテナンス－装置再起動	5-49
	メンテナンス－遠隔管理受付設定	5-51
	情報－SIP 登録状態	5-52
	情報－SIP セッション情報	5-52
	情報－インタフェース状態 (IPv4)	5-53
	情報－インタフェース状態 (IPv6)	5-55
	情報－時刻表示	5-56

6 章	故障かな?と思ったら	6-1
6-1	設置に関するトラブル	6-2
6-2	データ通信に関するトラブル	6-5
6-3	ご利用開始後のトラブル	6-12
7 章	付録	7-1
7-1	パソコンのネットワーク設定	7-2
	Windows Vista® をご利用の場合	7-3
	Windows® XP をご利用の場合	7-7
7-2	設定値の保存	7-10
	設定値の保存	7-10
7-3	本商品の初期化	7-12
7-4	設定画面一覧	7-17
7-5	ログの見かた	7-19
	詳細設定－通信情報ログ	7-19
7-6	用語集	7-31
7-7	仕様一覧	7-34
7-8	設定記入シート	7-37
7-9	お客様サポートのご案内	7-50
7-10	索引	7-51

マニュアルの読み進めかた

本商品を使用してデータ通信を行うまでの流れは、下記ようになります。

本商品のセットアップ手順を記します。



※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。

※本商品をご利用いただくためには、フレッツ 光ネクストまたはフレッツ 光ライト、およびひかり電話サービスのご契約が必要です。

※本書では、SIP-TA-200（本体が黒色）、SIP-TA-3200（本体が白色）で異なる設定・動作を説明する場合について、機種を明示して説明しています。



1

最初に確認する



1

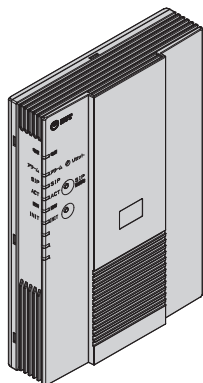
この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

- 1-1 セットを確認してください…………… 1-2
- 1-2 各部の名前…………… 1-5
- 1-3 あらかじめ確認してください…………… 1-11

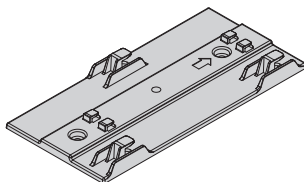
1-1 セットを確認してください

SIP-TA-200（本体が黒色）の場合

■本体

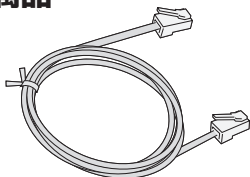


SIP-TA-200（1台）

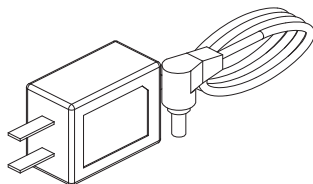


スタンド（1個）

■付属品



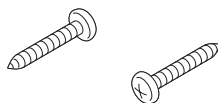
ストレートLANケーブル
（1本/約2m/グレー）



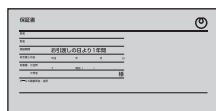
電源アダプタ（1個）



取扱説明書（本書1冊）



壁掛け用ネジ（2本）



保証書（1枚）

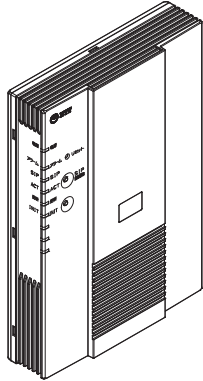


お取扱相談センターシール（1枚）

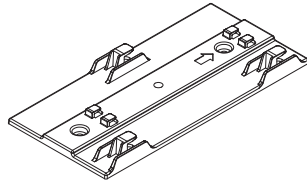
- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- イラストと形状が異なる場合があります。

SIP-TA-3200（本体が白色）の場合

■本体



SIP-TA-3200（1台）

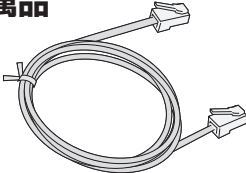


スタンド（1個）

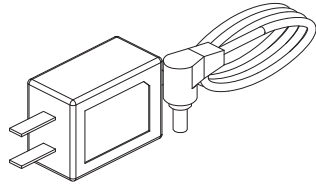
1

最初に確認する

■付属品



ストレートLANケーブル
（1本/約2m/グレー）



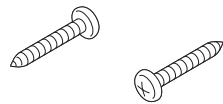
電源アダプタ（1個）



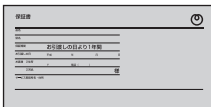
SIP-TA-200/3200
設定ツールCD-ROM（1枚）



取扱説明書（本書1冊）



壁掛け用ネジ（2本）



保証書（1枚）



お取扱相談センタシール（1枚）

- 設定ツールのご使用方法は、CD-ROM内の「SIP-TA-200/3200設定ツール取扱説明書」をご覧ください。なお、本ツールはSIP-TA-3200のLAN側に接続したパソコン上で動作する専用ツールとなります。
- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- イラストと形状が異なる場合があります。

■お客様にご用意いただくもの

<データ通信に必要なもの>

- ひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどのひかり電話対応機器
本商品をフレッツ光ネクストまたはフレッツ光ライトに接続するための装置。
- LANポートを持ったデータ通信端末
本商品を使用してデータ通信を行う端末装置。
- LANケーブル
本商品とお客様端末装置間を接続する、LANケーブル。

<本商品の設定変更に必要なもの>

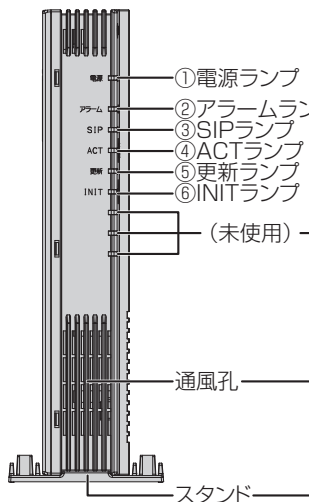
- LANポートを持ったパソコン
本商品の設定に用いるパソコン。

1-2 各部の名前

本商品各部の名前と機能を説明します。

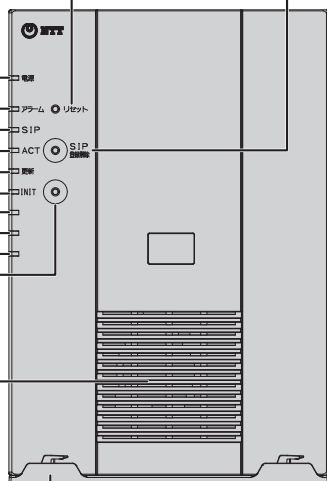
SIP-TA-200 (本体が黒色) の場合

●前面図

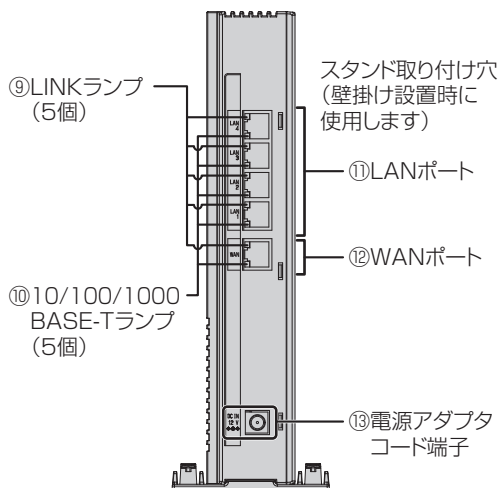


●側面図

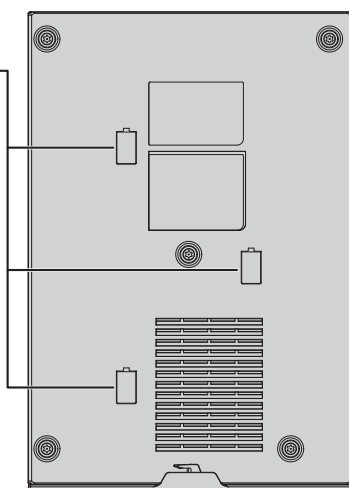
⑦リセットスイッチ ⑧SIP登録解除スイッチ



●背面図



●側面図



1

最初に確認する

【ランプ表示】※1

ランプの名称	表示 (色)		状態
①電源ランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	緑	点滅	起動中です。
②アラームランプ	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害が発生しています。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
		点滅	WAN側とLAN側のネットワークアドレスが重複しています。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
③SIPランプ	—	消灯	データ通信が利用できません。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
	緑	点灯	データ通信が利用できます。
		点滅	利用中/着信中/呼び出し中です。
	橙	点灯	輻輳中です。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
④ACTランプ	—	消灯	WAN-LINKがダウンしています。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
	緑	点灯	WAN-LINKがアップしています。
		点滅	WANポートのデータ通信中です。
⑤更新ランプ ※3	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点滅	ファームウェア更新時、設定情報アップロード時、ログ定期保存時、設定保存時、装置起動時、装置再起動時、設定値の初期化時に、本商品内のフラッシュメモリに各情報を書込み中であることを示します。※2
		点灯	ファームウェア更新実施後、更新ファームウェアを有効にするために、本商品の再起動が必要な状態であることを示します。
	緑	点滅	設定情報アップロード実施後、設定変更を有効にするために、本商品の再起動が必要な状態であることを示します。または設定保存実施後、設定変更を有効にするために、本商品の再起動が必要な状態であることを示します。
		点灯	ファームウェア、設定情報またはログ情報の保存に失敗しました。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
⑥INITランプ	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	本商品は工場出荷状態です。

※1 本商品の電源を入れたとき、または本商品をリセットしたときに全ランプが一度点灯します。

※2 更新ランプが橙色に点滅しているときに、本商品の電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。

※3 更新ランプの表示状態が重なる場合の優先順位は、赤点灯、橙点滅、緑点滅、緑点灯となります。

【側面スイッチ】

スイッチの名称	操作	状態動作
⑦リセットスイッチ	短押し(1秒間)	本商品を再起動します。
	長押し(10秒以上)	工場出荷状態 (初期化された状態) に戻します。
⑧SIP登録解除スイッチ	長押し(3秒以上)	SIPサーバへの登録を解除します。

【背面ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
⑨LINKランプ (5個)	—	消灯	LANまたはWANが利用できません。
	緑	点灯	LANまたはWANが利用できます。
		点滅	LANまたはWANでデータ通信中です。
⑩10/100/1000 BASE-Tランプ (5個)	—	消灯	10Mbpsでデータ送受信できます。
	緑	点灯	1Gbps/100Mbpsでデータ送受信できます。※1

※1 10/100/1000BASE-Tランプは、本商品の起動中は消灯していますが、起動完了後に、速度に応じて点灯します。

【ポート名など】

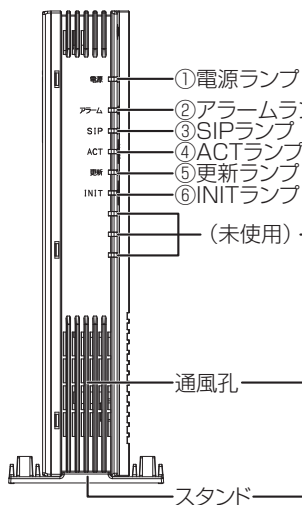
名称	表示	機能説明
⑪LANポート	LAN1~LAN4	LANケーブルを使用してパソコンなどを接続するためのポートです。
⑫WANポート	WAN	LANケーブルを使用してひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどのLANポートと接続するためのポートです。
⑬電源アダプタコード端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

1

最初に確認する

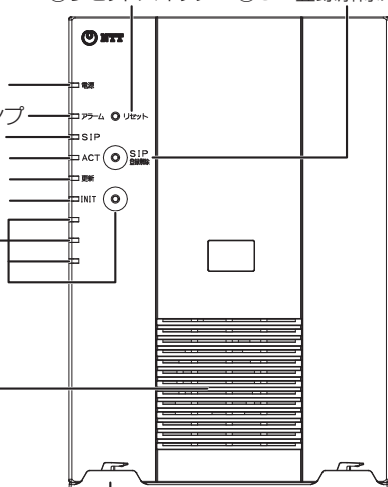
SIP-TA-3200（本体が白色）の場合

●前面図

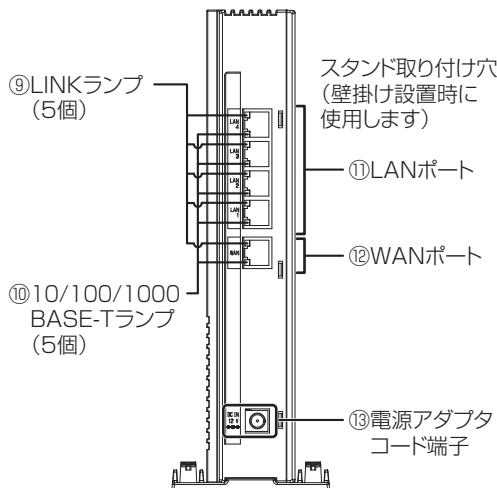


●側面図

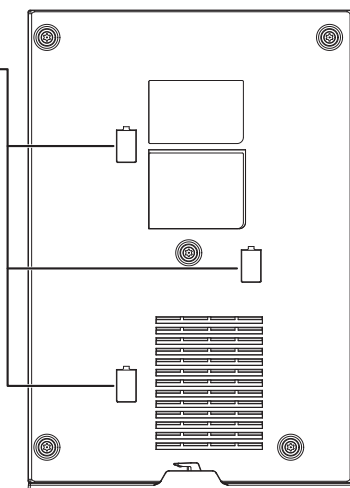
⑦リセットスイッチ ⑧SIP登録解除スイッチ



●背面図



●側面図



【ランプ表示】※1

ランプの名称	表示 (色)	状態
①電源ランプ	—	消灯 電源が入っていません。
	緑	点灯 電源が入っています。
	緑	点滅 起動中です。
②アラームランプ	—	消灯 正常な状態です。
	赤	点灯 装置障害が発生しています。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
		点滅 WAN側とLAN側のネットワークアドレスが重複しています。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
③SIPランプ	—	消灯 データ通信が利用できません。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
	緑	点灯 データ通信が利用できます。
		点滅 利用中/着信中/呼び出し中です。
	橙	点灯 輻輳中です。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
④ACTランプ	—	消灯 WAN-LINKがダウンしています。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）
	緑	点灯 WAN-LINKがアップしています。
		点滅 WANポートのデータ通信中です。
⑤更新ランプ ※3	—	消灯 通常の状態です。
	橙	点滅 ファームウェア更新時、設定情報アップロード時、ログ定期保存時、設定保存時、装置起動時、装置再起動時、設定値の初期化時に、本商品内のフラッシュメモリに各情報を書込み中であることを示します。※2
		点灯 ファームウェア更新実施後、更新ファームウェアを有効にするために、本商品の再起動が必要な状態であることを示します。
	赤	点滅 設定情報アップロード実施後、設定変更を有効にするために、本商品の再起動が必要な状態であることを示します。または設定保存実施後、設定変更を有効にするために、本商品の再起動が必要な状態であることを示します。
点灯 ファームウェア、設定情報またはログ情報の保存に失敗しました。（「6章 故障かな?と思ったら」を参照してください。）		
⑥INITランプ	—	消灯 通常の状態です。
	橙	点灯 本商品は工場出荷状態です。

※1 本商品の電源を入れたとき、または本商品をリセットしたときに全ランプが一度点灯します。

※2 更新ランプが橙色に点滅しているときに、本商品の電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。

※3 更新ランプの表示状態が重なる場合の優先順位は、赤点灯、橙点滅、緑点滅、緑点灯となります。

【側面スイッチ】

スイッチの名称	操作	状態動作
⑦リセットスイッチ	短押し(1秒間)	本商品を再起動します。
	長押し(10秒以上)	工場出荷状態(初期化された状態)に戻します。
⑧SIP登録解除スイッチ	長押し(3秒以上)	SIPサーバへの登録を解除します。

【背面ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
⑨LINKランプ (5個)	—	消灯	LANまたはWANが利用できません。
	緑	点灯	LANまたはWANが利用できます。
		点滅	LANまたはWANでデータ通信中です。
⑩10/100/1000 BASE-Tランプ (5個)	—	消灯	10Mbpsでデータ送受信できます。
	緑	点灯	1Gbps/100Mbpsでデータ送受信できます。※1

※1 10/100/1000BASE-Tランプは、本商品の起動中は消灯していますが、起動完了後に、速度に応じて点灯します。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
⑪LANポート	LAN1~LAN4	LANケーブルを使用してパソコンなどを接続するためのポートです。
⑫WANポート	WAN	LANケーブルを使用してひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどのLANポートと接続するためのポートです。
⑬電源アダプタコード端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

●LAN ポートの準備

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LANポート（1000BASE-Tまたは100BASE-TX、10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどにLANポートがない場合は、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードをあらかじめご準備ください。LANボードまたはLANカードの取り付けとドライバのインストールは、LANボードまたはLANカードの取扱説明書などに従って正しく行ってください。

●ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了

本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたままですと、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

本商品は下記のOSに対応しています。

- ・本商品のLANポートに接続する場合

Windows® 7 (SP1)、Windows Vista® (SP2)、Windows® XP (SP3)

本書では、Webブラウザでの設定方法を説明します。

Webブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。

●Webブラウザは、下記のバージョンに対応しています。(2012年3月現在)

Windows® 7 (SP1) の場合

- ・ Internet Explorer® 8.0および9.0以上に対応

Windows Vista® (SP2) の場合

- ・ Internet Explorer® 7.0以上に対応

Windows® XP (SP3) の場合

- ・ Internet Explorer® 7.0以上に対応

●WebブラウザやOSの設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。(●3-7ページ)

●お使いのWebブラウザの設定で「アクティブスクリプト」を有効にしてください。

●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの【インターネットオプション】の【接続】で【ダイヤルしない】を選択してください。(●3-7ページ)

●お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

1

最初に確認する

-
- Webブラウザの「戻る」、「進む」および「更新」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。
 - ログイン時以外は、WebブラウザのURLに直接アドレスを入力しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。
 - Webブラウザや設定ツールを、同時に複数用いて本商品の操作を行わないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。
 - ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報漏洩などの危険を回避するため、GUI操作のためのブラウザを立ち上げているPCでは、インターネットアクセスを行わないようにしてください。また、逆にインターネットアクセスのためのブラウザを立ち上げているPCでは、GUI操作を行わないようにしてください。
- ※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。
- また、Webブラウザでご利用になる文字のサイズは、「中」を推奨します。推奨文字サイズ以外では、本書で説明に使用している画面表示と異なることがあります。



2

本商品を設置する

本商品の設置・接続をします。

2

2-1 設置・接続..... 2-2

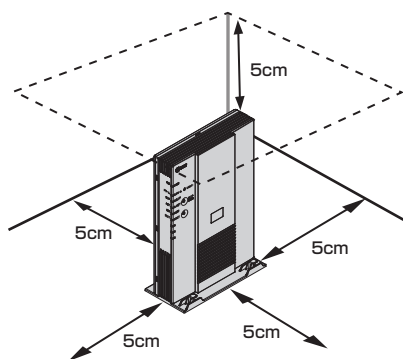
2-1 設置・接続

本商品の設置、接続方法を説明します。SIP-TA-200を例に説明しますが、SIP-TA-3200の場合も同じ手順で設置、接続します。

本商品を設置する

■縦置時の設置スペース

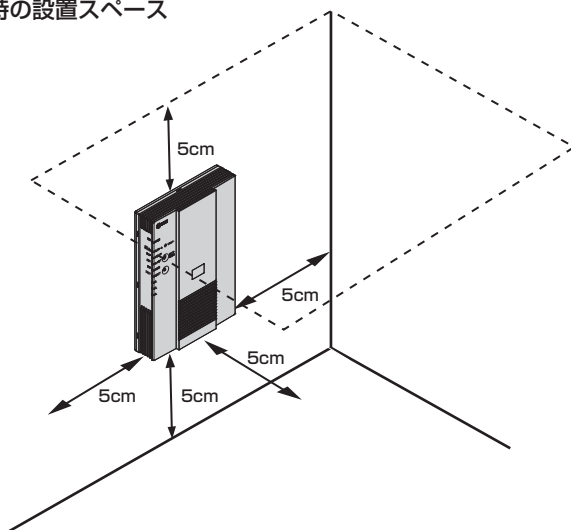
本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



⚠ 注意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

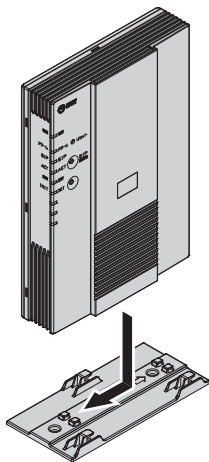
■壁掛け時の設置スペース



冷蔵庫やTVなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付ける（縦置きの場合）

図のように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。



⚠ 注意

本商品は横置きでの使用はできません。

2

本
商
品
を
設
置
す
る

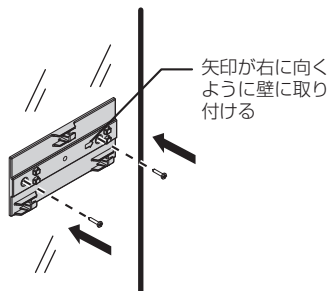
スタンドを取り付けて壁掛けする（横向きの場合）

■取り付けかた

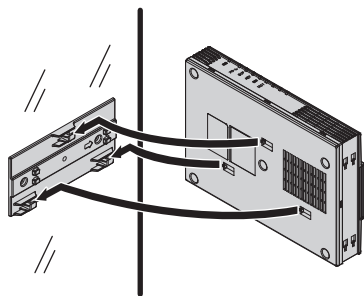
スタンドを使用して壁に取り付けます。

あらかじめ、スタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを取り付けてください。

①付属のスタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け用ネジで取り付けます。



②本商品を、横にスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



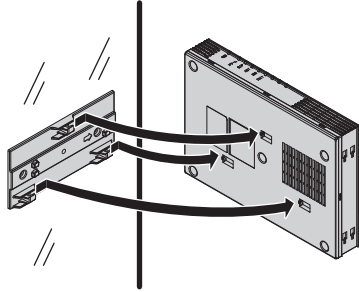
STOP

お願い

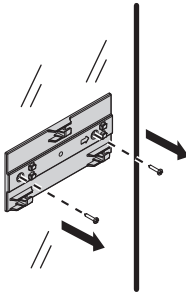
- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 本商品を横向きで、床に近い場所に設置した場合、本商品背面側のコネクタおよびランプの目視確認が困難になりますので、注意して設置してください。

■取り外しかた

- ①本商品を横にスライドさせて取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



- ②付属の壁掛け用ネジを壁から取り外し、付属のスタンドを取り外します。



2

本
商
品
を
設
置
す
る

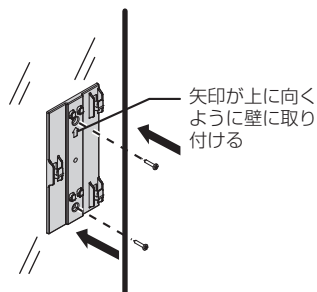
スタンドを取り付けて壁掛けする（縦向きの場合）

取り付けかた

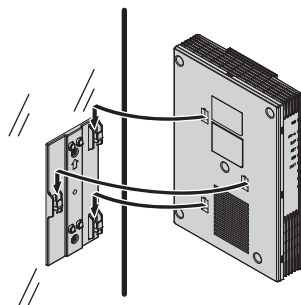
スタンドを使用して壁に取り付けます。

あらかじめ、スタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを取り付けてください。

①付属のスタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け用ネジで取り付けます。



②本商品を、縦にスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



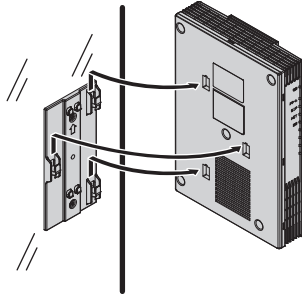
STOP

お願い

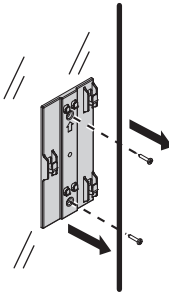
- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。

■取り外しかた

- ①本商品を縦にスライドさせて取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



- ②付属の壁掛け用ネジを壁から取り外し、付属のスタンドを取り外します。



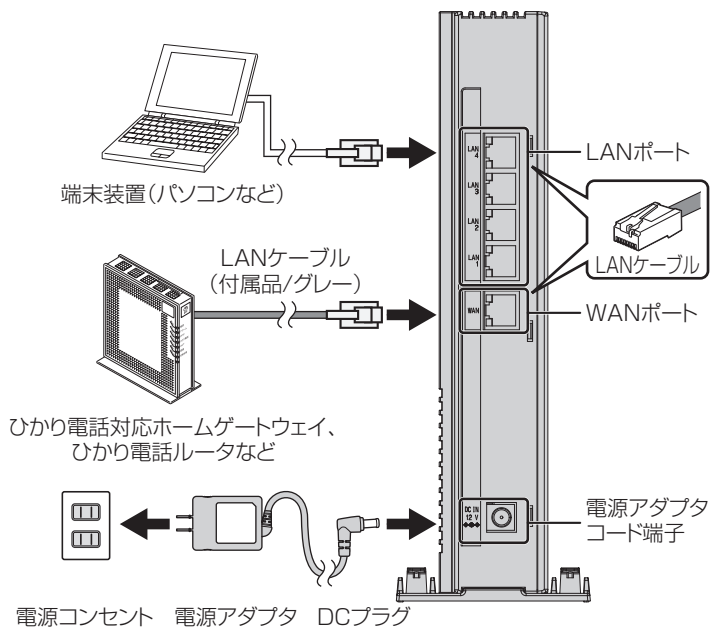
2

本
商
品
を
設
置
す
る

本商品を接続する

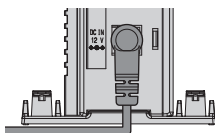
※SIP-TA-200（本体が黒色）の場合を例に説明しています。イラストと形状が異なる場合があります。

本商品を接続します。



1 電源アダプタのコードを接続する。

※手順1の前には、電源アダプタを電源コンセントに接続しないでください。



2 ひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどを接続する。

本商品のWANポートとひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどのLANポートをLANケーブル（付属品／グレー）で接続します。ひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどに付属のLANケーブルが使用できるときは、そのケーブルをご使用ください。

※お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。

※本商品を回線終端装置（ONU）または、VDSLモデムのLANポートに接続してご使用にならないでください。必ずひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどのLANポートに接続してください。

3 端末装置（パソコンなど）を接続する。

本商品のLANポートと端末装置をLANケーブルで接続します。ひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどに付属のLANケーブルで、ひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどと本商品を接続しているときは、本商品付属のLANケーブル（グレー）をご使用ください。

※ご用意いただくLANケーブルは、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。

4 電源アダプタを電源コンセントに接続する。

本商品前面の全ランプが約1秒間点灯します。



警告

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 ACTランプが緑点灯または緑点滅することを確認する。

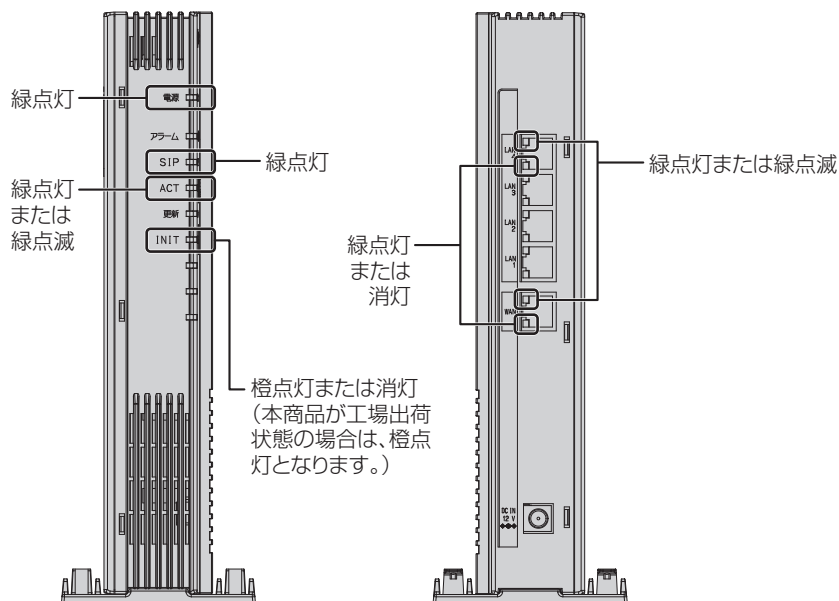
ACTランプが緑点灯または緑点滅して、本商品とひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどとの接続が完了します。

2

本
商品
を
設置
する

お知らせ

- WANポートおよびLAN4ポートにLANケーブルを接続して起動した場合のランプの点灯状態を示します。
- データ通信の準備ができている場合にSIPランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ランプの状態が異なる場合は、本書の「6章 故障かな?と思ったら」をご覧ください。



- 本商品の電源を切断するには、以下の手順で切断してください。

手順	確認内容
1	本商品の更新ランプが橙点滅していないことを確認してください。 更新ランプが橙点滅中は、本商品内のデータを更新中です。
2	本商品の「SIP」ランプが消灯していることを確認してください。 「SIP」ランプが点灯/点滅している場合は、本商品側面の「SIP登録解除」ボタンを3秒以上押し、「SIP」ランプが消灯することを確認してください。「SIP登録解除」ボタンを押した場合には通信中のデータ通信は強制切断されます。
3	電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。 本商品背面のDCプラグを抜かずに電源アダプタを抜いてください。

3

パソコンと本商品を接続する

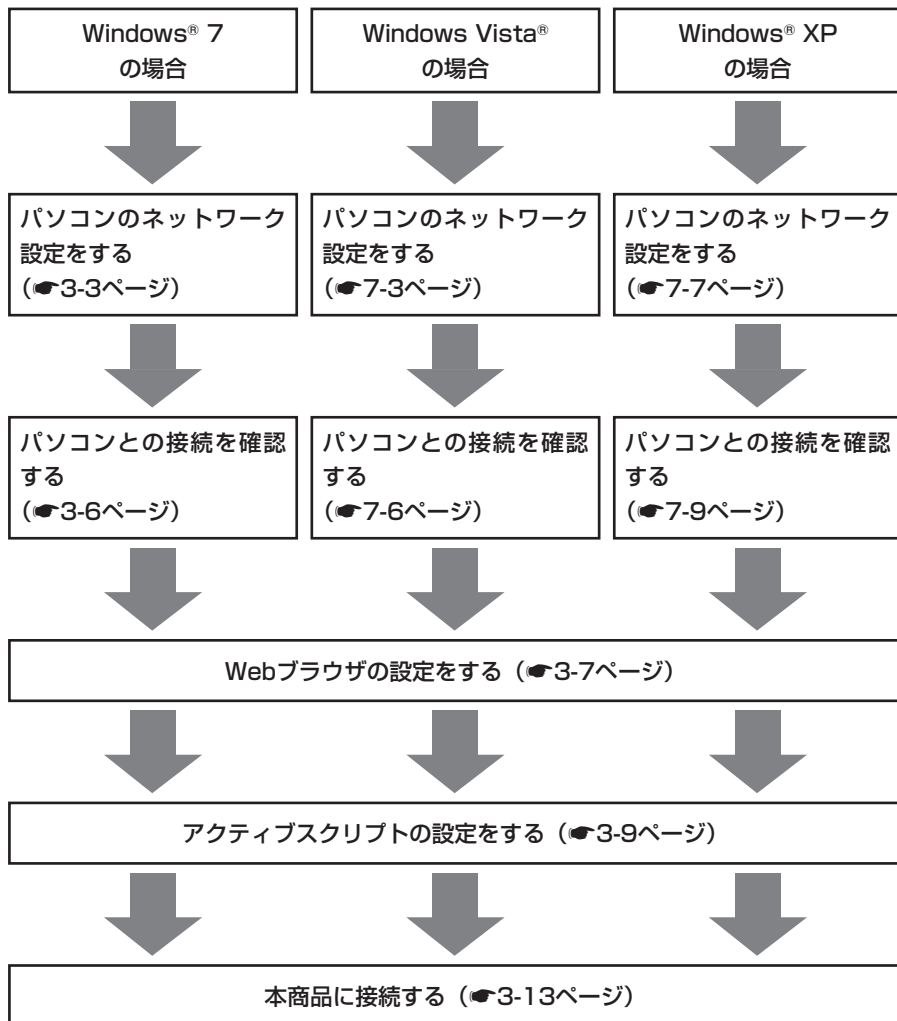
この章では、パソコンと本商品を接続する方法を説明します。

3

- 3-1 接続設定の流れ…………… 3-2
- 3-2 パソコンのネットワーク設定
(Windows® 7) …………… 3-3
- 3-3 本商品に接続する…………… 3-13

3-1 接続設定の流れ

本商品の設定は次の手順で行います。
パソコンのOSによってそれぞれのページを参照し設定を行ってください。

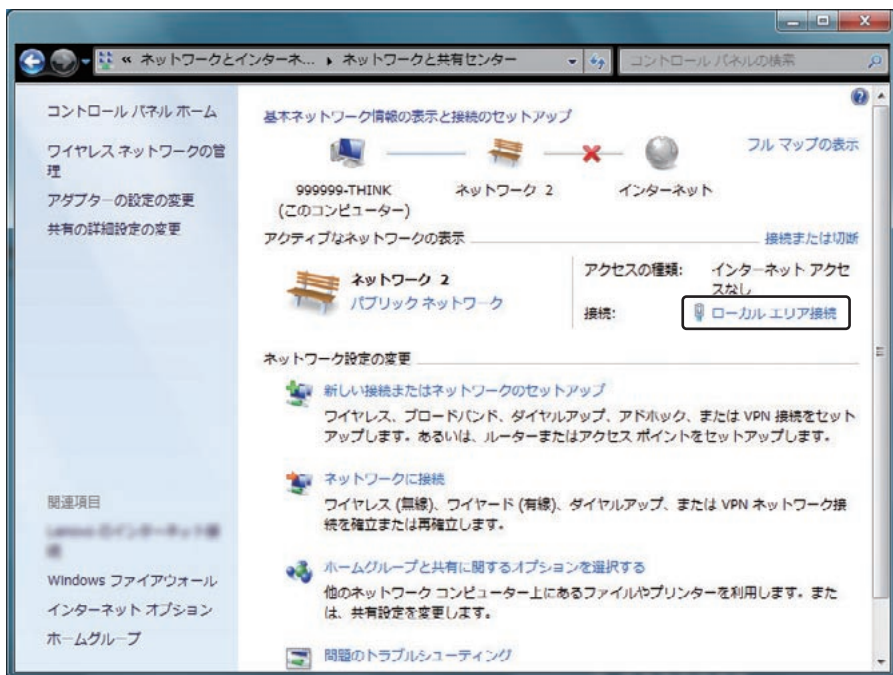


本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。

パソコンのネットワーク設定をする (Windows® 7)

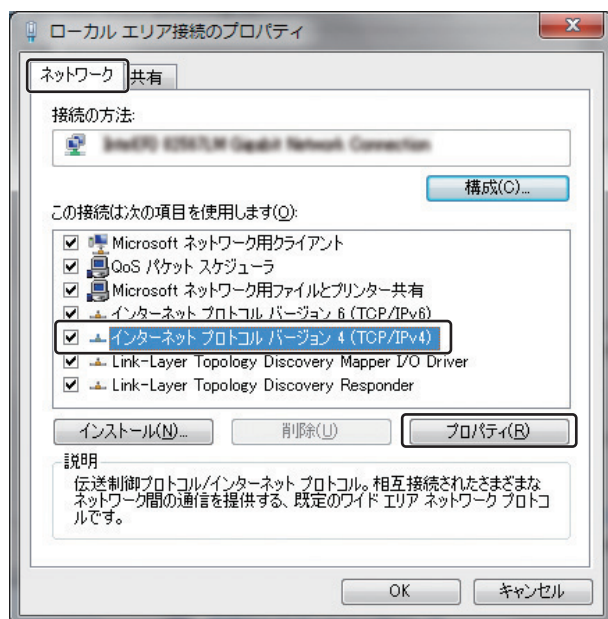
Windows® 7の設定により表示内容が異なる場合があります。

- 1 [スタート]—[コントロールパネル]を選択する。
- 2 [ネットワークと共有センター]をクリックし、[ローカルエリア接続]をクリックする。

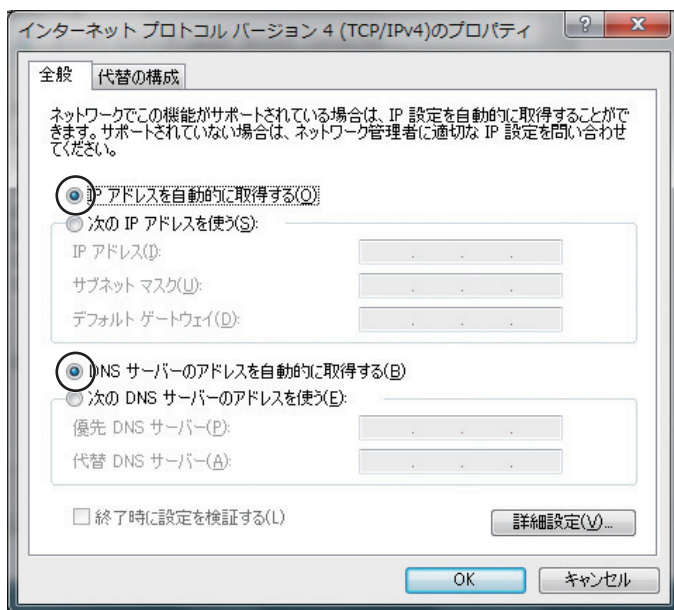


- 3 [プロパティ]をクリックする。

4 [ネットワーク]タブをクリックし、[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックする。



5 [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択する。



6 [OK]をクリックする。

7 ローカルエリア接続のプロパティ画面で[閉じる]をクリックする。

8 ローカルエリア接続の状態画面で[閉じる]をクリックする。

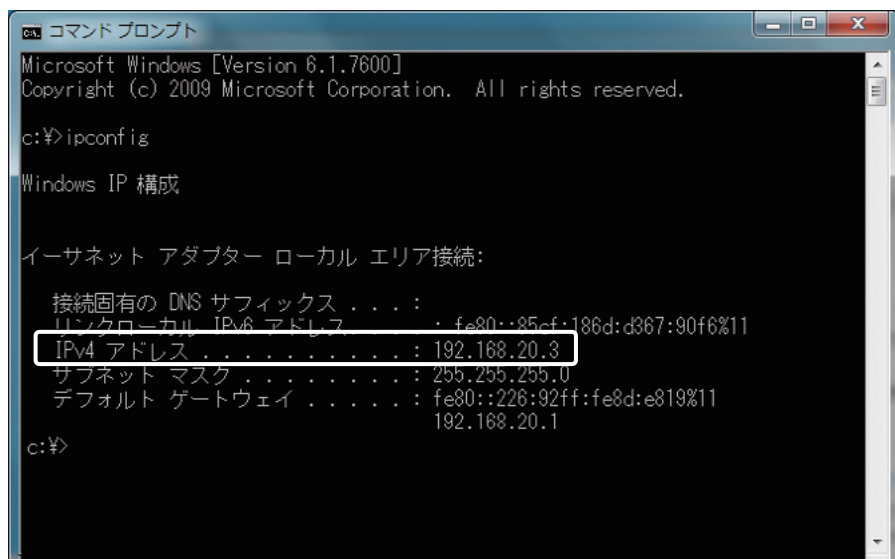
3

接続する
パソコンと本商品を

パソコンとの接続を確認する (Windows® 7)

■ IPアドレスの確認ーパソコンとの接続を確認する

- 1 パソコンが接続されている、本商品背面のLINKランプが緑点灯または緑点滅していることを確認する。
- 2 パソコンの[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[コマンドプロンプト]を実行する。
- 3 [コマンドプロンプト]の画面が表示されたら、「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押す。
- 4 [イーサネット アダプター ローカルエリア接続:]が表示され、IPv4アドレスが[192.168.20.xxx]になっていることを確認する (xxxは2～254の数字です)。



```
cmd コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

c:\>ipconfig

Windows IP 構成

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

    接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
    リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::85cf::186d:d367:90f6%11
    IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.20.3
    サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
    デフォルト ゲートウェイ . . . . . : fe80::226:92ff:fe8d:e813%11
                                         192.168.20.1

c:\>
```

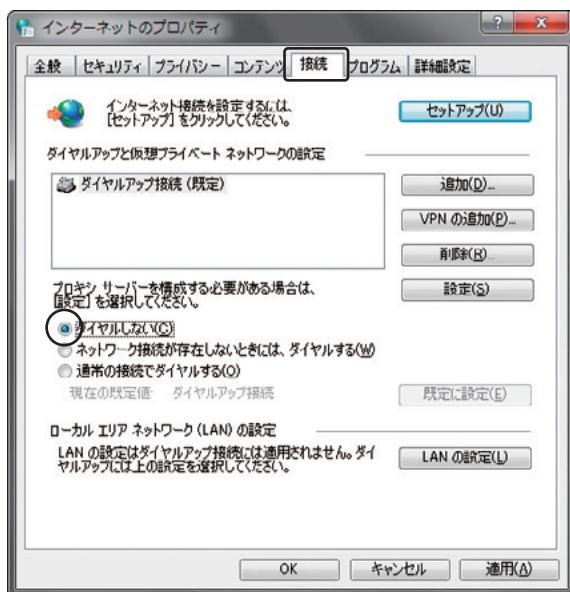
- 5 「exit」と入力し、[Enter]キーを押す。

Webブラウザの設定をする (Windows® 共通)

Webブラウザの接続設定を[ダイヤルしない]、[プロキシサーバーを使用しない]に設定します。

以下、Windows® 7でInternet Explorer® 9.0を使用している場合の例で説明しますが、OSのバージョンにより操作が異なります。

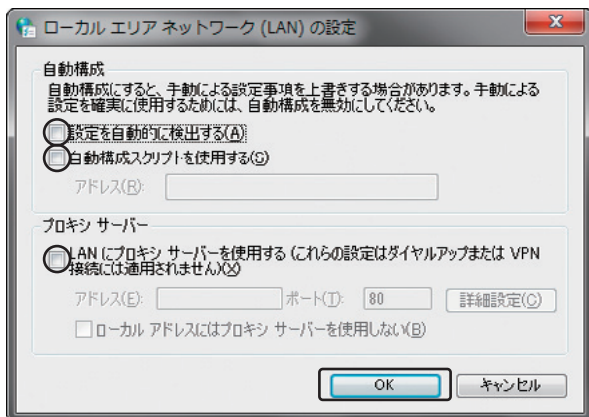
- 1 [スタート] (Windowsのロゴボタン) – [コントロールパネル] を選択する。
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする。
Windows® XPは[インターネットオプション] をダブルクリックする。
- 3 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は[ダイヤルしない] を選択する。



- 4 [LAN の設定] をクリックする。

5 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックを外し、[OK]をクリックする。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



6 [OK]をクリックする。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

アクティブスクリプトの設定をする (Windows® 共通)

Webブラウザで設定を行うにはアクティブスクリプトの設定を有効にする必要があります。また、設定情報のダウンロードおよび通信情報ログの保存を行うために、ダウンロードのブロックを回避する必要があります。

※Webブラウザの設定でセキュリティを[高]に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順でアクティブスクリプトを[有効にする]に設定してください。

また、設定情報のダウンロードおよび通信情報ログの保存を行ったときに、ダウンロードがブロックされる場合があります。アクティブスクリプトの有効設定に続けて、ダウンロード時の自動ダイアログ表示を有効に設定してください。

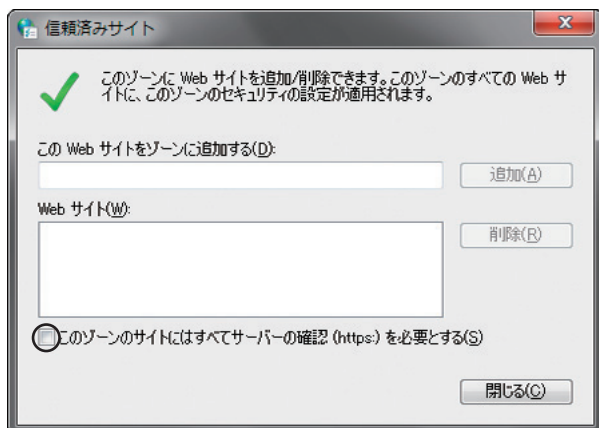
以下、Windows® 7でInternet Explorer® 9.0を使用している場合の例で説明しますが、OSのバージョンにより操作が異なります。

- 1 [スタート](Windowsのロゴボタン) – [コントロールパネル]を選択する。
- 2 [ネットワークとインターネット]をクリックし、[インターネットオプション]をクリックする。
Windows® XPIは[インターネットオプション]をダブルクリックする。
- 3 [セキュリティ]タブをクリックし、[信頼済みサイト]をクリックする。
- 4 [サイト]をクリックする。

3

接続する
パソコンと本商品を

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする]のチェックを外す。

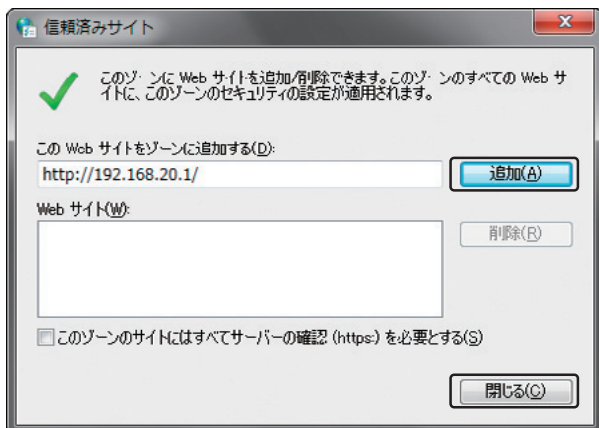


6 [このWebサイトをゾーンに追加する]に「http://192.168.20.1/」を入力して[追加]をクリックし、[閉じる]をクリックする。

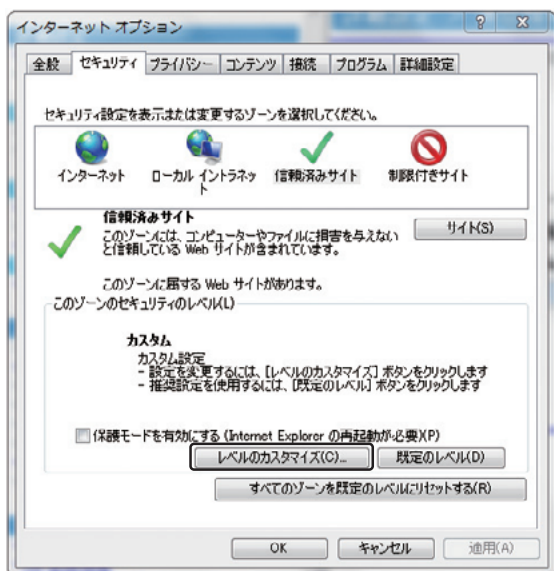
本商品のIPアドレスを変更する場合にも、追加してください。

Windows® XPの場合

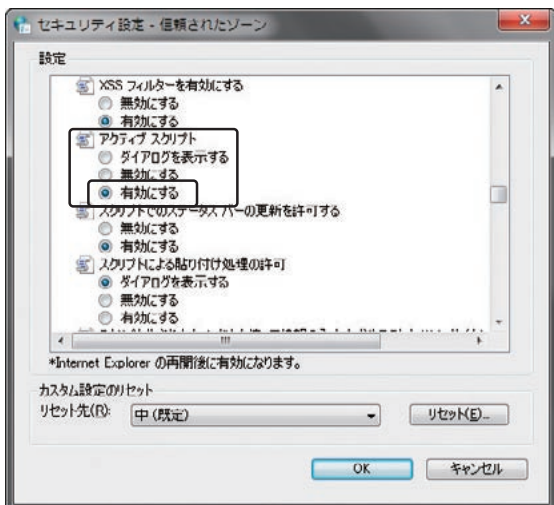
[このWebサイトをゾーンに追加する]に「http://192.168.20.1/」を入力して[追加]をクリックし、[OK]をクリックする。



7 [レベルのカスタマイズ]をクリックする。



8 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト]を[有効にする]を選択する。

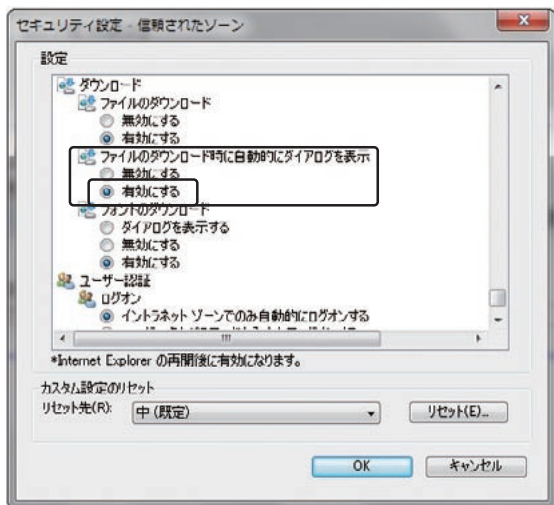


3

パソコンと本商品を
接続する

(次ページに続く)

Internet Explorer® 8.0以下を使用している場合は、続けて画面をスクロールし、[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]を[有効にする]を選択する。



9 [OK]をクリックする。

10 「このゾーンの設定を変更しますか？」と表示されるので、[はい]をクリックする。

Windows® XPの場合

「このゾーンに設定されているセキュリティのレベルを変更しますか？」と表示されるので、[はい]をクリックする。

11 [OK]をクリックする。

3-3 本商品に接続する

本商品の設定は、Webブラウザ（Internet Explorer®）を使って「Web設定」を起動して行います。

■「Web設定」で設定する

あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器の接続をしておきます。設定画面が開けない場合には、「3-1 接続設定の流れ」をご覧ください。パソコンの設定を確認してください。

1 Webブラウザを起動し、「http://192.168.20.1/」と入力し、「Web設定」ページを開く。

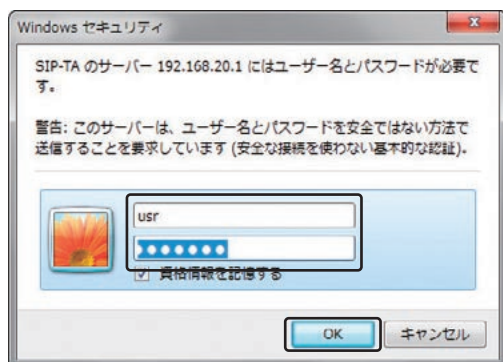
LAN接続・DHCPv4サーバ設定画面の[LAN側IPv4アドレス]で設定したIPv4アドレスを指定します。

※IPv4アドレスは、工場出荷時に「192.168.20.1」になっています。

2 ユーザー名に「usr」を、パスワードに「usr0」を入力して[OK]をクリックする。

入力可能なユーザー名と工場出荷時のパスワードは以下のとおりです。

対象操作者	ユーザー名	工場出荷時パスワード
保守者	mnt	mnt0（エム・エヌ・ティー・ゼロ）
エンドユーザー	usr	usr0（ユー・エス・アール・ゼロ）
設定ツール	admin	admin0（エー・ディー・エム・アイ・エヌ・ゼロ）



3 「Web設定」のトップページが表示される。

3
パソコンと本商品を
接続する

(次ページに続く)

4 画面左のメニューで[メンテナンス]-[パスワード変更]を選択する。

画面に従って現在のパスワードと新しいパスワードを入力してください。

新しいパスワードは任意の文字列（半角英数字および記号で最大15文字まで）を入力してください。

メンテナンス > パスワード変更

→ログインパスワードの変更を行います。

【パスワード変更】

アカウント	usr
現在のパスワード	****
新パスワード	****
新パスワードの確認入力	****

[設定]

【実行結果】

5 [設定]をクリックする。

認証画面が表示されます。変更後のパスワードを入力してください。



お願い

- パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。パスワードはお客様にて厳重に管理してください。忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。



お知らせ

- パスワードには15文字以内の半角英数字および記号が使用できます。
使用可能な文字は「メンテナンス-パスワード変更」(➡5-41ページ)をご覧ください。
- パスワードを3回間違えた場合は、認証エラーの画面が表示されます。ブラウザを閉じて、再度接続してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやお使いのOSによって異なります。
- 対応するブラウザについては「対応OSの確認とWebブラウザの準備」(➡1-11ページ)をご覧ください。
- 「Web設定」の画面デザインは変更になることがあります。

4

データ通信をする

この章では、本商品を用いたデータ通信方法を説明します。

- 4-1 データ通信の概要…………… 4-2
- 4-2 データ通信設定の流れ…………… 4-10
- 4-3 データ通信をする…………… 4-16
- 4-4 データ通信の設定例…………… 4-21
- 4-5 サービスご利用時のご注意…………… 4-37
- 4-6 遠隔管理の確認…………… 4-44

4-1 データ通信の概要

データ通信の概要を説明します。データ通信の概要をご理解の上、設定を行ってください。

データコネクトサービス

ひかり電話契約者同士が、03等の市外局番から始まるお使いの電話番号を利用して、接続先を指定し、帯域確保型データ通信[※]を行うことにより、セキュアで安定した高品質なデータ通信ネットワーク上でファイル共有などのデータ通信ができるサービスです。

主な特長は、秘匿性の高いセキュアなデータ通信、帯域確保による安定したデータ通信、短時間従量課金による通信料の削減が可能なことです。

〈ご注意〉

- 通信を行う相手方にも本商品を接続してください。本商品以外のデータコネクト対応端末との接続ではご利用いただけません。
- ※ある一定量の帯域を常に確保して通信を行うことを「帯域確保」といいます。通信速度を保証しているわけではありません。

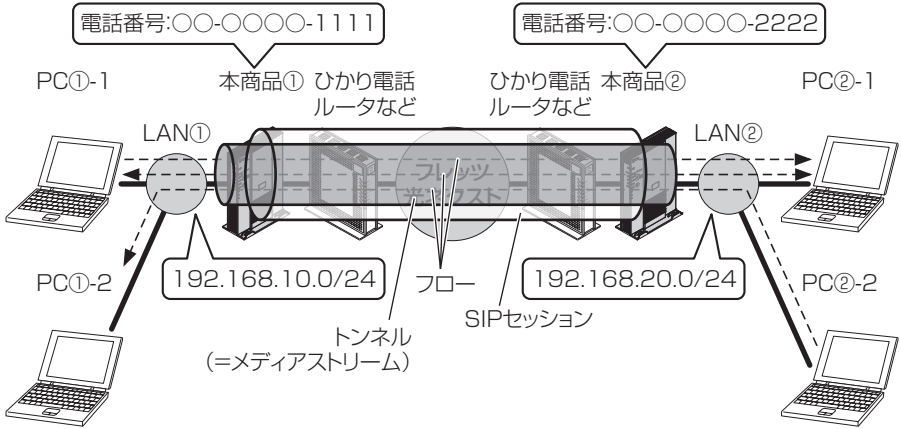
本商品を用いたデータ通信は、お客様のネットワーク構成、通信方式により2通りのデータ通信を行うことができます。

1. トンネル通信 ……………条件により指定されたネットワーク間の通信をまとめて扱う通信方式。TCP、UDP、ICMPのIPv4／IPv6通信ができます。1つのメディアストリーム（トンネル）に複数のフローを収容します。
なお、同一SIP-TA間で同時利用できるトンネル数は1つです。
2. TCPストリーム通信 ………条件により指定されたTCPコネクションごとにSIPセッションの確立およびメディアストリームの追加を行う通信方式。TCPのIPv4通信ができます。SIPセッションごとにメディアストリーム（TCPコネクション）を最大5本収容します。

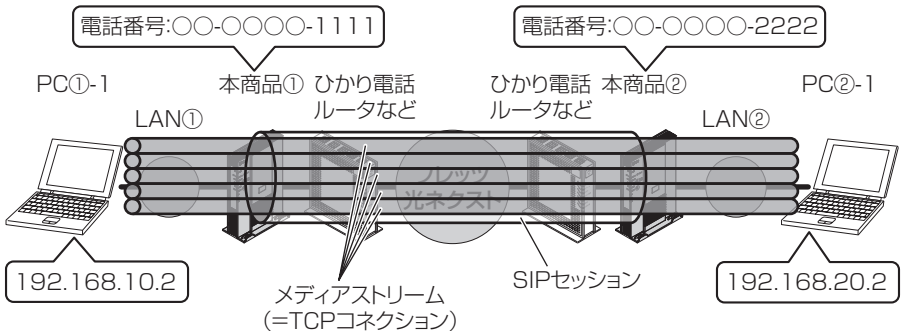
〈ご参考〉

- メディアストリーム：SIPセッション（または網）において識別される通信。TCPストリーム通信の場合、1メディアストリーム＝1TCPコネクションとなります。
- フロー：IPアドレス・ポート番号によりそれぞれ識別可能な端末間の通信。

トンネル通信のイメージ図



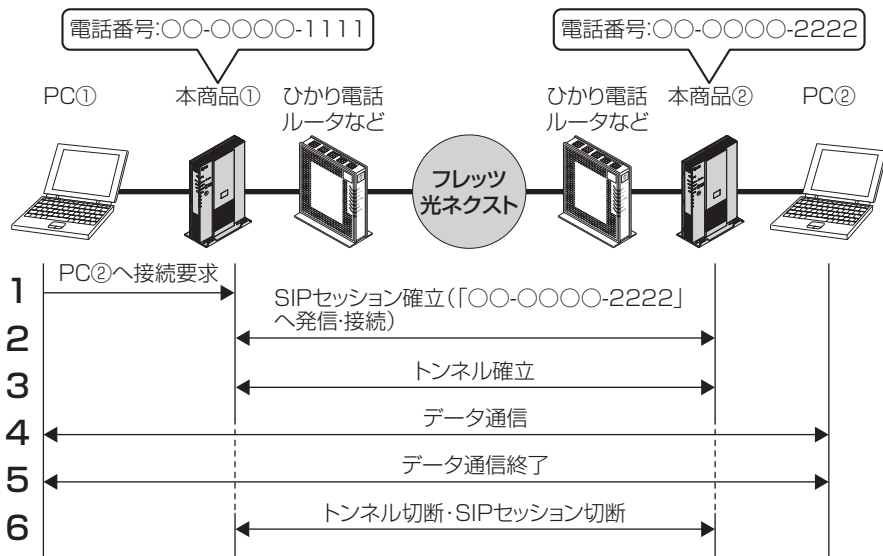
TCP ストリーム通信のイメージ図



トンネル通信

トンネル通信では、通信拠点間にトンネルを確立するため、通信する拠点のネットワークアドレスが独立であることが前提になります。また、トンネル通信はIPsecトンネルにより実現しているため、LAN間接続とリモートアクセス型接続の2通りの接続形態でのデータ通信ができます。

以下の図で、PC①がPC②と通信する場合の動作例を説明します。

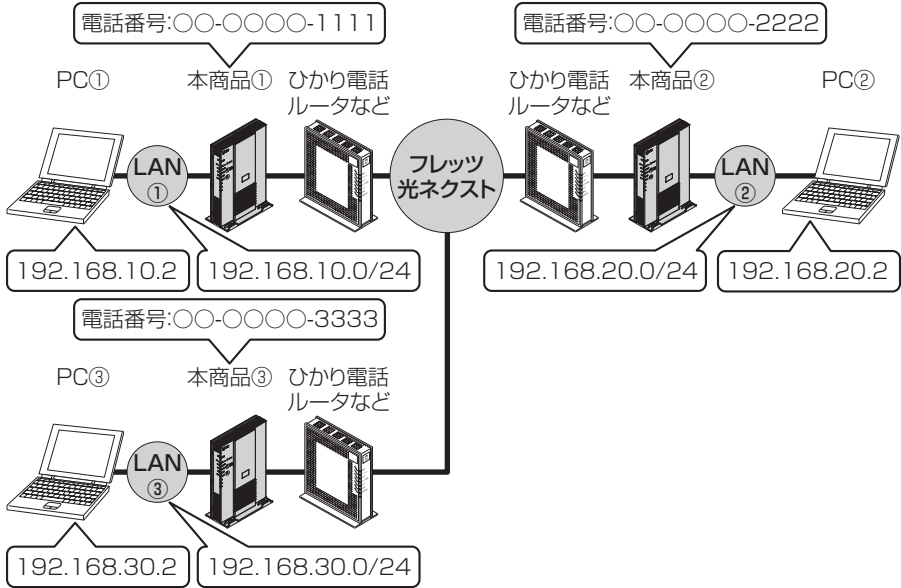


項番	動作	説明
1	PC②へ接続要求	PC①の送出するパケットの protocol・宛先IPアドレス・宛先ポート番号・送信元IPアドレス等を、本商品①のトンネル用発信テーブルから検索し、事前に設定した宛先電話番号「00-0000-2222」およびメディア情報（必要帯域など）、接続形態（LAN間接続またはリモートアクセス型接続）等を得ます。
2	SIPセッション確立	本商品①と本商品②の間でSIPセッションを確立します。
3	トンネル確立	本商品①と本商品②の間に項番1の接続形態でトンネルを確立し、PC①とPC②間でデータ通信が可能な状態になります。
4	データ通信	PC①～PC②間でデータ通信を行います。
5	データ通信終了	PC①～PC②間でデータ通信が終了します。
6	トンネル切断・SIPセッション切断	トンネルを利用する通信が無くなると、トンネル、SIPセッションを順次切断します。

LAN間接続トンネル通信のご利用方法

LAN 間接続トンネル通信時、本商品は各 LAN 間をトンネルで結ぶため、通信を行う拠点間だけでなく、全ての拠点内のネットワークアドレスがそれぞれ独立となるように運用する必要があります。

以下図において、ご利用例を示します。



(構成例)

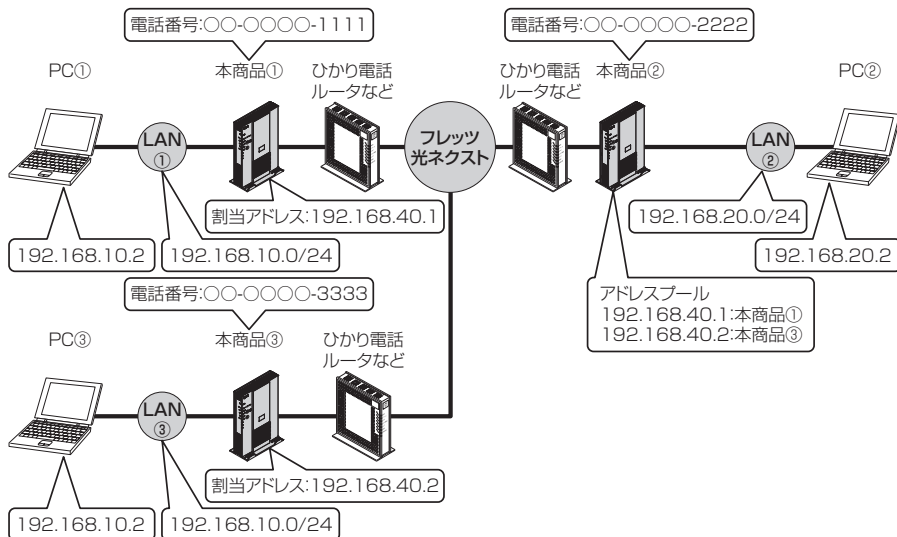
端 末	電話番号	ネットワークアドレス	端末アドレス
LAN①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.10.0/24	(PC①) 192.168.10.2
LAN②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.0/24	(PC②) 192.168.20.2
LAN③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.30.0/24	(PC③) 192.168.30.2

本構成例で、PC①から PC②へ接続したい場合は、PC①から「宛先 = 192.168.20.2」へ接続要求を行います。PC①からの接続要求を受信した本商品①は、本商品②との間に SIP セッションとトンネルを確立することにより、PC①と PC②は通信を行うことができます。また、PC③から PC②へ接続したい場合は、同様に PC③から「宛先 = 192.168.20.2」へ接続要求を行います。PC③からの接続要求を受信した本商品③は、本商品②との間に SIP セッションとトンネルを確立することにより、PC③と PC②は通信を行うことができます。本状態において、もし PC①と PC③の IP アドレスが重複していた場合、PC②で受信するパケットの送信元 IP アドレスが同一となり、正しく応答できなくなる可能性があります。そのため、通信を行う拠点間だけでなく、全ての拠点内のネットワークアドレスがそれぞれ独立となるよう設定してください。

なお、DHCP 使用時に端末アドレスを固定するためには、アドレス割当設定を行い、MAC アドレス / IPv4 アドレスを組みで設定してください。DHCP によるアドレス設定を固定することができます。また DHCP を用いない場合は、本商品の DHCP サーバ機能を無効にしてください。

リモートアクセス型接続トンネル通信のご利用方法

リモートアクセス型接続トンネル通信時、本商品は、着信側から送信側に対して IP アドレスを割り当て、それぞれの LAN 間をトンネルで結びます。このとき着信側からは、発信側 LAN 内の端末との通信は割り当てた IP アドレスとの通信に見えます。また発信側と着信側の LAN は、独立したネットワークアドレスで運用する必要があります。以下図において、ご利用例を示します。



(構成例)

LAN	電話番号	ネットワークアドレス	端末アドレス
LAN①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.10.0/24	(PC①) 192.168.10.2
LAN②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.0/24	(PC②) 192.168.20.2
LAN③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.10.0/24	(PC③) 192.168.10.2

アドレス割当対象	ユーザID	割当アドレス
本商品①	a	192.168.40.1
本商品③	b	192.168.40.2

本割当例で、PC①から PC②へ接続したい場合は、PC①から「宛先 = 192.168.20.2」へ接続要求を行います。PC①からの接続要求を受信した本商品①は、本商品②との間に SIP セッションとトンネルを確立することにより、PC①と PC②は通信を行うことができます。また、PC③から PC②へ接続したい場合は、同様に PC③から「宛先 = 192.168.20.2」へ接続要求を行います。PC③からの接続要求を受信した本商品③は、本商品②との間に SIP セッションとトンネルを確立することにより、PC③と PC②は通信を行うことができます。LAN 間接続トンネルとは異なり、本状態において、もし PC①と PC③の IP アドレスが重複しても、各々の端末からのパケットの送信元 IP アドレスは本商品①と本商品③において本商品②より割り当てられた IP アドレスに変換され、PC②へ送信されるため、PC②で受信するパケットの送信元 IP アドレスは、どの端末からのパケットか識別することができ、正しく応答できます。そのため、通信を行う拠点間の LAN のネットワークアドレスが独立であれば、通信可能です。

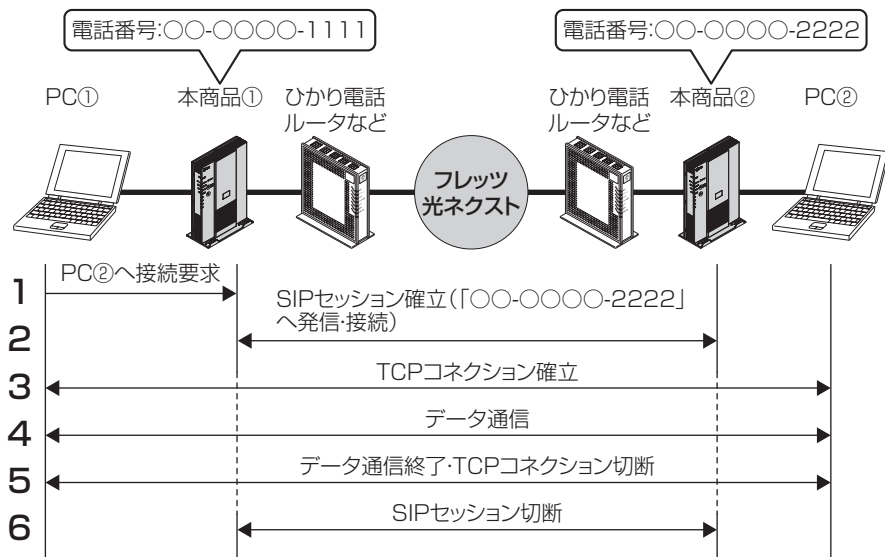
ただし、発信が反対方向（PC②から PC①または PC③への発信）となった場合には、宛先 IP アドレスが同一となり、本商品②がどちらに発信すべきか識別できないため、双方向で発信が発生するシステムにはご利用いただけません。（トンネルを確立した後についても、着信側からのフロー追加は行えません。）

さらに、端末からのパケットを本商品で NATP 変換するため、FTP のようにアプリケーション間で IP アドレスやポート番号をやりとりするような通信ではご利用できない可能性があります。

なお、DHCP 使用時に端末アドレスを固定するためには、アドレス割当設定を行い、MAC アドレス /IPv4 アドレスを組みで設定してください。DHCP によるアドレス設定を固定することができます。また DHCP を用いない場合は、本商品の DHCP サーバ機能を無効にしてください。

TCPストリーム通信

TCPストリーム通信を用いたデータ通信方法の概要を説明します。
以下の図で、PC①がPC②と通信する場合の動作例を説明します。

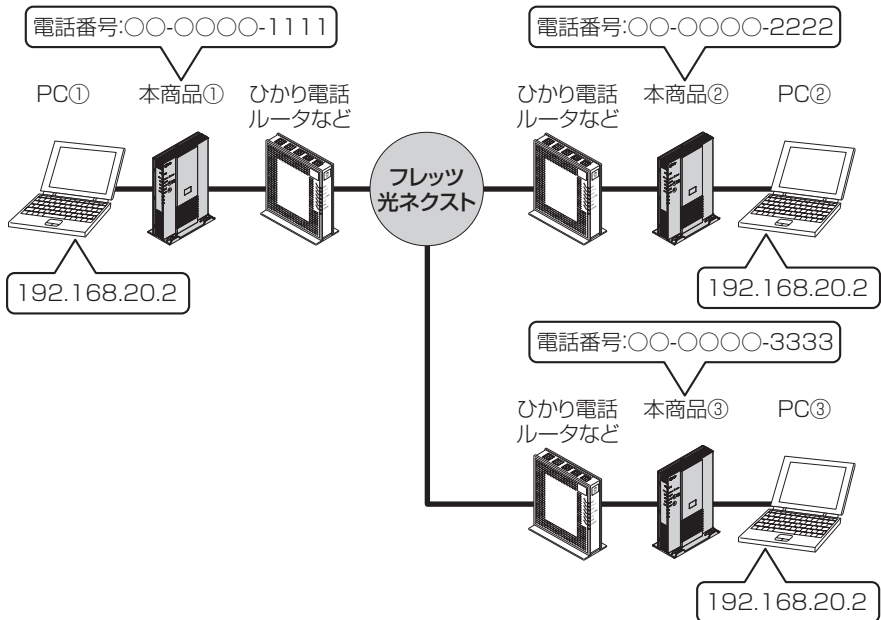


項番	動作	説明
1	PC②へ接続要求	PC①の送出するパケットの宛先IPアドレスを、本商品①の発信テーブルから検索し、事前に設定した接続先電話番号「00-0000-2222」を得ます。
2	SIPセッション確立	本商品①と本商品②の間でSIPセッションを確立し、PC①とPC②間の通信パスを設定します。
3	TCPコネクション確立	PC①とPC②間でTCPコネクションを確立し、データ通信が可能な状態になります。
4	データ通信	PC①～PC②間でTCPコネクションを用いたデータ通信を行います。
5	データ通信終了・TCPコネクション切断	PC①～PC②間でデータ通信が終了後、TCPコネクションを切断します。
6	SIPセッション切断	TCPコネクションの切断完了後に、SIPセッションを切断します。

TCPストリーム通信では、FTPのようにアプリケーション間でIPアドレスやポート番号をやりとりするような通信がご利用できない可能性があります。

TCPストリーム通信のご利用方法

TCPストリーム通信では、各LANを任意のネットワークアドレスで運用することが可能です。または、全てデフォルト(DHCPによる自動設定)の「192.168.20.0/24」で運用することも可能です。ただし、他拠点LANに接続するためには、自拠点LANとは異なるネットワークアドレスを仮想的に割り当て、各接続先端末にIPアドレスを付与してください。このとき、仮想的に割り当てる接続先端末IPアドレスは、ネットワーク全体で割り当て/各LANに割り当て/各発信端末に割り当て、のいずれかの方法で行ってください。以下図において、割り当て例を示します。



(割り当て例:ネットワーク全体)

端末	電話番号	端末アドレス	ポート番号	仮想割当アドレス※1
PC①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.2/24	80	10.10.1.1/24
PC②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.2/24	80	10.10.1.2/24
PC③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.20.2/24	80	10.10.1.3/24

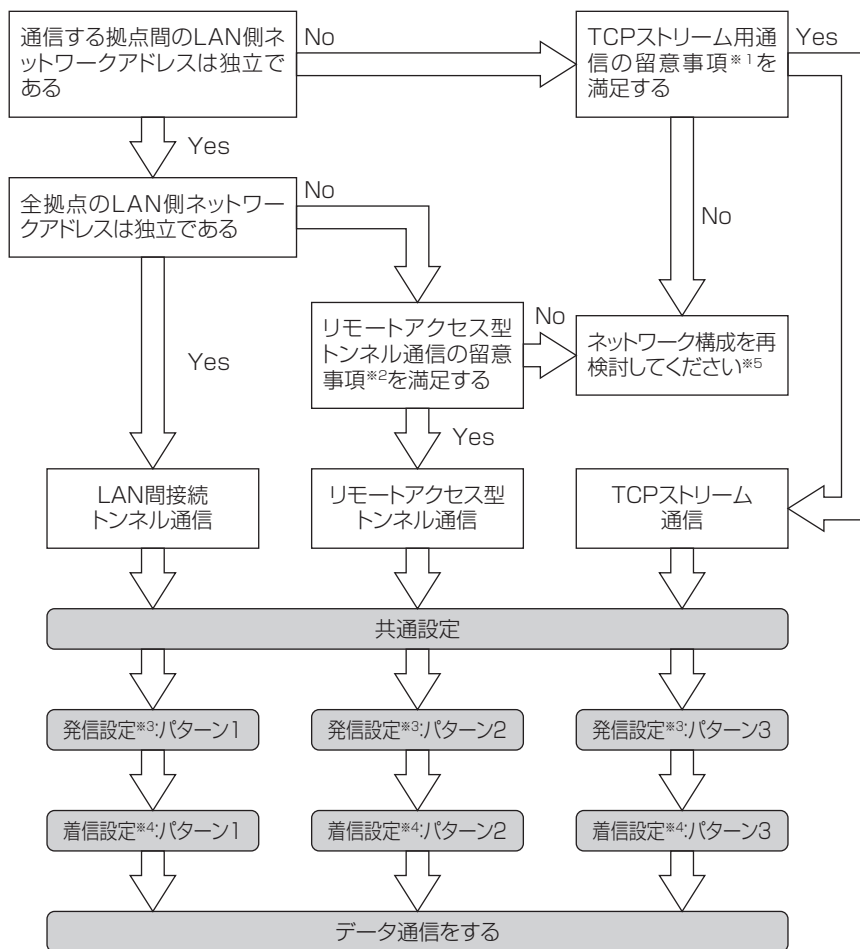
※1 上記仮想割当アドレス例は、ひかり電話網を介して接続を受け付ける端末数を254台以下として、ネットワークアドレスを「10.10.1.0/24」にしています。

本割り当て例で、PC①からPC②へ接続したい場合は、PC①から「宛先=10.10.1.2:80」へ接続要求を行います。

なお、DHCP 使用時に端末アドレスを固定するためには、アドレス割当設定を行い、MAC アドレス /IPv4 アドレスを組みで設定してください。DHCP によるアドレス設定を固定することができます。また DHCP を用いない場合は、本商品の DHCP サーバ機能を無効にしてください。

4-2 データ通信設定の流れ

データ通信を利用するための、本商品の設定の流れを説明します。



- ※1 ①使用するプロトコルがTCP/IPv4であること
②FTPなど通信経路上のIPヘッダおよびTCP/UDPヘッダの書換により影響を受けるようなアプリケーション通信を行わないこと
③TCPコネクションの同時接続数が、5本を超えないこと。超える場合はダブルチャネル契約などのオプション契約を申し込みしてください。
- ※2 ①FTPなど通信経路上のIPヘッダおよびTCP/UDPヘッダの書換により影響を受けるようなアプリケーション通信を行わないこと
②サーバ/クライアント型通信で必ずクライアント側からの発信のみであること
- ※3 データ通信の開始時に発信側として使用しない場合、本設定は実施する必要がありません。データ通信の開始時に着信側として使用しない場合、本設定は実施する必要がありません。
- ※5 本商品を用いてご利用可能なデータ通信については、「4-1 データ通信の概要」をご覧ください。

共通設定

データ通信を利用するための、共通して関連する項目の設定方法を説明します。

項番	設定項目	説明	参照ページ
1	LAN接続・DHCPv4サーバ設定	LAN側IPv4アドレス、およびDHCPv4サーバ機能を設定します。LAN側IPv4アドレス、ネットマスクの設定、およびDHCPv4サーバ機能の有効・無効設定および割り当てるアドレス範囲、数を設定します。	5-27 「詳細設定－ネットワーク設定－LAN接続・DHCPv4サーバ設定」
2	アドレス割当設定	DHCPv4サーバ機能を使用する場合に、割り当てるIPv4アドレスを、端末MACアドレスごとに固定することができます。DHCPv4サーバ機能を使用しない場合には、設定する必要はありません。	5-30 「詳細設定－ネットワーク設定－LAN接続・DHCPv4サーバ設定－アドレス割当設定」
3	SIPアダプテーション設定	SIPアダプテーション機能を設定します。本商品に設定する最大SIPセッション数、最大メディアストリーム数 ^{※1} 、最大グループ化数 ^{※1} 、グループ化帯域閾値 ^{※1} 、無通信時判定時間（TCP/UDP・ICMP ^{※2} ）、TCP切断後SIPセッション保持時間およびゲートウェイID ^{※2} を設定します。	5-33 「詳細設定－SIP関連設定－SIPアダプテーション設定」
4	設定保存する	設定情報を本商品に保存します。	5-42 「メンテナンス－設定保存」
5	装置再起動する	設定情報を有効にするために、本商品を再起動します。	5-49 「メンテナンス－装置再起動」

※1 TCPストリーム用エントリに対してのみ使用します。

※2 トンネル用エントリに対してのみ使用します。

発信設定パターン1（LAN間接続トンネル通信－発信）

LAN間接続トンネルによる発信を実施し、データ通信を利用するために必要な設定項目を説明します。

項番	設定項目	説明	参照ページ
1	トンネル用発信テーブル設定	トンネル用SIPセッションを発信する場合に参照するテーブルです。 設定必須項目： ・プロトコル ・宛先IPアドレス（IPアドレス/ポート番号） ・送信元IPアドレス（IPアドレス/ポート番号） ・宛先電話番号 ・メディア情報帯域幅 ・事前共有鍵 ・接続形態：LAN間接続 プロトコル・宛先IPアドレス・送信元IPアドレスは、ローカル端末からのパケットと一致する必要があります。	5-8 「基本設定－発着信設定－トンネル用－発信テーブル設定」
2	設定保存する	再起動後も上記設定を有効にするため、設定情報を本商品に保存します。	5-42 「メンテナンス－設定保存」

着信設定パターン1（LAN間接続トンネル通信－着信）

LAN間接続トンネルによる着信を実施し、データ通信を利用するために必要な設定項目を説明します。

項番	設定項目	説明	参照ページ
1	トンネル用着信テーブル設定	トンネル用SIPセッションが着信した場合に参照するテーブルです。事前共有鍵でのトンネルの認証、および通信する機器を特定するために用います。	5-13 「基本設定－発着信設定－トンネル用－着信テーブル設定」
2	発信者番号認証モード設定	SIPセッション着信時の認証モードを指定します。	5-38 「詳細設定－SIP関連設定－発信者番号認証モード設定」
3	発信者番号認証テーブル設定	発信者番号認証を行う場合に、拒否リスト、または、許可リストとして設定します。	5-22 「基本設定－発着信設定－発信者番号認証テーブル設定」
4	設定保存する	再起動後も上記設定を有効にするため、設定情報を本商品に保存します。	5-42 「メンテナンス－設定保存」

発信設定パターン2（リモートアクセス型接続トンネル通信－発信）

リモートアクセス型接続トンネルによる発信を実施し、データ通信を利用するために必要な設定項目を説明します。

項番	設定項目	説明	参照ページ
1	トンネル用 発信テーブル 設定	トンネル用SIPセッションを発信する場合に参照するテーブルです。 設定必須項目： ・プロトコル ・宛先IPアドレス（IPアドレス/ポート番号） ・送信元IPアドレス（IPアドレス/ポート番号） ・宛先電話番号 ・メディア情報帯域幅 ・事前共有鍵 ・接続形態： リモートアクセス型接続 ・ユーザID ・パスワード プロトコル・宛先IPアドレス・送信元IPアドレスは、ローカル端末からのパケットと一致する必要があります。 ユーザID・パスワードは、着信側SIP-TAからのアドレス割当を行うために必要です。	5-8 「基本設定－発着信設定－トンネル用－発信テーブル設定」
2	設定保存する	再起動後も上記設定を有効にするため、設定情報を本商品に保存します。	5-42 「メンテナンス－設定保存」

着信設定パターン2（リモートアクセス型接続トンネル通信－着信）

リモートアクセス型接続トンネルによる着信を実施し、データ通信を利用するために必要な設定項目を説明します。

項番	設定項目	説明	参照ページ
1	トンネル用着信テーブル設定	トンネル用SIPセッションが着信した場合に参照するテーブルです。事前共有鍵でのトンネルの認証、および通信する機器を特定するために用います。	5-13 「基本設定－発着信設定－トンネル用－着信テーブル設定」
2	トンネル用アドレスプール設定	リモートアクセス型トンネル用SIPセッションが着信した場合に、発信側SIP-TAに割り当てるIPアドレスの範囲を指定します。	5-14 「基本設定－発着信設定－トンネル用－アドレスプール設定」
3	トンネル用アドレスプールアドレス割当設定	リモートアクセス型トンネル用SIPセッションが着信した場合に、アドレス割当時に行うユーザー認証設定です。割り当てるアドレスをユーザーIDごとに指定することもできます。	5-15 「基本設定－発着信設定－トンネル用－アドレスプール設定－アドレス割当設定」
4	発信者番号認証モード設定	SIPセッション着信時の認証モードを指定します。	5-38 「詳細設定－SIP関連設定－発信者番号認証モード設定」
5	発信者番号認証テーブル設定	発信者番号認証を行う場合に、拒否リスト、または、許可リストとして設定します。	5-22 「基本設定－発着信設定－発信者番号認証テーブル設定」
6	設定保存する	再起動後も上記設定を有効にするため、設定情報を本商品に保存します。	5-42 「メンテナンス－設定保存」

発信設定パターン3 (TCPストリーム通信－発信)

TCPストリームによる発信を実施し、データ通信を利用するために必要な設定項目を説明します。

項番	設定項目	説明	参照ページ
1	TCPストリーム用発信テーブル設定	TCPストリーム用SIPセッションを発信する場合に参照するテーブルです。ローカルPCから出力される宛先IPアドレス (IPアドレス/TCPポート番号) から、宛先電話番号およびメディア情報 (必要帯域など) を取得するために用います。	5-16 「基本設定－発着信設定－TCPストリーム用－発信テーブル設定」
2	設定保存する	再起動後も上記設定を有効にするため、設定情報を本商品に保存します。	5-42 「メンテナンス－設定保存」

着信設定パターン3 (TCPストリーム通信－着信)

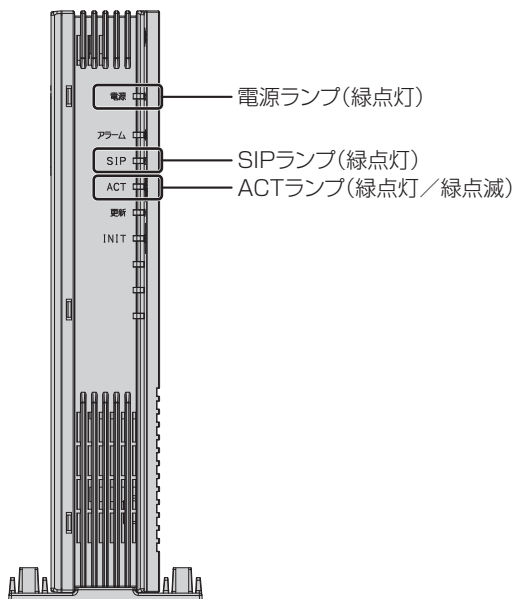
TCPストリームによる着信を実施し、データ通信を利用するために必要な設定項目を説明します。

項番	設定項目	説明	参照ページ
1	TCPストリーム用着信テーブル設定	TCPストリーム用SIPセッションが着信した場合に参照するテーブルです。着信先電話番号から、ローカルPCの宛先IPアドレス (IPアドレス/TCPポート番号) を取得するために用います。	5-20 「基本設定－発着信設定－TCPストリーム用－着信テーブル設定」
2	発信者番号認証モード設定	SIPセッション着信時の認証モードを指定します。	5-38 「詳細設定－SIP関連設定－発信者番号認証モード設定」
3	発信者番号認証テーブル設定	発信者番号認証を行う場合に、拒否リスト、または、許可リストとして設定します。	5-22 「基本設定－発着信設定－発信者番号認証テーブル設定」
4	設定保存する	再起動後も上記設定を有効にするため、設定情報を本商品に保存します。	5-42 「メンテナンス－設定保存」

4-3 データ通信をする

ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようにになっていることを確認してください。



〈ご注意〉

- 本商品前面のSIPランプが消灯している場合は、データ通信のご利用はできません。
- 本商品前面のSIPランプが橙点灯している場合は、網輻輳により接続できない状態です。しばらくの間お待ちください。

SIPセッション発信とSIPセッション情報確認

端末装置から、接続先装置のIPアドレス／ポート番号を指定して接続します。指定するIPアドレス／ポート番号は、トンネル用発信テーブルまたはTCPストリーム用発信テーブルで設定した宛先IPアドレス／宛先ポート番号です。

Web設定でSIPセッション情報を確認します。

情報－SIPセッション情報

SIPセッション情報を表示します。

【SIPセッション情報】

[最新に更新]をクリックすると最新の内容に更新されます。

【SIPセッション情報】					
～SIPセッション情報の表示を行います。					
【SIPセッション情報】					
①	エントリ番号	3			
②	セッションID	abcde0123456789			
③	発信エントリID	3			
④	宛先電話番号	0312345678			
⑤	コネクション番号	1	2	3	4
⑥	発信元	IPアドレス	ポート番号	コネクション番号	
		192.168.14.2	8000	192.168.14.2	6000
⑦	発信	IPアドレス	ポート番号	コネクション番号	
		192.168.14.2	2001	192.168.14.2	6000
⑧	メディアタイプ	application	application		
⑨	プロトコル	TCP	TCP		
⑩	種別	データ通信	遠隔管理		

ご使用の端末装置が利用するコネクションが表示されます。トンネル通信では、1つのSIPセッション内に複数フローがあってもコネクションは1つしか表示されません。一方、TCPストリーム通信のグループ化対象のコネクションでは、1つのSIPセッション内に複数のコネクションが表示されます。また、コネクション番号ごとの利用可否が表示されます。利用可能（空）コネクションについてはコネクション情報が空白で表示され、利用不可（削除済み）のコネクションについてはコネクション情報が「-」で表示されます。

① エントリ番号／セッションID

セッションを管理する番号です。

② 発信エントリID

接続先IPアドレス/ポート番号に応じて適用された発信テーブルのIDです。

③ 宛先電話番号

接続先に応じて適用されたトンネル用発信テーブルまたはTCPストリーム用発信テーブルに設定されている電話番号です。

④コネクション番号

本SIPセッション内で接続されているコネクションの番号です。
本番号は、構成情報ログのメディアID（表示上はID）に相当します。

⑤帯域幅

トンネル用発信テーブルまたはTCPストリーム用発信テーブルで設定されている帯域幅です。

⑥送信元

TCPストリーム通信の場合、接続元端末のIPv4アドレス／TCPポート番号が表示されます。トンネル通信の場合、本商品が網から取得したIPv6アドレス／UDPポート番号が表示されます。

⑦宛先

網から通知された接続先のIPアドレス／ポート番号です。トンネル通信の場合、IPv6アドレス／UDPポート番号が表示されます。TCPストリーム通信の場合、IPv4アドレス／TCPポート番号が表示されます。

⑧メディアタイプ

メディアタイプを示します。本商品では、「application」固定です。

⑨プロトコル

プロトコルを示します。本商品では、トンネル通信時には「UDP」、TCPストリーム通信および遠隔管理用通信時には「TCP」です。

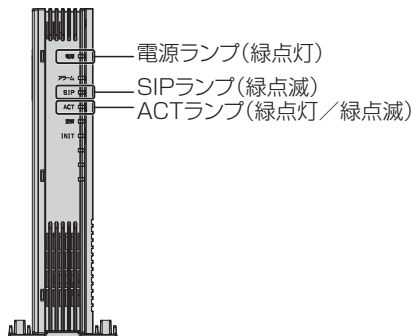
⑩種別

データ通信の種別を示します。本商品では、端末装置間のトンネル通信時には「トンネル」、端末装置間のTCPストリーム通信時には「データ通信」、遠隔でのWeb-GUI接続または設定ツールでの接続時には「遠隔管理」です。

〈ご参考〉

- 本商品は、保守・メンテナンスのため遠隔によりWeb-GUI接続または設定ツールにより接続することがあります。このとき、該当コネクションについては、種別に「遠隔管理」が表示されます。

データ通信中の、本商品のランプ表示は下記のようになっています。



SIPセッション着信とSIPセッション情報確認

対向側SIP-TAのLANポートに接続された端末から、本商品に通信を起動して、着信接続できることを確認します。Web設定でSIPセッション情報を確認します。

情報－SIPセッション情報

SIPセッション情報を表示します。

【SIPセッション情報】

[最新に更新]をクリックすると最新の内容に更新されます。

情報 > SIPセッション情報

→SIPセッション情報の表示を行います。

【SIPセッション情報】

①	②	③	④ コネクション番号	
エン트리番号	セッションID	発信電話番号	1	2
200	1	192168182	200	180
⑤	⑥	⑦	⑧	
発信元	SIPアドレス	ポート番号	コネクション番号	
192.168.18.2	192.168.18.2	50000	200	180
⑨	⑩	⑪	⑫	
宛先	SIPアドレス	ポート番号	コネクション番号	
192.168.18.2	192.168.18.2	50001	200	180
⑬	⑭	⑮	⑯	
メディアタイプ	プロトコル	種別	SIPセッション情報	
application	TCP	デフォルト	200	180

最新に更新

【実行結果】
実行しました。

ご使用の端末装置が利用するコネクションが表示されます。トンネル通信では、1つのSIPセッション内に複数フローがあってもコネクションは1つしか表示されません。一方、TCPストリーム通信のグループ化対象のコネクションでは、1つのSIPセッション内に複数のコネクションが表示されます。また、コネクション番号ごとの利用可否が表示されます。利用可能（空き）コネクションについてはコネクション情報が空白で表示され、利用不可（削除済み）のコネクションについてはコネクション情報が「-」で表示されます。

①エン트리番号／セッションID

セッションを管理する番号です。

②発信エン트리ID

着信接続したセッションは「着信」と表示されます。

③宛先電話番号

着信先の電話番号です。

④コネクション番号

本SIPセッション内で接続されているコネクションの番号です。

本番号は、構成情報ログのメディアID（表示上はID）に相当します。

⑤帯域幅

トンネル用発信テーブルまたはTCPストリーム用発信テーブルで設定されている帯域幅です。

⑥送信元

網から通知された接続元のIPアドレス／ポート番号です。トンネル通信の場合、IPv6アドレス／UDPポート番号が表示されます。TCPストリーム通信の場合、IPv4アドレス／TCPポート番号が表示されます。

⑦宛先

TCPストリーム通信の場合、接続先端末のIPv4アドレス／TCPポート番号が表示されます。トンネル通信の場合、本商品が網から取得したIPv6アドレス／UDPポート番号が表示されます。

⑧メディアタイプ

メディアタイプを示します。本商品では、「application」固定です。

⑨プロトコル

プロトコルを示します。本商品では、トンネル通信時には「UDP」、TCPストリーム通信および遠隔管理用通信時には「TCP」です。

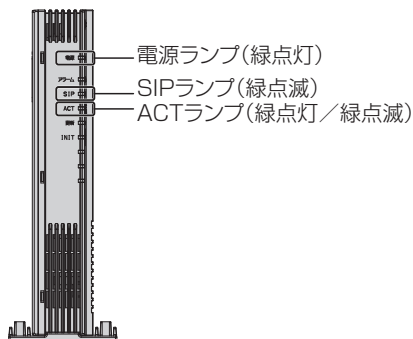
⑩種別

データ通信の種別を示します。本商品では、端末装置間のトンネル通信時には「トンネル」、端末装置間のTCPストリーム通信時には「データ通信」、遠隔でのWeb-GUI接続または設定ツールでの接続時には「遠隔管理」です。

〈ご参考〉

- 本商品は、保守・メンテナンスのため遠隔によりWeb-GUI接続または設定ツールにより接続することがあります。このとき、該当コネクションについては、種別に「遠隔管理」が表示されます。

データ通信中の、本商品のランプ表示は下記のようになっています。

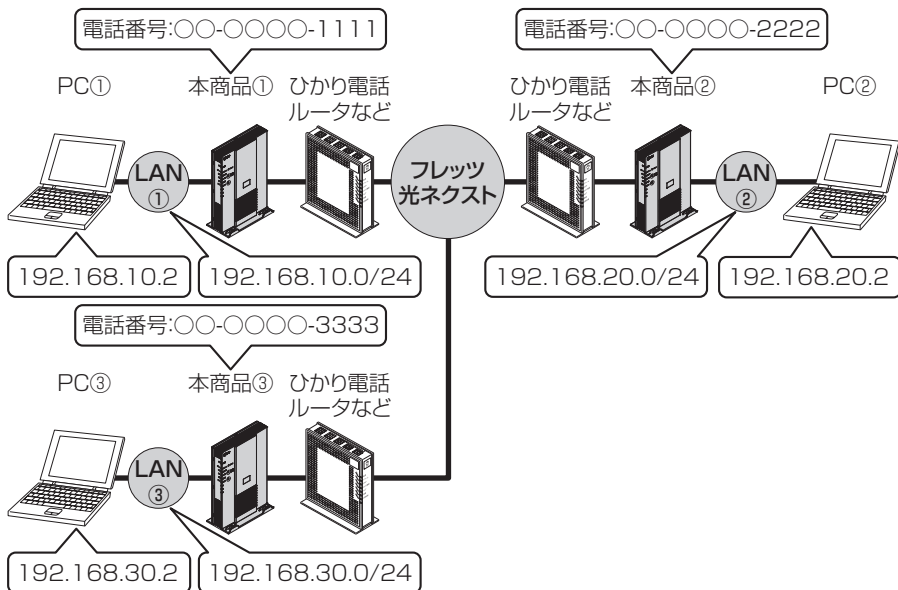


4-4 データ通信の設定例

データ通信について、設定例を示します。設定例を参考にして、本商品を設定してください。

トンネル通信の作成例

下記のシステム構成例を元に説明します。



トンネル用発信テーブルの作成例

構成例から本商品①のトンネル用発信テーブルは以下のように作成します。本商品②、③のトンネル用発信テーブルも同様に作成します。

(構成例)

LAN	電話番号	ネットワークアドレス	端末アドレス
LAN①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.10.0/24	(PC①) 192.168.10.2
LAN②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.0/24	(PC②) 192.168.20.2
LAN③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.30.0/24	(PC③) 192.168.30.2

(本商品①のトンネル用
発信テーブル)

接続先LAN	宛先IPアドレス/マスク長	宛先TCPポート番号 および宛先UDPポート番号	電話番号
LAN②	192.168.20.0/24	任意	〇〇-〇〇〇〇-2222
LAN③	192.168.30.0/24	任意	〇〇-〇〇〇〇-3333

トンネル用着信テーブルの作成例

構成例から本商品①のトンネル用着信テーブルは以下のように作成します。本商品②、③のトンネル用着信テーブルも同様に作成します。

(構成例)

LAN	電話番号	ネットワークアドレス	端末アドレス
LAN①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.10.0/24	(PC①)192.168.10.2
LAN②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.0/24	(PC②)192.168.20.2
LAN③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.30.0/24	(PC③)192.168.30.2

(本商品①のトンネル用)
着信テーブル

着信先端末	受付IPアドレス/マスク長
PC①	192.168.10.0/24

IPsecによるトンネルを用いるため、事前共有鍵による認証を実施した後、上記トンネル用着信テーブルの例のように、電話番号によらず、IPアドレス指定で着信を受け付けます。

その他の構成例

複数拠点のLAN側ネットワークアドレスが同一の場合は、リモートアクセス型接続を選択してください。

例：本商品①と本商品③の拠点のネットワークアドレスが同一の場合

(構成例：本商品①と本商品③の拠点のネットワークアドレスがともに192.168.10.0/24)

LAN	電話番号	ネットワークアドレス	端末アドレス
LAN①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.10.0/24	(PC①)192.168.10.2
LAN②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.0/24	(PC②)192.168.20.2
LAN③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.10.0/24	(PC③)192.168.10.2

LAN間接続トンネル通信の設定例

本商品の実際の設定例を示します。前提条件は以下のとおりです。

(前提条件)

網構成：3拠点（各拠点のネットワークアドレスは独立）

サーバ設置拠点：サーバ装置×1台

クライアント設置拠点：クライアント装置×1台×2拠点

遠隔管理：実施しない

クライアント拠点間通信：実施する

IPアドレス/電話番号設定：下表による

拠 点	電話番号	ネットワークアドレス
サーバ	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.0/24
クライアント①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.10.0/24
クライアント②	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.30.0/24

使用プロトコル：TCP・UDP・ICMP

通信帯域：1000kbps

発信許容数SIPセッション：2

2番号冗長：使用しない

発信者番号認証：「許可リスト」として発信者番号認証を行う

LAN側：DHCPサーバ使用する

(サーバ/クライアント装置はアドレス割当設定)

【発信エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1	1
発信エントリ	有効	有効	有効
プロトコル	TCP UDP ICMP	TCP UDP ICMP	TCP UDP ICMP
検索条件1：検索対象	有効	有効	有効
宛先IPアドレス/マスク長	192.168.10.0/24	192.168.20.0/24	192.168.20.0/24
宛先TCPポート番号	任意	任意	任意
宛先UDPポート番号	任意	任意	任意
送信元IPアドレス/マスク長	192.168.20.0/24	192.168.10.0/24	192.168.30.0/24
送信元TCPポート番号	任意	任意	任意
送信元UDPポート番号	任意	任意	任意
検索条件2：検索対象	無効	無効	無効
検索条件3：検索対象	無効	無効	無効
宛先電話番号	〇〇〇〇〇〇1111	〇〇〇〇〇〇2222	〇〇〇〇〇〇2222
宛先電話番号 (予備)	空白	空白	空白
メディア情報帯域幅	1000	1000	1000
発信許容数SIPセッション	0	0	0
無通信状態判定時間 (TCP)	デフォルト (600秒)	デフォルト (600秒)	デフォルト (600秒)
無通信状態判定時間 (UDP・ICMP)	デフォルト (20秒)	デフォルト (20秒)	デフォルト (20秒)
事前共有鍵	presaredkey1	presaredkey2	presaredkey2
接続形態	LAN間接続	LAN間接続	LAN間接続
ユーザID	設定不可	設定不可	設定不可
パスワード	設定不可	設定不可	設定不可

【発信エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	2	2	2
発信エントリ	有効	有効	有効
プロトコル	TCP UDP ICMP	TCP UDP ICMP	TCP UDP ICMP
検索条件1：検索対象	有効	有効	有効
宛先IPアドレス/マスク長	192.168.30.0/24	192.168.30.0/24	192.168.10.0/24
宛先TCPポート番号	任意	任意	任意
宛先UDPポート番号	任意	任意	任意
送信元IPアドレス/マスク長	192.168.20.0/24	192.168.10.0/24	192.168.30.0/24
送信元TCPポート番号	任意	任意	任意
送信元UDPポート番号	任意	任意	任意
検索条件2：検索対象	無効	無効	無効
検索条件3：検索対象	無効	無効	無効
宛先電話番号	○○○○○○3333	○○○○○○3333	○○○○○○1111
宛先電話番号（予備）	空白	空白	空白
メディア情報帯域幅	1000	1000	1000
発信許容数SIPセッション	0	0	0
無通信状態判定時間（TCP）	デフォルト（600秒）	デフォルト（600秒）	デフォルト（600秒）
無通信状態判定時間（UDP・ICMP）	デフォルト（20秒）	デフォルト（20秒）	デフォルト（20秒）
事前共有鍵	presaredkey3	presaredkey3	presaredkey1
接続形態	LAN間接続	LAN間接続	LAN間接続
ユーザーID	設定不可	設定不可	設定不可
パスワード	設定不可	設定不可	設定不可

【着信テーブル設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
事前共有鍵	presaredkey2	presaredkey1	presaredkey3
受付IPアドレス：1	192.168.20.0/24	192.168.10.0/24	192.168.30.0/24
受付IPアドレス：2	空白	空白	空白
受付IPアドレス：3	空白	空白	空白

【発信者番号認証エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1	1
発信者番号認証エントリ	有効	有効	有効
発信者番号※1	電話番号指定 ○○○○○○1111	電話番号指定 ○○○○○○2222	電話番号指定 ○○○○○○1111
宛先電話番号	空白	空白	空白
エントリ番号 (ID)	2	2	2
発信者番号認証エントリ	有効	有効	有効
発信者番号※1	電話番号指定 ○○○○○○3333	電話番号指定 ○○○○○○3333	電話番号指定 ○○○○○○2222
宛先電話番号	空白	空白	空白

※1 ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。また、発信側で電話番号を通知する必要があります。

【LAN側IPv4アドレス】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
IPv4アドレス	192.168.20.1	192.168.10.1	192.168.30.1
ネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0	255.255.255.0
【DHCPv4サーバ情報】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
DHCPサーバ機能	有効	有効	有効
割当先頭IPv4アドレス	192.168.20.2	192.168.10.2	192.168.30.2
割当可能数	64	64	64
デフォルトゲートウェイ	192.168.20.1	192.168.10.1	192.168.30.1
プライマリDNSサーバ	192.168.20.1	192.168.10.1	192.168.30.1
セカンダリDNSサーバ	空白	空白	空白
リース時間	24時間	24時間	24時間

【DHCPv4アドレス割当エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1	1
アドレス割当エントリ	有効	有効	有効
IPv4アドレス	192.168.20.2	192.168.10.2	192.168.30.2
MACアドレス※2	xx:xx:xx:xx:xx:xx	xx:xx:xx:xx:xx:xx	xx:xx:xx:xx:xx:xx

※2 接続する装置のMACアドレスになります。

【SIPアダプテーション設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
最大SIPセッション数	2	2	2
最大メディアストリーム数	10	10	10
最大グループ化数	5	5	5
グループ化帯域閾値	1000	1000	1000
無通信時判定時間 (TCP)	600秒	600秒	600秒
無通信時判定時間 (UDP・ICMP)	20秒	20秒	20秒
TCP切断後SIPセッション保持時間	なし	なし	なし
ゲートウェイID	自動	自動	自動

【SIPアダプテーション詳細設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
連続発信許可数	15回	15回	15回
連続発信抑制タイマ	180秒	180秒	180秒

本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

【発信者番号認証モード設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
認証モード	許可リスト	許可リスト	許可リスト

【WANポート】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
WAN	自動	自動	自動
【LANポート】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
LAN1	自動	自動	自動
LAN2	自動	自動	自動
LAN3	自動	自動	自動
LAN4	自動	自動	自動

【遠隔管理受付設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
遠隔管理受付	無効	無効	無効

本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

リモートアクセス型接続トンネル通信の設定例

本商品の実際の設定例を示します。前提条件は以下のとおりです。

(前提条件)

網構成：3拠点（クライアント設置拠点のネットワークアドレス重複あり）

サーバ設置拠点：サーバ装置×1台（着信専用）

クライアント設置拠点：クライアント装置×1台×2拠点（発信専用）

遠隔管理：実施しない

通信形態：クライアント設置拠点からサーバ設置拠点への発信のみ

IPアドレス/電話番号設定：下表による

端 末	電話番号	ネットワークアドレス
サーバ	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.0/24
クライアント①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.10.0/24
クライアント②	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.10.0/24

使用プロトコル：TCP・UDP・ICMP

通信帯域：1000kbps

発信許容数SIPセッション：2

2番号冗長：使用しない

発信者番号認証：「許可リスト」として発信者番号認証を行う

LAN側：DHCPサーバ使用する

(サーバ/クライアント装置はアドレス割当設定)

【発信エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1	1
発信エントリ	無効	有効	有効
プロトコル	—	TCP UDP ICMP	TCP UDP ICMP
検索条件1：検索対象	—	有効	有効
宛先IPアドレス/マスク長	—	192.168.20.0/24	192.168.20.0/24
宛先TCPポート番号	—	任意	任意
宛先UDPポート番号	—	任意	任意
送信元IPアドレス/マスク長	—	192.168.10.0/24	192.168.10.0/24
送信元TCPポート番号	—	任意	任意
送信元UDPポート番号	—	任意	任意
検索条件2：検索対象	—	無効	無効
検索条件3：検索対象	—	無効	無効
宛先電話番号	—	〇〇〇〇〇〇2222	〇〇〇〇〇〇2222
宛先電話番号 (予備)	—	空白	空白
メディア情報帯域幅	—	1000	1000
発信許容数SIPセッション	—	0	0
無通信状態判定時間 (TCP)	—	デフォルト (600秒)	デフォルト (600秒)
無通信状態判定時間 (UDP・ICMP)	—	デフォルト (20秒)	デフォルト (20秒)
事前共有鍵	—	presaredkey2	presaredkey2
接続形態	—	リモートアクセス型接続	リモートアクセス型接続
ユーザID	—	user1@test	user2@test
パスワード	—	pass1	pass2

【着信テーブル設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
事前共有鍵	presharedkey2	—	—
受付IPアドレス：1	192.168.20.0/24	—	—
受付IPアドレス：2	空白	—	—
受付IPアドレス：3	空白	—	—

【アドレスプール設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
IPv4アドレス/マスク長	192.168.40.0/24	—	—
IPv6アドレス/プレフィックス長	2001:db8:0:1::/64	—	—

【トンネル用アドレス割当 エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1	1
アドレス割当エントリ	有効	無効	無効
ユーザID	user1@test	—	—
パスワード	pass1	—	—
IPv4アドレス	192.168.40.1	—	—
IPv6アドレス	2001:db8:0:1::1	—	—
エントリ番号 (ID)	2	2	2
アドレス割当エントリ	有効	無効	無効
ユーザID	user2@test	—	—
パスワード	pass2	—	—
IPv4アドレス	192.168.40.2	—	—
IPv6アドレス	2001:db8:0:1::2	—	—

【発信者番号認証エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1	1
発信者番号認証エントリ	有効	無効	無効
発信者番号※1	電話番号指定 ○○○○○○1111	—	—
宛先電話番号	空白	—	—
エントリ番号 (ID)	2	2	2
発信者番号認証エントリ	有効	有効	有効
発信者番号※1	電話番号指定 ○○○○○○3333	—	—
宛先電話番号	空白	—	—

※1 ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。また、発信側で電話番号を通知する必要があります。

【LAN側IPv4アドレス】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
IPv4アドレス	192.168.20.1	192.168.10.1	192.168.10.1
ネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0	255.255.255.0
【DHCPv4サーバ情報】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
DHCPサーバ機能	有効	有効	有効
割当先頭IPv4アドレス	192.168.20.2	192.168.10.2	192.168.10.2
割当可能数	64	64	64
デフォルトゲートウェイ	192.168.20.1	192.168.10.1	192.168.10.1
プライマリDNSサーバ	192.168.20.1	192.168.10.1	192.168.10.1
セカンダリDNSサーバ	空白	空白	空白
リース時間	24時間	24時間	24時間

【DHCPv4アドレス割当 エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1	1
アドレス割当エントリ	有効	有効	有効
IPv4アドレス	192.168.20.2	192.168.10.2	192.168.10.2
MACアドレス※2	xx:xx:xx:xx:xx:xx	xx:xx:xx:xx:xx:xx	xx:xx:xx:xx:xx:xx

※2 接続する装置のMACアドレスになります。

【SIPアダプテーション設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
最大SIPセッション数	2	2	2
最大メディアストリーム数	10	10	10
最大グループ化数	5	5	5
グループ化帯域閾値	1000	1000	1000
無通信時判定時間 (TCP)	600秒	600秒	600秒
無通信時判定時間 (UDP・ICMP)	20秒	20秒	20秒
TCP切断後SIPセッション保持時間	なし	なし	なし
ゲートウェイID	自動	自動	自動

【SIPアダプテーション詳細設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
連続発信許可数	15回	15回	15回
連続発信抑制タイマ	180秒	180秒	180秒

本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

【発信者番号認証モード設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
認証モード	許可リスト	許可リスト	許可リスト

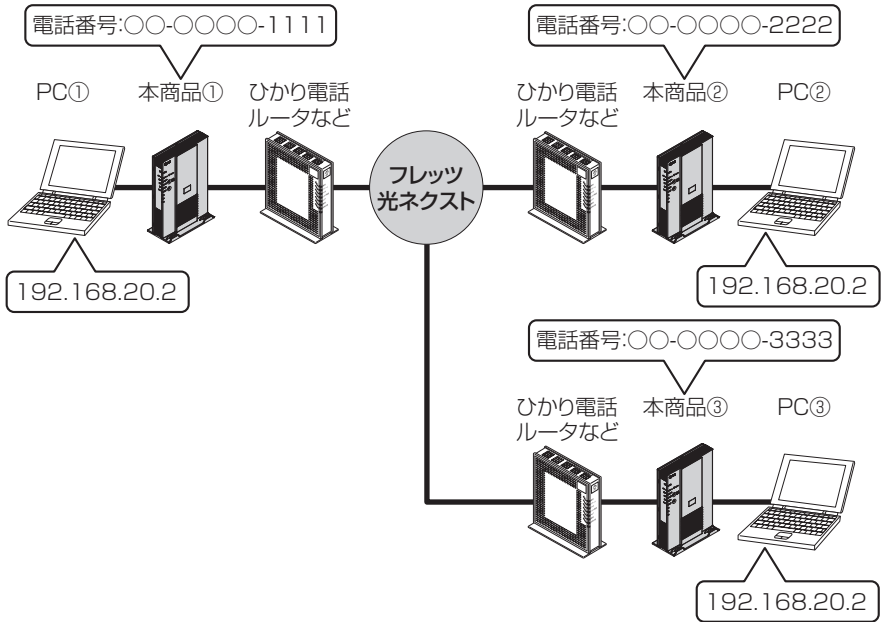
【WANポート】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
WAN	自動	自動	自動
【LANポート】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
LAN1	自動	自動	自動
LAN2	自動	自動	自動
LAN3	自動	自動	自動
LAN4	自動	自動	自動

【遠隔管理受付設定】	サーバ設置拠点	クライアント①設置拠点	クライアント②設置拠点
遠隔管理受付	無効	無効	無効

本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

TCPストリーム通信の作成例

「4-1 データ通信の概要 TCPストリーム通信のご利用方法」の場合で説明した仮想IPアドレス割当例を元に説明します。



TCPストリーム用発信テーブルの作成例

割当例から本商品①のTCPストリーム用発信テーブルは以下のように作成します。本商品②、③のTCPストリーム用発信テーブルも同様に作成します。

(割当例)

端 末	電話番号	端末アドレス	ポート番号	仮想割当アドレス
PC①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.2	80	10.10.1.1
PC②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.2	80	10.10.1.2
PC③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.20.2	80	10.10.1.3

(本商品①のTCPストリーム用発信テーブル)

接続先端末	宛先IPv4アドレス	宛先ポート番号	宛先電話番号
PC②	10.10.1.2	80	〇〇-〇〇〇〇-2222
PC③	10.10.1.3	80	〇〇-〇〇〇〇-3333

TCPストリーム用着信テーブルの作成例

割当例から本商品①のTCPストリーム用着信テーブルは以下のように作成します。本商品②、③のTCPストリーム用着信テーブルも同様に作成します。

(割当例)

端 末	電話番号	端末アドレス	ポート番号	仮想割当アドレス
PC①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.2	80	10.10.1.1
PC②	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.2	80	10.10.1.2
PC③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.20.2	80	10.10.1.3

{本商品①のTCP
ストリーム用発信テーブル}

着信先端末	電話番号	宛先IPv4アドレス	宛先ポート番号
PC①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.2	80

上記TCPストリーム用着信テーブルの例のように、端末が1台の場合は電話番号を空白設定にすることができます。電話番号によらず、特定端末（IPv4アドレス/ポート番号）に着信します。

その他の割り当て例

同一LANに端末が複数ある場合、または同一端末で複数のアプリケーションを使用する場合は、異なる電話番号に割り当てを行ってください。

例1：同一拠点に複数端末が有る場合

(割当例：本商品②の拠点内に、PC②-1、PC②-2が存在)

端 末	電話番号	端末アドレス	ポート番号	仮想割当アドレス※1
PC①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.2	80	10.10.1.1
PC②-1	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.2	80	10.10.2.1
PC②-2	〇〇-〇〇〇〇-2223	192.168.20.3	80	10.10.2.2
PC③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.20.2	80	10.10.3.3

例2：同一端末に複数アプリケーションが有る場合

(割当例：PC②に、アプリケーション1：ポート1000、アプリケーション2：ポート2000が存在)

端 末	電話番号	端末アドレス	ポート番号	仮想割当アドレス※1
PC①	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.2	80	10.10.1.1
PC②-APL1	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.2	1000	10.10.2.1
PC②-APL2	〇〇-〇〇〇〇-2223	192.168.20.2	2000	10.10.2.1
PC③	〇〇-〇〇〇〇-3333	192.168.20.2	80	10.10.3.3

※1 上記仮想割当アドレス例は、拠点ごとにネットワークアドレスを割り当てた例です。

TCPストリーム通信の設定例

本商品の実際の設定例を示します。前提条件は以下のとおりです。

(前提条件)

網構成：2拠点

サーバ設置拠点：サーバ装置×1台 + 監視用PC×1台

クライアント設置拠点：クライアント装置×1台

遠隔管理：実施する（サーバ拠点設置の監視用PCにより実施）

IPアドレス/電話番号設定：下表による

端 末	電話番号	端末アドレス	ポート番号	仮想割当アドレス
サーバ	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.2	80	10.10.1.1
	〇〇-〇〇〇〇-1112	192.168.20.2	2000	10.10.1.1
クライアント	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.2	800	10.10.1.2
クライアント側 SIPTA※1	〇〇-〇〇〇〇-2222	192.168.20.1 (LAN側IPv4アドレス)	80 (遠隔用固定番号)	10.10.1.3
監視用PC	〇〇-〇〇〇〇-1111	192.168.20.x (DHCPによる)	割り当てなし (発信のみ)	割り当てなし (発信のみ)

※1 遠隔管理する場合は、本商品にも仮想アドレスを割り当てますが、電話番号は他と兼用可能です。

通信帯域：1000kbps

発信許容数SIPセッション：2（発信許容数メディアストリーム：10）

2番号冗長：使用しない

使用グループ番号：宛先電話番号ごとに割り当て

発信者番号認証：「許可リスト」として発信者番号認証を行う

LAN側：DHCPサーバ使用する

（サーバ/クライアント装置はアドレス割当設定、監視用PCはアドレス割当設定しない）

【発信エントリー設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
エントリー番号 (ID)	1	1
発信エントリー	有効	有効
宛先IPv4アドレス	10.10.1.2	10.10.1.1
宛先ポート番号	800	80
送信元IPv4アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
送信元ポート番号	0	0
宛先電話番号	〇〇〇〇〇〇2222	〇〇〇〇〇〇1111
宛先電話番号 (予備)	空白	空白
グループ番号	1	1
メディア情報帯域幅	1000	1000
メディア情報種別※2	(データ通信)	(データ通信)
発信許容数SIPセッション	0	0
発信許容数メディアストリーム	0	0
無通信状態判定時間	デフォルト (600秒)	デフォルト (600秒)
エントリー番号 (ID)	2	2
発信エントリー	有効	有効
宛先IPv4アドレス	10.10.1.3	10.10.1.1

宛先ポート番号	80	2000
送信元IPv4アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
送信元ポート番号	0	0
宛先電話番号	〇〇〇〇〇〇2222	〇〇〇〇〇〇1112
宛先電話番号（予備）	空白	空白
グループ番号	1	2
メディア情報帯域幅	1000	1000
メディア情報種別※2	（遠隔管理）	（データ通信）
発信許容数SIPセッション	0	0
発信許容数メディアストリーム	0	0
無通信状態判定時間	デフォルト（600秒）	デフォルト（600秒）

※2 保守者/設定ツールの時だけ表示/設定可能です。

【着信エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
エントリ番号（ID）	1	1
着信エントリ	有効	有効
電話番号	〇〇〇〇〇〇1111	〇〇〇〇〇〇2222
着信先IPv4アドレス	192.168.20.2	192.168.20.2
着信先ポート番号	80	800
着信許容数SIPセッション	0	0
着信許容数メディアストリーム	0	0
エントリ番号（ID）	2	2 ※3
着信エントリ	有効	無効
電話番号	〇〇〇〇〇〇1112	-
着信先IPv4アドレス	192.168.20.2	-
着信先ポート番号	2000	-
着信許容数SIPセッション	0	-
着信許容数メディアストリーム	0	-

※3 遠隔管理用の着信エントリを作成する必要はありません。

【発信者番号認証エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
エントリ番号（ID）	1	1
発信者番号認証エントリ	有効	有効
発信者番号※4	電話番号指定 〇〇〇〇〇〇2222	電話番号指定 〇〇〇〇〇〇1111
宛先電話番号	空白	空白

※4 ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。また、発信側で電話番号を通知する必要があります。

【LAN側IPv4アドレス】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
IPv4アドレス	192.168.20.1	192.168.20.1
ネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
【DHCPv4サーバ情報】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
DHCPサーバ機能	有効	有効
割当先頭IPv4アドレス	192.168.20.2	192.168.20.2
割当可能数	64	64
デフォルトゲートウェイ	192.168.20.1	192.168.20.1
プライマリDNSサーバ	192.168.20.1	192.168.20.1
セカンダリDNSサーバ	空白	空白
リース時間	24時間	24時間

【DHCPv4アドレス割当 エントリ設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
エントリ番号 (ID)	1	1
アドレス割当エントリ	有効	有効
IPv4アドレス	192.168.20.2	192.168.20.2
MACアドレス※5	xx:xx:xx:xx:xx:xx	xx:xx:xx:xx:xx:xx

※5 接続する装置のMACアドレスになります。

【SIPアダプテーション設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
最大SIPセッション数	2	2
最大メディアストリーム数	10	10
最大グループ化数	5	5
グループ化帯域閾値	1000	1000
無通信時判定時間 (TCP)	600秒	600秒
無通信時判定時間 (UDP・ICMP)	20秒	20秒
TCP切断後SIPセッション保持時間	なし	なし
ゲートウェイID	自動	自動

【SIPアダプテーション詳細設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
連続発信許可数	15回	15回
連続発信抑制タイマ	180秒	180秒

本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

【発信者番号認証モード設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
認証モード	許可リスト	許可リスト

【WAN ポート】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
WAN	自動	自動
【LAN ポート】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
LAN1	自動	自動
LAN2	自動	自動
LAN3	自動	自動
LAN4	自動	自動

【遠隔管理受付設定】	サーバ設置拠点	クライアント設置拠点
遠隔管理受付	無効	有効

本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

高度な使い方—発信/着信許容数SIPセッションの設定による優先制御

トンネル用/TCPストリーム用発信テーブル設定とTCPストリーム用着信テーブル設定において複数エントリーを設定する場合に、「発信/着信許容数SIPセッション」、「発信/着信許容数メディアストリーム（TCPストリーム用のみ）」を異なる値に設定することで、該当エントリーを用いるデータ通信ごとに優先順位を設定することができます。「発信/着信許容数SIPセッション」、「発信/着信許容数メディアストリーム」の設定値の大きい方が優先度の高いエントリーとして動作します。TCPストリーム用発信テーブルの設定例を示します。トンネル用発信テーブル、TCPストリーム用着信テーブルについても、同様に優先制御を行うことが可能です。

(TCPストリーム用発信テーブルの設定例)

SIPアダプテーション設定における最大SIPセッション数=2、最大メディアストリーム数=10の場合

エントリー	宛先IPv4アドレス	宛先ポート番号	宛先電話番号	発信許容数SIPセッション	発信許容数メディアストリーム
1	10.10.1.2	80	〇〇-〇〇〇〇-2222	1	5
2	10.10.1.3	80	〇〇-〇〇〇〇-3333	2	10

上記設定例では、エントリー2に該当するデータ通信はSIPアダプテーション設定の設定値までデータ通信用のコネクションを利用できますが、エントリー1に該当するデータ通信は、SIPアダプテーション設定の設定値まで利用することができません。

〈ご参考〉

- 各エントリーの「発信/着信許容数SIPセッション」、「発信/着信許容数メディアストリーム」は、SIPアダプテーション設定での「最大SIPセッション数」、「最大メディアストリーム数」よりも大きな値を設定できますが、SIPアダプテーション設定での値が上限値になります。
- 本優先制御は、本商品全体のSIPセッション数とメディアストリーム数に基づいて新規の接続を制御するため、優先度の低いエントリーは、セッションに空きがあってもご利用になれない場合があります。またトンネル通信におけるトンネル内のフロー数については、本制限を受けません。

他のサービスとあわせてご利用いただく場合の留意事項を説明します。留意事項をご理解の上、利用してください。

ボイスワープ

データコネクト着信をした場合、指定先に転送します。
本サービスをご利用になるには事前にボイスワープのご契約が必要となります。

ナンバー・ディスプレイ

本商品の発信者番号認証機能を使用して、発信者の電話番号による接続許可／拒否を行う場合には、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要となります。

ナンバー・リクエスト

番号非通知のデータコネクト着信した場合、着信を拒否します。
本サービスをご利用になるには事前にナンバー・リクエストのご契約が必要となります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。
発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

●発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

●ひかり電話ご契約時の内容

ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただけます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+相手先電話番号	186+相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する ×：通知しない

「通常非通知（回線ごと非通知）」のご契約をされているお客さまは、発信者情報（番号）を通知する場合、「186」をつけて発信してください。

迷惑電話おことわり

データコネクト着信をした直後に電話機等から操作することで、その後の同番号からのデータコネクト着信を拒否します。但し、データコネクトの場合、着信拒否ガイダンスは聞くことができません。

本サービスをご利用になるには事前に迷惑電話おことわりのご契約が必要となります。

キャッチホン

本商品は、キャッチホン機能はご利用いただけません。

着信お知らせメール

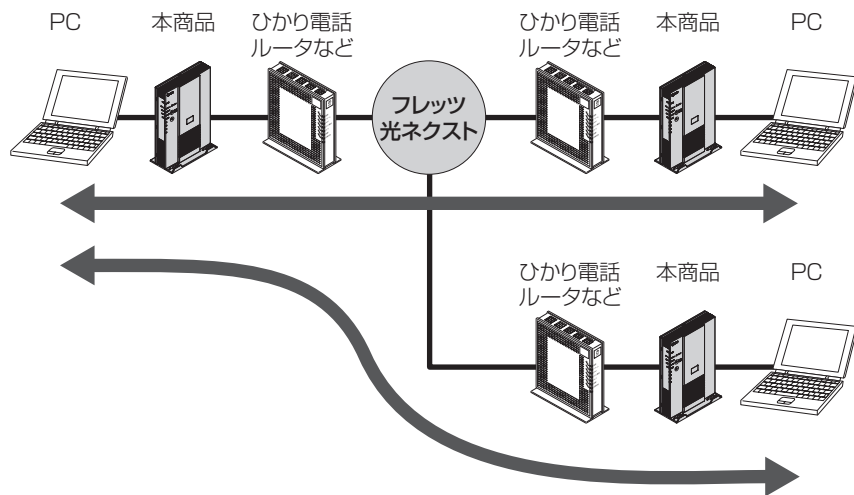
本商品は、データコネクト着信があったことを、メールアドレスへの通知で確認できます。

本サービスをご利用になるには事前に着信お知らせメールのご契約が必要となります。

ダブルチャネル／複数チャネルを利用する

本商品を用いたデータ通信を実施中に、チャネルを追加して、データ通信を行うことができます。

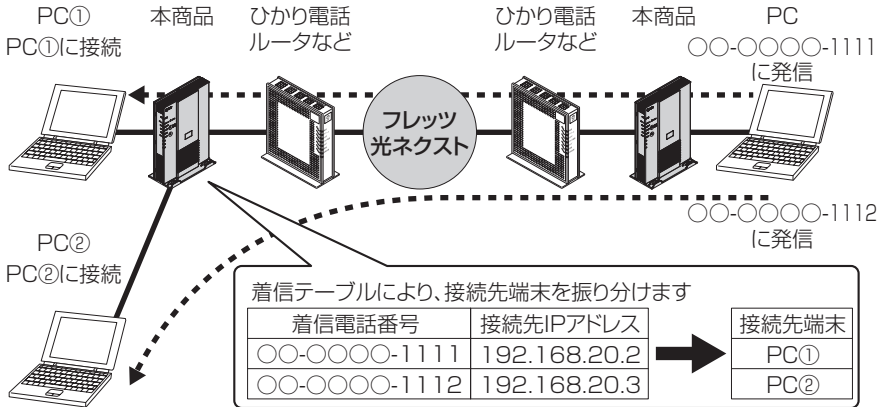
本サービスをご利用になるには事前にダブルチャネル／複数チャネルのご契約が必要となります。



マイナンバー／追加番号を利用する

本商品に接続した端末機器を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。

本サービスをご利用になるには事前にマイナンバー／追加番号のご契約が必要となります。



FAXお知らせメール

本商品は、FAX お知らせメール機能をご利用いただけません。

フリーアクセス・ひかりワイド

本商品は、フリーアクセス・ひかりワイド機能をご利用いただけません。

特定番号通知機能

特定番号通知機能契約者がデータコネクト発信をした場合、通信相手に対して、ご契約のフリーアクセス・ひかりワイド番号（「0800」「0120」で始まる番号）を通知します。本サービスをご利用になるには事前に特定番号通知機能のご契約が必要となります。

最大チャネル数

本商品を用いたひかり電話サービスでは、最大チャネル数（同時に使用できるデータ通信チャネル数）をご契約時に決定いたします。本商品の SIP アダプテーション設定メニューの [最大SIPセッション数] に設定してください。

※本書および本商品の Web 設定での「SIP セッション」は、ひかり電話サービスでの「チャネル」に相当します。

なお、本商品には、2つのモデルがあり、それぞれ最大SIPセッション数には上限があります。

商品名	最大SIPセッション数
SIP-TA-200	2 セッション
SIP-TA-3200	32 セッション

同一拠点で、32を超える同時セッション数が必要な場合には、本商品を増設してください。

グループ化機能について

TCPストリーム通信では、同一SIP-TA間の1つのSIPセッション内に、複数のメディアストリームをまとめることができます。本商品では、グループ化によりセッションの数を減らすことができます。発信側の端末が異なる場合でも、宛先電話番号が同じであれば、グループ化が可能です。

なお、グループ化できるメディアストリーム数は、「最大グループ化数」および「グループ化帯域閾値」により制限されます。

グループ化を行うために、確立済みのSIPセッションに、メディアストリームの追加を行います。

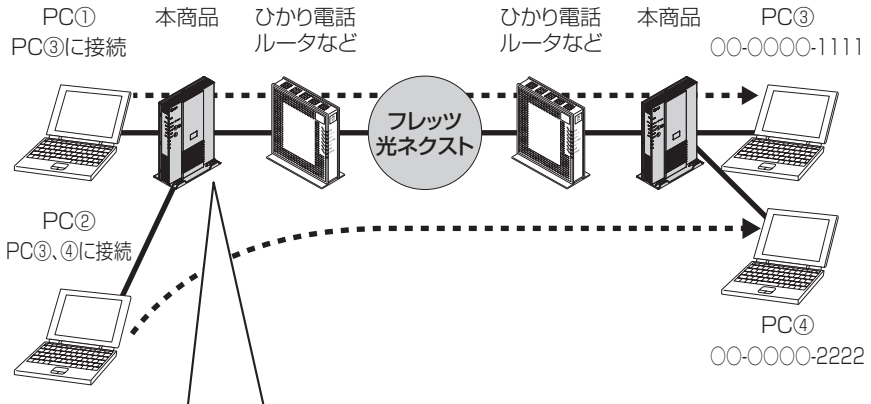
〈ご注意〉

- グループ化機能を利用し、1つのSIPセッション内で複数のメディアストリームをまとめる場合には、SIPセッション（チャネル）内の全メディアストリームの合計帯域に応じて課金されます。帯域が変わると、単位課金時間や単位課金時間あたりの通信料が変更になる場合がありますので、設定の際には十分にご注意ください。また、設定した最大グループ化数を超過してメディアストリームが起動され、新たなSIPセッション（チャネル）を確立した場合は、2つ目のセッション（チャネル）となるため、新たなSIPセッション（チャネル）における全メディアストリームの合計帯域に応じた課金が追加されます。

最大グループ化数について

グループ化時のメディアストリームは、5つまでグループ化することが可能です。従って、6つ目のメディアストリームが起動された際には、新たなSIPセッションを確立します。

例を以下に示します。



TCPストリーム用発信テーブルにより、グループ化対象を判断し、グループ化します

エントリー番号	送信元IPv4アドレス	送信元ポート番号	宛先IPv4アドレス	宛先ポート番号	宛先電話番号	グループ
1	192.168.20.2 (PC①)	0	10.10.1.2 (PC③)	80	00-0000-1111	1
2	192.168.20.3 (PC②)	0	10.10.1.2 (PC③)	80	00-0000-1111	1
3	192.168.20.3 (PC②)	0	10.10.1.3 (PC④)	80	00-0000-2222	2

エントリー番号1および2に該当するメディアストリームは、グループ1にグループ化され、最大グループ化数に達するまでグループ化されます。同様に、エントリー番号3に該当するメディアストリームは、グループ2にグループ化されます。

なお、最大グループ化数の考え方は、通算のメディアストリーム数となりますので、TCPコネクションの接続/切断を繰り返した場合でも、通算のメディアストリーム数が増加することに注意してください。

複数のデータ通信の収容について

本商品のトンネル通信とTCPストリーム通信ではともに同一SIP-TA間の1つのSIPセッション内に、複数のデータ通信(トンネル通信：フロー、TCPストリーム通信：メディアストリーム)をまとめることができ、セッションの数を減らすことができます。なお、トンネル通信とTCPストリーム通信を1つのSIPセッションに同時に収容することはできません。

また、トンネル通信とTCPストリーム通信では、次のような差異がありますので、概要をご理解の上、設定を行い、ご利用ください。

項目	トンネル通信	TCPストリーム通信
①SIPセッションに収容可能なデータ通信数	5000※1	最大5
②1SIPセッション内への複数端末収容	○	×
③帯域確保の単位	トンネル	TCPコネクション
④着信側からのデータ通信追加	○(LAN間) ×(リモートアクセス型)	×
⑤発信信拠点のLAN間ネットワークアドレス重複	× ※2	○
⑥同一SIP-TA間の複数SIPセッション確立	×	○
⑦適用プロトコル	TCP、UDP、ICMP (IPv4/IPv6)	TCP(IPv4)

※1 全てのトンネル通信内のフロー、Web設定などの管理用通信を含む本商品で同時に処理可能なフロー数であり、その合計数の上限は5000です。

※2 リモートアクセス型接続では、発信拠点どうしの重複は可能です。

トンネル通信では、発信側、および着信側の端末が異なる場合でも、トンネル用発信テーブルのエントリの設定範囲内であれば、フローをまとめることが可能です。ただし、フローごとの帯域確保ではなく、トンネルごとの帯域確保となります。

また、LAN 間接続トンネル通信では、着信端末側からの確立済みトンネルへのフロー追加が可能です。リモートアクセス型接続トンネル通信では、着信端末側からのフロー追加はできません。

一方、TCP ストリーム通信で複数のメディアストリームをまとめる場合は、グループ化機能を利用します。

2番号冗長機能について

トンネル用発信テーブル、または TCP ストリーム用発信テーブルの 1 つのエントリに対し 2 つの宛先電話番号を指定することができます。宛先電話番号に接続できない場合に、宛先電話番号(予備)に接続を行います。宛先電話番号(予備)に接続できない場合は、接続処理を終了します。

接続先電話番号

本商品は、ひかり電話により拠点間を接続しますので、接続先拠点の電話番号を正しく設定してください。

なお、本商品には、以下の電話番号は設定できません。

電話番号			サービス名など
110	184110	186110	警察 (緊急通報)
118	184118	186118	海上保安 (緊急通報)
119	184119	186119	消防 (緊急通報)

本商品のファームウェアバージョンによる接続性について

本商品の2010年9月以前リリースの旧バージョンファームウェア (バージョン : SIP-TA_01xx) と現バージョンのファームウェア (バージョン : SIP-TA_02xx) とは接続の互換性がありません。このため旧バージョンと現バージョンが混在する環境においては、旧バージョンファームウェアを搭載した本商品のバージョンアップ後にご利用ください。

4-6 遠隔管理の確認

遠隔管理接続の確認

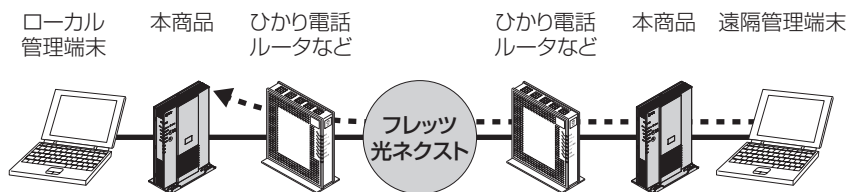
遠隔管理を行う場合は、遠隔管理端末を設置している拠点側の本商品のTCPストリーム用発信テーブルに、遠隔管理用の発信エントリ設定を行います。遠隔管理用の発信エントリではメディア情報種別設定を「遠隔管理」に設定する必要があります。保守者/設定ツールは、「遠隔管理」を選択することができます。なお、遠隔拠点側の着信テーブルの設定は必要ありませんが、発信者番号認証設定が「着信許可」、および遠隔管理受付設定が「有効」に設定されている必要があります。

遠隔でのWeb-GUI接続時に用いるログインユーザー名は、ローカル端末による接続時と同じです。

遠隔管理端末にてWebブラウザを起動し、TCPストリーム用発信テーブルで設定した宛先IPv4アドレスに接続します。Webブラウザでログイン、管理できることを確認してください。

〈ご注意〉

- 遠隔管理を行うには、「http1.1」を用いてください。なお、「http1.0」でもグループ化を行えば、遠隔管理が可能です。（「http1.0」／「http1.1」は、ブラウザの設定で選択を行います。）
- 遠隔管理では、TCPコネクションのご利用状況によりWebブラウザの表示が遅くなったり、表示できない場合があります。その場合、Webブラウザを一旦閉じて、ログインからやり直してください。



基本設定－発着信設定－TCPストリーム用－発信テーブル設定

遠隔管理端末側の本商品のTCPストリーム用発信テーブルに、遠隔管理用の発信エントリ設定を行います。

【TCPストリーム用発信エントリ設定】

エントリ番号(ID)		1	
発信エントリ		<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
検索条件	宛先	① IPv4アドレス	192.168.30.2
		② ポート番号	1234
	送信元	③ IPv4アドレス	0.0.0.0
		④ ポート番号	0
発信条件	宛先	⑤ 電話番号	0312345678
		⑥ 電話番号(予備)	0612345678
	⑦ グループ番号	0	
	メディア情報	⑧ 帯域幅	600 kbps
		⑨ 種別	<input checked="" type="radio"/> データ通信 <input type="radio"/> 遠隔管理
	発信許容数	⑩ SIPセッション	2
		⑪ メディアストリーム	10
	⑫ 無通信状態判定時間	<input checked="" type="radio"/> デフォルト(600秒) <input type="radio"/> 入力値 <input type="text"/> 秒	

【実行結果】

完了しました。

- ①宛先IPv4アドレス
本商品に割り当てた仮想IPv4アドレスを設定してください。
- ②宛先ポート番号
「80」を設定してください。
- ③送信元IPv4アドレス
遠隔管理端末を特定したい場合に設定してください。特定しない場合は空白にしてください。([設定]クリック時に「0.0.0.0」になります。)
- ④送信元ポート番号
通常設定しません。空白にしてください。([設定]クリック時に「0」になります。)
- ⑤宛先電話番号
本商品に接続できる電話番号を指定します。
- ⑥宛先電話番号(予備)
遠隔管理では使用しませんので、空白にしてください。
- ⑦グループ番号
グループ化を行います。「1～65535」を設定してください。
- ⑧メディア情報(帯域幅)
遠隔管理で使用する帯域幅を指定します。通常は、200(kbps)を設定してください。

〈ご参考〉

- ファームウェアのサイズは6Mバイト程度ですので、メディア情報（帯域幅）を200kbpsに設定時、約6分程度の転送時間になります。

⑨メディア情報（種別）

遠隔管理で使用するエントリは、「遠隔管理」を選択します。

⑩発信許容数SIPセッション

「0」を設定してください。

⑪発信許容数メディアストリーム

「0」を設定してください。

⑫無通信状態判定時間

デフォルト（600秒）のまま変更する必要はありません。

5

Web 設定

Web ブラウザを用いて本商品に接続し、いろいろな設定を行います。

- 5-1 画面の見かた…………… 5-2
- 5-2 基本的な操作…………… 5-5
- 5-3 各画面の説明…………… 5-8

5-1 画面の見かた

本商品に接続してWebブラウザを表示すると、本商品のWeb設定の画面が表示されま
す。

Web設定の画面の見かたを説明します。

パソコンのネットワークの設定については、3-2章を参照してください。

- 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやOSバージョンによって異なり
ます。
また、Webブラウザでご利用になる文字のサイズは、「中」を推奨します。推奨文字サイズ
以外では、本書で説明に使用している画面表示と異なることがあります。
- お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、
Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。この場合は、Webブ
라우저のインターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除してから、画面を更新してく
ださい。（詳しくは、各Webブラウザのヘルプをご参照ください。）
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる
場合があります。
- Webブラウザの（戻る）、（進む）および（更新）のボタンを使用しないでください。本商
品への操作が正しく行われない場合があります。
- ログイン時以外は、WebブラウザのURLに直接アドレスを入力しないでください。本商品
への操作が正しく行われない場合があります。
- Webブラウザや設定ツールを、同時に複数用いて本商品の操作を行わないでください。本
商品への操作が正しく行われない場合があります。
- ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報漏洩などの危険を回避するため、
GUI操作のためのブラウザを立ち上げているPCでは、インターネットアクセスを行わない
ようにしてください。また、逆にインターネットアクセスのためのブラウザを立ち上げて
いるPCでは、GUI操作を行わないようにしてください。

Web設定の画面では、以下のように左側にメインメニュー、右側に選択したメニューの内容を表示します。

設定内容
選択したメニューの主な設定内容が表示されます。

画面タイトル
選択した「項目」>「メニュー」が表示されます。

削除ボタン
[削除]をクリックすると、選択したエントリが削除されます。

実行
保存されている設定値があります。設定値の保存を行ってください。

実行結果
完了しました。

選択	エントリ番号 (ID)	発信エントリ	プロトコル	検索対象	宛先IPアドレス / マスク長
<input type="checkbox"/>	1	有効	TCP UDP ICMP	有効	2001:db8:0000:0000:1111:1111:1111 / 64
<input type="checkbox"/>	2				
<input type="checkbox"/>	3				
<input type="checkbox"/>	4				
<input type="checkbox"/>	5				
<input type="checkbox"/>	6				
<input type="checkbox"/>	7				
<input type="checkbox"/>	8				
<input type="checkbox"/>	9				
<input type="checkbox"/>	10				
<input type="checkbox"/>	11				
<input type="checkbox"/>	12				
<input type="checkbox"/>	13				
<input type="checkbox"/>	14				
<input type="checkbox"/>	15				
<input type="checkbox"/>	16				
<input type="checkbox"/>	17				
<input type="checkbox"/>	18				
<input type="checkbox"/>	19				
<input type="checkbox"/>	20				

メインメニュー
設定できるすべてのメニューが表示されます。
メニューは、分類と項目に分かれて表示されています。

- 基本設定 — 分類
- 発信信設定 — 項目
- トンネル用
 - 発信テーブル設定 — メニュー
 - 着信テーブル設定
 - アドレス割当て設定
 - アドレス割当て設定

エントリ選択
エントリ番号(ID)をクリックすると、クリックしたエントリの設定画面が表示されます。

エントリ一覧
エントリの一覧が表示されています。

値の選択や入力をする画面です。この画面は、以下のメニューでエントリ番号（ID）をクリックして選択した場合に表示されます。

- ・トンネル用発信テーブル設定
- ・トンネル用アドレス割当設定
- ・TCPストリーム用発信テーブル設定
- ・TCPストリーム用着信テーブル設定
- ・発信者番号認証テーブル設定
- ・LAN接続・DHCPv4サーバ設定用アドレス割当設定
- ・静的ルート設定(IPv4)
- ・静的ルート設定(IPv6)

【TCPストリーム用発信エントリ設定】

エントリ番号(ID)		[1]
発信エントリ		<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
検索条件	宛先	IPv4アドレス 192.168.30.2
	ポート番号	1234
	送信元	IPv4アドレス 0.0.0.0
	ポート番号	0
発信条件	宛先	電話番号 03-2345678
	グループ番号	電話番号(子値) 04-2345678
	グループ番号	0
	メディア情報	帯域幅 500 kbps
	種別	<input type="checkbox"/> データ通信 <input type="checkbox"/> 遠隔管理
	発信許容数	SIPセッション 10
無通信状態判定時間	メディアストリーム	10
		<input type="checkbox"/> デフォルト(900秒) <input type="checkbox"/> 入力値 秒

設定エリア
エントリの設定値
などを入力しま
す。

【実行結果】

完了しました。

設定ボタン

値を入力したあとに
[設定]をクリックする
と、本商品に設定した
値が反映されます。

リセットボタン

[リセット]をクリッ
クすると、画面が
編集前の状態に
戻ります。

閉じるボタン

クリックすると、設
定画面が閉じま
す。

〈ご参考〉

- [設定]または[リセット]をクリックしたあとは、[閉じる]を押して画面を閉じてください。

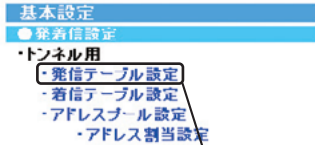
〈ご注意〉

- 画面を表示中に別の[エントリ番号（ID）]をクリックした場合は、画面の内容が変わります。前に入力していた内容は破棄されますのでご注意ください。
- [設定]をクリックしたあとに[リセット]をクリックしても編集前の状態には戻りません。
- 表示されている画面の設定を変更したあとで他の画面を表示する場合には、事前に該当画面の[設定]をクリックしてください。[設定]をクリックする前に他の画面を表示すると、変更した設定が反映されません。

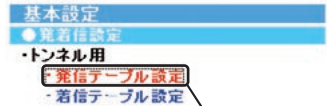
5-2 基本的な操作

基本的な操作を説明します。

- メニューを選択する：Web設定の画面の左側にあるメインメニューのメニューをクリックします。



ここをクリックする



選択するとメニューが赤色で表示されます

- 設定内容を編集する：編集したいエントリ番号（ID）をクリックして選択します。

発信信設定 > トンネル用 > 発信テーブル設定

トンネル用発信テーブルの設定を行います。

【トンネル用発信テーブル】

選択	エントリ番号 (ID)	発信エントリ	プロトコル	検索対象	宛先IPアドレス / マスク長
<input type="checkbox"/>	1	有効	TCP UDP ICMP	有効	2001:db8:0000:0000:1111:1111:1111 / 64
<input type="checkbox"/>	2				

ここをクリックする

トンネル用発信エントリ設定

エントリ番号(ID)	1	
発信エントリ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
プロトコル	<input checked="" type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP <input type="radio"/> ICMP	
検索対象	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
宛先	IPアドレス/マスク長	2001:db8:0000:0000:1111:1111:1111:1111 / 64
	TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 [70] ~ [72]
	UDPポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> 指定 [1024] ~ [2000]
	検索対象	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
送信元	IPアドレス/マスク長	2001:db8:0000:1111:1111:1111:1111:0000 / 64
	TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 [70] ~ [72]
	UDPポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> 指定 [1024] ~ [2000]
	検索対象	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
検索条件	IPアドレス/マスク長	/ /
	宛先	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 ~ ~
	UDPポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 ~ ~
	送信元	<input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> 指定 ~ ~
検索対象	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
電話番号(〒)	2345678	
メディア情報	帯域幅 600 kbps	
発信許容数	SIPセッション 2	
発信条件	無通信状態判定時間(TCP)	<input checked="" type="radio"/> デフォルト(600秒) <input type="radio"/> 入力値 [] 秒
	無通信状態判定時間(UDP-ICMP)	<input checked="" type="radio"/> デフォルト(20秒) <input type="radio"/> 入力値 [] 秒
事前共有鍵	jscharedkey	
接続形態	<input type="radio"/> LAN間接続 <input checked="" type="radio"/> リモートアクセス型接続	
ユーザID	jsuser@host	
パスワード	*****	

選択したエントリの内容が別の画面で表示されます。

【実行結果】
完了しました。

- 設定を削除する：削除したいエントリの選択をチェックして[削除]をクリックします。

宛先設定 > トンネル用 > 発信テーブル設定

→トンネル用発信テーブルの設定を行います。

【トンネル用発信テーブル】

選択	エントリ番号 OID	発信 エントリ	プロトコル	検索対象	宛先IPアドレス /マスク長
<input type="checkbox"/>	1	有効	TOP UDP ICMP	有効	2001:db0:0000:0000:1111:1111:1111:1111 / 64
<input type="checkbox"/>	2				

ここをチェックする

→トンネル用発信テーブルの設定を行います。

【トンネル用発信テーブル】

選択	エントリ番号 OID	発信 エントリ	プロトコル	検索対象	宛先IPアドレス /マスク長
<input type="checkbox"/>					

ここをクリックする

- 入力した内容を設定する：値を入力し[設定]をクリックします。

検索対象	検索対象	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
	宛先	IPアドレス/マスク長 <input type="text"/> / <input type="text"/>
	UDPポート番号	<input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 指定 <input type="text"/> ~ <input type="text"/>
	UDPポート番号	<input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 指定 <input type="text"/> ~ <input type="text"/>
発信条件	送信元	IPアドレス/マスク長 <input type="text"/> / <input type="text"/>
	UDPポート番号	<input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 指定 <input type="text"/> ~ <input type="text"/>
	UDPポート番号	<input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 指定 <input type="text"/> ~ <input type="text"/>
	宛先	電話番号 <input type="text"/>
		電話番号(子機) <input type="text"/>
	メディア種別	地域編 <input type="text"/>
	発信許可数	SIPセッション <input type="text"/>
	無通信状態解除時間(TCP)	<input type="checkbox"/> デフォルト(600秒) <input type="checkbox"/> 入力種 <input type="text"/> 秒
	無通信状態解除時間(UDP/DLLP)	<input type="checkbox"/> デフォルト(20秒) <input type="checkbox"/> 入力種 <input type="text"/> 秒
	事前共有鍵	<input type="text"/>
接続形態	<input type="checkbox"/> LAN接続 <input type="checkbox"/> リモートアクセス接続	
ユーザID	<input type="text"/>	
パスワード	<input type="password"/>	
		<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="キャンセル"/>
【実行結果】 実行しました。		

ここをクリックする

STOP

お願い

- 設定保存を実行すると設定内容を本商品に書き込みます。書き込み中（Web画面表示が切り替わるまで）は、本商品の電源を切らないようにしてください。書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなる場合があります。

- 表示している内容を最新に更新する：[最新に更新]をクリックします。

→SIP登録状態の表示を行います。

【SIP登録状態】	
REGISTER状態	登録済
外線電話番号	0968795432
内線電話番号	2
SIPサーバ（IPv4アドレス）	192.168.1.1
SIPサーバ（IPv6アドレス）	2001:db8::1111:1110
SIPドメイン	ntt-rgn.jp

【実行結果】
実行しました。

ここをクリックする

- 操作の結果を確認する：【実行結果】に表示されます。

【実行結果】
実行しました。再登録後も動作とするには設定保存してください。

ここに表示される

5-3 各画面の説明

基本設定－発着信設定－トンネル用－発信テーブル設定

トンネル用発信テーブル設定を行います。

トンネル用発信テーブルは、トンネル用SIPセッション確立に必要な宛先電話番号を検索するために使用します。データ通信の概要で説明したように、本商品は、ローカル端末から他拠点端末への接続要求パケットを検出し、接続先IPアドレスなどを検索条件として宛先電話番号、メディア情報帯域幅などを取得し、SIPセッションとトンネルを確立します。また、発信テーブルに対応するエントリが存在しない場合には、SIPセッションの確立は行わず、ローカル端末からのパケットは、ひかり電話ルータなどに転送され、ルーティングされます。

設定を行う[エントリ番号 (ID)]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

【トンネル用発信テーブル】

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【トンネル用発信エントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【トンネル用発信エントリ設定】

① エントリ番号(ID)		1	
② 発信エントリ		<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
③ プロトコル		<input checked="" type="checkbox"/> TCP <input checked="" type="checkbox"/> UDP <input checked="" type="checkbox"/> ICMP	
④ 検索対象		<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
1	⑤ IPアドレス/マスク長	2001-000-0000-0000-1111-1111-1111-1111 / 64	
	宛先 ⑥ TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 00 ~ 02	
	⑦ UDPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 1024 ~ 2000	
	⑧ IPアドレス/マスク長	2001-000-0000-1111-1111-1111-1111-0000 / 64	
	送信元 ⑨ TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 00 ~ 02	
	⑩ UDPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 1024 ~ 2000	
	検索対象		<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	宛先	IPアドレス/マスク長	/
	TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	UDPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
2	送信元		
	IPアドレス/マスク長	/	
	TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	UDPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	検索対象		<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	宛先	IPアドレス/マスク長	/
	TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	UDPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	送信元		
	IPアドレス/マスク長	/	
3	TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	UDPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	送信元		
	IPアドレス/マスク長	/	
	TCPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	UDPポート番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定	~
	宛先		
	⑪ 電話番号	0312345678	
	⑫ 電話番号(予備)	0612345678	
	⑬ メディア情報	帯域幅 600 kbps	
⑭ 発信許容数	SIPセッション 2		
⑮ 無通信状態判定時間(TCP)	<input checked="" type="radio"/> デフォルト(600秒) <input type="radio"/> 入力値 秒		
⑯ 無通信状態判定時間(UDP*ICMP)	<input checked="" type="radio"/> デフォルト(20秒) <input type="radio"/> 入力値 秒		
⑰ 事前共有鍵	fresharedkey		
⑱ 接続形態	<input checked="" type="radio"/> LAN間接続 <input type="radio"/> リモートアクセス型接続		
⑲ ユーザID	user@test		
⑳ パスワード	*****		

設定 リセット 閉じる

【実行結果】

完了しました。

〈ご参考〉

- 通信中のセッションに対応するトンネル用発信テーブルエントリを設定または削除した場合、通信中のセッションは切断されます。

① エントリ番号(ID)

トンネル用発信テーブルのエントリ番号です。

SIP-TA-200は最大20個、SIP-TA-3200は最大300個のエントリを設定することができます。

② 発信エントリ (初期値: 有効)

指定エントリの有効/無効設定です。

③ プロトコル (初期値: TCP選択、UDP選択、ICMP選択)

接続先とトンネルで通信する対象プロトコルを選択します。

④ 条件1: 検索対象 (初期値: 有効)

条件1の有効/無効設定です。

⑤ 条件1: 宛先IPアドレス/マスク長

接続先LANに割り当てられたIPアドレス範囲を設定します。IPv4アドレスまたはIPv6アドレスを設定できます。なお、IPv4アドレスを設定する場合、IPv4アドレス形式で半角数字および「.」が使用できます。IPv6アドレスを設定する場合、IPv6アドレス形式で半角の0~9、a~f、A~F、:(コロン)が使用できます。

マスク長はIPv4アドレス形式の場合、1~32、IPv6アドレス形式の場合、1~128の範囲で設定します。

⑥ 条件1: 宛先TCPポート番号 (初期値: 任意)

接続先TCPポート番号を設定します。プロトコルでTCP選択時のみ設定できます。

任意、または指定を選択します。宛先TCPポートを限定しない場合、任意を選択します。指定を選択した場合、1~65535を入力できます。

⑦ 条件1: 宛先UDPポート番号 (初期値: 任意)

接続先UDPポート番号を設定します。プロトコルでUDP選択時のみ設定できます。

任意、または指定を選択します。宛先UDPポートを限定しない場合、任意を選択します。指定を選択した場合、1~65535を入力できます。

⑧ 条件1: 送信元IPアドレス/マスク長

LANに接続される端末のIPアドレス範囲を設定します。IPv4アドレスまたはIPv6アドレスを設定できます。なお、IPv4アドレスを設定する場合、IPv4アドレス形式で半角数字および「.」が使用できます。IPv6アドレスを設定する場合、IPv6アドレス形式で半角の0~9、a~f、A~F、:(コロン)が使用できます。

マスク長はIPv4アドレス形式の場合、1~32、IPv6アドレス形式の場合、1~128の範囲で設定します。

⑨条件1：送信元TCPポート番号（初期値：任意）

送信元TCPポート番号を設定します。プロトコルでTCP選択時のみ設定できます。任意、または指定を選択します。送信元TCPポートを限定しない場合、任意を選択します。指定を選択した場合、1～65535を入力できます。

⑩条件1：送信元UDPポート番号（初期値：任意）

送信元UDPポート番号を設定します。プロトコルでUDP選択時のみ設定できます。任意、または指定を選択します。送信元UDPポートを限定しない場合、任意を選択します。指定を選択した場合、1～65535を入力できます。

〈ご参考〉

- アドレス範囲の分割、複数ネットワークアドレスの使用等、本商品は3つのIPアドレス範囲を設定することができます。必要に応じて、条件2、条件3を設定してください。なお、IPバージョンは各条件で同じバージョン（IPv4またはIPv6）を設定する必要があります。ただし、各条件の「宛先IPアドレス／マスク長」は、着信側の「受付IPアドレス・IPアドレス／マスク長」で指定されるアドレス範囲に対して、一部分でも含まれるように設定してください。

⑪宛先電話番号

接続先端末に接続するための電話番号を設定します。
1文字以上32文字以内の半角数字および「#」が使用できます。

⑫宛先電話番号(予備)

予備として使用する宛先電話番号を設定します。
1文字以上32文字以内の半角数字および「#」が使用できます。

⑬メディア情報帯域幅

本商品により提供するデータ通信サービスは帯域確保サービスですので、必要帯域を1kbps単位で設定してください。本サービスで提供する上限値は「1000」kbpsです。1～1000を入力できます。

⑭発信許容数SIPセッション（初期値：0）

本エントリに該当する通信が発生した際に、新たにSIPセッションを利用してよいかどうかを決定するための閾値です。SIPセッション確立時に、既に利用しているSIPセッション数がここで指定された値未満の場合にのみ、新たにSIPセッションを確立します。また「0」が指定された場合には、SIPアダプテーション設定メニューにおける[最大SIPセッション数]と同じ値が設定された場合と同じ動作となります。SIP-TA-200は0～2、SIP-TA-3200は0～32を選択できます。

⑮無通信状態判定時間(TCP)（初期値：デフォルト(600秒)）

各TCPフローについて、データ通信状態を監視しています。無通信状態と判定する時間を設定します。無通信時間が本設定時間を超えた場合、該当フローを切断します。デフォルト／入力値を選択できます。「デフォルト」を選択した場合は、SIPアダプテーション設定メニューにおける[無通信時判定時間(TCP)]の値となります。入力値を選択した場合は、設定値で無通信時間を判定します。入力値を選択した場合、10～3600を入力できます。

⑩無通信状態判定時間(UDP・ICMP) (初期値：デフォルト(20秒))

各フロー (UDP・ICMP) について、データ通信状態を監視しています。無通信状態と判定する時間を設定します。無通信時間が本設定時間を超えた場合、該当フローを切断します。デフォルト／入力値を選択できます。

「デフォルト」を選択した場合は、SIPアダプテーション設定メニューにおける[無通信時判定時間(UDP・ICMP)]の値となります。入力値を選択した場合は、設定値で無通信時間を判定します。入力値を選択した場合、10～3600を入力できます。

〈ご参考〉

●無通信の原因としては、

- ①お客様通信装置の仕様により、無通信時判定時間以上データが流れないまたは通信終了時のTCPコネクション切断が起動されない。
- ②LAN機器、ケーブルの故障により、通信できなくなる。
- ③本商品のLANインタフェースの故障により、通信できなくなる。などがあります。

〈ご注意〉

●ひかり電話サービスは、接続時間による従量課金となっていますので、本無通信時間を適切に設定し、速やかに無通信を検出・切断できるようにしてください。なお、トンネル内フローがすべて切断された後、SIPセッションが切断されるまでに数秒の処理時間がかかります。

⑪事前共有鍵

トンネル通信の発信時に使用する通信相手との認証用文字列です。

1文字以上128文字以内の半角英数字と記号が使用できます。

⑫接続形態 (初期値：LAN間接続)

トンネル確立時の接続形態を選択します。LAN間接続／リモートアクセス型接続を選択できます。

⑬ユーザーID

接続形態でリモートアクセス型接続を選択時のみ設定できます。着信先SIP-TAからIPアドレスを取得するためのユーザーIDです。emailアドレス形式でIDを入力してください。

1文字以上64文字以内の半角英数字と「-」、「_」、「.」、「@」が使用できます。

例：sip-ta_01@example.org

⑭パスワード

接続形態でリモートアクセス型接続を選択時のみ設定できます。着信先SIP-TAからIPアドレスを取得するためのパスワードです。

1文字以上64文字以内の半角英数字と記号が使用できます。

基本設定－発着信設定－トンネル用－着信テーブル設定

トンネル用着信テーブル設定を行います。

トンネル用着信テーブルは、トンネル通信の着信時に行う通信相手との認証およびトンネル通信を受け付けるIPアドレスを限定するために使用します。

【トンネル用着信テーブル】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

発着信設定 > トンネル用 > 着信テーブル設定

トンネル用着信テーブルの設定を行います。

【トンネル用着信テーブル】

① 事前共有鍵	pre-shared-key		
② 受付IPアドレス	1 IPアドレス/マスク長	0001-d8-0000-0000-1111-1111-1111-1111	/ 64
	2 IPアドレス/マスク長	021683E1	/ 64
	3 IPアドレス/マスク長		/

【実行結果】

完了しました。

①事前共有鍵

トンネル通信の着信時に使用する通信相手との認証用文字列です。

1文字以上128文字以内の半角英数字と記号が使用できます。

発信側SIP-TAのトンネル用発信エン트리設定の事前共有鍵と一致しなければ、SIPセッションを確立することができません。

②受付IPアドレス・IPアドレス／マスク長（1～3）

着信側SIP-TAにおいてトンネル通信を許可するIPアドレスの範囲を設定します。

発信側SIP-TAにおける「宛先IPアドレス／マスク長」と本設定の範囲内にある端末のみデータ通信ができます。

IPv4アドレスまたはIPv6アドレスを設定できます。なお、IPv4アドレスを設定する場合、IPv4アドレス形式で半角数字および「.」が使用できます。IPv6アドレスを設定する場合、IPv6アドレス形式で半角の0～9、a～f、A～F、:(コロン)が使用できます。

マスク長はIPv4アドレス形式の場合、1～32、IPv6アドレス形式の場合、1～128の範囲で設定します。

範囲を限定しない設定とする場合、マスク長を「0」に設定します。

範囲を設定しない(無効)場合、IPアドレス／マスク長の両方の欄を空白に設定します。

基本設定－発着信設定－トンネル用－アドレスプール設定

トンネル用アドレスプールの設定を行います。

トンネル用アドレスプールは、リモートアクセス型接続時に発信側に割り当てるIPアドレスの範囲を指定するために使用します。

【トンネル用アドレスプール】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

発着信設定 > トンネル用 > アドレスプール設定

トンネル用アドレスプールの設定を行います。

【トンネル用アドレスプール】		
① IPv4アドレス/マスク長	192.168.201	/ 24
② IPv6アドレス/プレフィックス長	2001:444:0030:0000:1111:1111:1111:1111	/ 64
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>		
【実行結果】		
完了しました。		

① IPv4アドレス／マスク長

発信側SIP-TAIに割り当てるIPv4アドレスの範囲を設定します。

マスク長は、16～32の範囲で設定します。

IPv4アドレス形式で半角数字および「.」が使用できます。

アドレスプールを設定しない(無効)場合、IPv4アドレス／マスク長の両方の欄を空白に設定します。

② IPv6アドレス／プレフィックス長

発信側SIP-TAIに割り当てるIPv6アドレスの範囲を設定します。

IPv6アドレスは、IPv6アドレス形式で半角の0～9、a～f、A～F、:(コロン)を使用できます。

プレフィックス長は、112～128の範囲で設定します。

アドレスプールを設定しない(無効)場合、IPv6アドレス／プレフィックス長の両方の欄を空白に設定します。

〈ご注意〉

- トンネル通信で利用するIPバージョンにより、必要なアドレスプールを設定してください。
- アドレスプールに設定するアドレス範囲には、各拠点のLAN側およびWAN側ネットワークアドレスに重複するIPアドレスを含めないように設定してください。データ通信が正しくおこなえないことがあります。
- 本設定を変更すると、確立済みのトンネルは切断されます。

基本設定－発着信設定－トンネル用－アドレスプール設定－アドレス割当設定

トンネル用アドレス割当テーブルの設定を行います。

トンネル用アドレス割当テーブルは、リモートアクセス型接続時にアドレス割り当てを行うためのユーザ認証設定です。割り当てるIPアドレスをユーザごとに指定することもできます。

設定を行う[エントリ番号 (ID)]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

【トンネル用アドレス割当テーブル】

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【トンネル用アドレス割当エントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【トンネル用アドレス割当エントリ設定】

① エントリ番号(ID)	1
② アドレス割当エントリ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
③ ユーザID	user@test
④ パスワード	*****
⑤ IPv4アドレス	192.168.20.1
⑥ IPv6アドレス	2001:db8:0000:0000:1111:1111:1111:1111

設定 リセット 閉じる

【実行結果】

完了しました。

① エントリ番号 (ID)

トンネル用アドレス割当テーブルのエントリです。

SIP-TA-200、SIP-TA-3200ともに最大100個のエントリを設定することができます。

② アドレス割当エントリ (初期値：有効)

指定エントリの有効／無効設定です。

③ ユーザーID

アドレス割当時に認証するユーザIDです。emailアドレス形式で設定してください。

1文字以上64文字以内の半角英数字と「-」、「_」、「.」、「@」が使用できます。

④ パスワード

アドレス割当時に確認するパスワードです。

1文字以上64文字以内の半角英数字と記号が入力できます。

⑤ IPv4アドレス

ユーザIDごとに割り当てるアドレスを固定したい場合に設定します。

アドレスプールから動的にアドレスを割り当てる場合は、空白を設定します。

⑥ IPv6アドレス

ユーザIDごとに割り当てるアドレスを固定したい場合に設定します。

アドレスプールから動的にアドレスを割り当てる場合は、空白を設定します。

〈ご注意〉

- 本設定を変更すると、確立済みのトンネルは切断されます。

基本設定－発着信設定－TCPストリーム用－発信テーブル設定

TCPストリーム用発信テーブル設定を行います。

TCPストリーム用発信テーブルは、TCPストリーム用SIPセッション確立に必要な宛先電話番号を検索するために使用します。データ通信の概要で説明したように、本商品は、ローカル端末から他拠点端末への接続要求パケットを検出し、接続先IPアドレスなどを検索条件として宛先電話番号、メディア情報帯域幅などを取得し、SIPセッションを確立します。また、発信テーブルに対応するエントリが存在しない場合には、SIPセッションの確立は行わず、ローカル端末からのパケットは、ひかり電話ルータなどに転送され、ルーティングされます。

設定を行う[エントリ番号 (ID)]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

〈ご注意〉

- TCPストリーム用発信テーブルのエントリに設定された検索条件が、トンネル用発信テーブルにあるエントリの検索条件に含まれる場合、トンネル用発信テーブルのエントリが優先されます。

【TCPストリーム用発信テーブル】

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【TCPストリーム用発信エントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【TCPストリーム用発信エントリ設定】

① エントリ番号(ID)	1	
② 発信エントリ	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効	
検索条件	宛先	③ IPv4アドレス 192.168.30.2
		④ ポート番号 1234
	送信元	⑤ IPv4アドレス 0.0.0.0
		⑥ ポート番号 0
発信条件	宛先	⑦ 電話番号 0312345678
		⑧ 電話番号(子機) 0412345678
	⑨ グループ番号	0
	メディア情報	⑩ 帯域幅 500 kbps
		⑪ 種別 <input checked="" type="radio"/> データ通信 <input type="radio"/> 部署管理
	発信許容数	⑫ SIPセッション 2
		⑬ メディアストリーム 10
	⑭ 無通信状態判定時間	<input checked="" type="radio"/> デフォルト(600秒) <input type="radio"/> 入力値 <input type="text"/>

設定 リセット 閉じる

【実行結果】
完了しました。

〈ご参考〉

- 通信中のセッションに対応するTCPストリーム用発信テーブルエントリを設定または削除した場合、通信中のセッションは切断されます。

① エントリ番号(ID)

TCPストリーム用発信テーブルのエントリ番号です。
SIP-TA-200は最大20個、SIP-TA-3200は最大100個のエントリを設定することができます。

② 発信エントリ (初期値: 有効)

指定エントリの有効/無効設定です。

③ 宛先IPv4アドレス

接続先端末に割り当てた仮想IPv4アドレスを設定します。ただし、最上位8ビットが1~223以外、最下位8ビットが255のIPv4アドレスには設定できません。

④ 宛先ポート番号

接続先ポート番号を設定します。1~65535を入力できます。

⑤ 送信元IPv4アドレス

通信する端末を限定したい場合に設定します。ただし、「255.255.255.255」には設定できません。端末を限定しない場合は設定しません。

⑥ 送信元ポート番号

送信元ポートを限定したい場合に設定します。送信元ポートを限定しない場合は設定しません。0~65535を入力できます。

⑦ 宛先電話番号

接続先端末に接続するための電話番号を設定します。
1文字以上32文字以内の半角数字および「#」が使用できます。

⑧ 宛先電話番号 (予備)

予備として使用する宛先電話番号を設定します。
1文字以上32文字以内の半角数字および「#」が使用できます。

⑨ グループ番号 (初期値: 0)

1つのSIPセッションにて、複数のTCPコネクションを接続・切断するような場合(例: 同一の宛先番号に対する複数のTCPコネクションを1つのSIPセッションで扱いたい場合など)にグループ化機能を用います。グループ化単位ごとに番号を設定します。宛先電話番号が同じ場合には、複数のエントリで同じグループ番号を設定することができます。「0」に設定すると、グループ化機能を使用しません。0~65535を入力できます。

〈 ご注意 〉

- グループ化機能を利用し、1つのSIPセッション内で複数のメディアストリームをまとめる場合には、SIPセッション(チャンネル)内の全メディアストリームの合計帯域に応じて課金されます。帯域が変わると、単位課金時間や単位課金時間あたりの通信料が変更になる場合がありますので、設定の際には十分にご注意ください。また、設定した最大グループ化数を超えてメディアストリームが起動され、新たなSIPセッション(チャンネル)を確立した場合は、2つ目のセッション(チャンネル)となるため、新たなSIPセッション(チャンネル)における全メディアストリームの合計帯域に応じた課金が追加されます。

⑩メディア情報帯域幅

本商品により提供するデータ通信サービスは帯域確保サービスですので、必要帯域を1kbps単位で設定してください。本サービスで提供する上限値は「1000」kbpsです。1～1000を入力できます。

⑪メディア情報種別（初期値：データ通信）

本エントリに該当するTCP通信が発生した際に確立するSIPセッションの利用種別を設定します。通常のデータ通信として使用するエントリには、初期値「データ通信」のまま変更する必要はありません。遠隔管理用として使用するエントリには「遠隔管理」を選択してください。

〈ご注意〉

- 保守者／設定ツールの時だけ表示されます。

⑫発信許容数SIPセッション（初期値：0）

本エントリに該当するTCP通信が発生した際に、新たにSIPセッションを利用してよいかどうかを決定するための閾値です。SIPセッション確立時に、既に利用しているSIPセッション数が本設定値未満の場合にのみ、新たにSIPセッションを確立します。また「0」が指定された場合には、SIPアダプテーション設定メニューにおける[最大SIPセッション数]と同じ値が設定された場合と同じ動作となります。

SIP-TA-200は0～2、SIP-TA-3200は0～32を選択できます。

⑬発信許容数メディアストリーム（初期値：0）

本エントリに該当するTCP通信が発生した際に、新たにメディアストリームを接続してよいかを決定する閾値です。SIPセッション確立時やTCPコネクション追加時に、既に接続しているメディアストリーム数が本設定値未満の場合にのみ、新たに接続を行います。また「0」が指定された場合には、SIPアダプテーション設定メニューにおける[最大メディアストリーム数]と同じ値が設定された場合と同じ動作となります。

SIP-TA-200は0～10、SIP-TA-3200は0～160を選択できます。

⑭無通信状態判定時間（初期値：デフォルト(600秒)）

各メディアストリーム(TCPコネクション)について、データ通信状態を監視しています。

無通信状態と判定する時間を設定します。無通信時間が本設定時間を超えた場合、メディアストリームを切断します。

デフォルト／入力値を選択できます。

「デフォルト」を選択した場合は、SIPアダプテーション設定メニューにおける[無通信時判定時間(TCP)]の値となります。入力値を選択した場合は、設定値で無通信時間を判定します。入力値を選択した場合、10～3600を入力できます。

〈ご参考〉

- 無通信の原因としては、
 - ①お客様通信装置の仕様により、無通信時判定時間以上データが流れないまたは通信終了時のTCPコネクション切断が起動されない。
 - ②LAN機器、ケーブルの故障により、通信できなくなる。
 - ③本商品のLANインタフェースの故障により、通信できなくなる。などがあります。

〈ご注意〉

- ひかり電話サービスは、接続時間による従量課金となっていますので、本無通信時間を適切に設定し、速やかに無通信を検出・切断できるようにしてください。なお、TCPコネクションを切断してからSIPセッションが切断されるまでに数秒の処理時間がかかります。

基本設定－発着信設定－TCPストリーム用－着信テーブル設定

TCPストリーム用着信テーブル設定を行います。

TCPストリーム用着信テーブルは、SIPセッションの着信時に参照され、宛先電話番号を検索条件として、接続先の端末IPアドレスとポート番号を取得します。また着信テーブルに対応するエントリが存在しない場合には、着信を拒否します。

設定を行う[エントリ番号(ID)]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

【TCPストリーム用着信テーブル】

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【TCPストリーム用着信エントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【TCPストリーム用着信エントリ設定】

① エントリ番号(ID)	1
② 着信エントリ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
③ 電話番号	0398768432
着信先	
④ IPv4アドレス	192.168.20.2
⑤ ポート番号	80
⑥ SIPセッション	2
⑦ メディアストリーム	10

設定 リセット 閉じる

【実行結果】

完了しました。

① エントリ番号(ID)

着信テーブルのエントリ番号です。

SIP-TA-200は最大20、SIP-TA-3200は最大50のエントリを設定することができます。

② 着信エントリ（初期値：有効）

各エントリの有効／無効設定です。

③ 電話番号

着信時の宛先電話番号と、接続先端末のIPv4アドレス、TCPポート番号を紐付けます。

1文字以上32文字以内の半角数字が使用できます。

〈ご参考〉

- 未指定とする場合は、空白としてください。この場合、宛先電話番号によらず、特定端末に接続されるようになります。

④着信先IPv4アドレス

着信先端末のIPv4アドレスを設定します。

ただし、最上位ビットが1～223以外、「223.255.255.255」のIPv4アドレスには設定できません。

⑤着信先ポート番号

着信先端末の待ち受けポート番号を設定します。

1～65535を入力できます。

⑥着信許容数SIPセッション（初期値：0）

本エントリーに該当する着信が発生した際に、新たにSIPセッションを利用してよいかどうかを決定するための閾値です。SIPセッション確立時に、既に利用しているSIPセッション数が本設定値未満の場合にのみ、新たにSIPセッションを確立します。また「0」が指定された場合には、SIPアダプテーション設定メニューにおける[最大SIPセッション数]と同じ値が設定された場合と同じ動作となります。

SIP-TA-200は0～2、SIP-TA-3200は0～32を選択できます。

⑦着信許容数メディアストリーム（初期値：0）

本エントリーに該当する着信が発生した際に、新たに接続してよいかどうかを決定するための閾値です。通常は、SIPアダプテーション設定メニューにおける[最大メディアストリーム数]と同じ値に設定します。また「0」が指定された場合には、SIPアダプテーション設定メニューにおける[最大メディアストリーム数]と同じ値が設定された場合と同じ動作となります。

SIP-TA-200は0～10、SIP-TA-3200は0～160を選択できます。

基本設定－発着信設定－発信者番号認証テーブル設定

発信者番号認証テーブルの設定を行います。

本商品への着信時に、発信者番号通知による着信の許可・拒否の判定を行うための設定です。着信の許可・拒否の判定は、[発信者番号]と[宛先電話番号]から本テーブルを検索することで決定します。本テーブルに設定されたエントリは、発信者番号認証モード設定メニューで設定される[認証モード]に従って、下表に示す動作となります。

認証モードの設定	発信者番号認証テーブルの動作
認証しない	本テーブルは着信時に参照されません。
拒否リスト	本テーブルのエントリを拒否リストとして参照します。一致するエントリがあるときに着信を拒否します。（一致するエントリが存在しない場合には着信を許可します。）
許可リスト	本テーブルのエントリを許可リストとして参照します。一致するエントリがあるときに着信を許可します。（一致するエントリが存在しない場合には着信を拒否します。）

【発信者番号認証テーブル】

▶表示エントリ番号（初期値：1～100）

エントリを100個ずつ指定します。SIP-TA-200は最大200、SIP-TA-3200は最大2000個まで指定できます。

設定を行う[エントリ番号（ID）]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【発信者番号認証エントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【発信者番号認証エントリ設定】

① エントリ番号(ID)	2 ▼
② 発信者番号認証エントリ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
③ 発信者番号	<input checked="" type="radio"/> 電話番号指定 <input type="radio"/> 通知取り <input type="radio"/> 非通知
④ 宛先電話番号	<input type="text"/>

【実行結果】
完了しました。

① エントリ番号(ID)

エントリ番号を指定します。SIP-TA-200は最大200、SIP-TA-3200は最大2000個のエントリを設定することができます。

② 発信者番号認証エントリ (初期値：有効)

指定エントリの有効／無効設定です。

③ 発信者番号 (初期値：電話番号指定)

発信者番号を指定します。電話番号指定／通知あり／非通知から選択します。「電話番号指定」を選択した場合は電話番号を入力します。1文字以上32文字以内の半角数字が使用できます。

④ 宛先電話番号

発信者番号毎に、宛先電話番号を指定することができます。宛先電話番号を指定しない場合は、入力する必要はありません。32文字以内の半角数字を使用できます。

詳細設定－設定値の初期化

詳細設定 > 設定値の初期化

→本商品の設定値を全て消去し、初期化前(工場出荷状態)の状態に戻します。

「設定したデータを全て初期化します。」

【設定値初期化】	
① 完全初期化	実行
② 部分初期化(パスワード、通信情報ログ除く)	実行

【実行結果】

【設定値初期化】

本商品の設定内容を工場出荷時に戻します。

本商品がうまく動作しない場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

初期化には以下の2通りがあります。

①完全初期化

本商品の設定を工場出荷状態に戻します。

完全初期化の[実行]をクリックすると、「設定したデータを全て初期化した後、再起動します。本当に実行してよろしいですか？実行する場合、更新ランプが橙点滅中は、機器の電源を切らないでください。」と表示されますので [OK] をクリックします。「本商品を再起動しています。」と表示され、再読み込みまでの時間が表示されます。再起動後に、「SIP登録状態」が表示されます。

②部分初期化

パスワードおよび通信情報ログを除く設定を、工場出荷状態に戻します。

[実行]をクリックすると、「パスワード、通信情報ログを除くデータを初期化した後、再起動します。本当に実行してよろしいですか？実行する場合、更新ランプが橙点滅中は、機器の電源を切らないでください。」と表示されますので [OK] をクリックします。「本商品を再起動しています。」と表示され、再読み込みまでの時間が表示されます。再起動後に、「SIP登録状態」が表示されます。

STOP

お願い

- 初期化中は本商品の電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。

〈ご参考〉

- 本商品を初期化すると、設定内容は消去されます。ご注意ください。
- 初期化中は、他設定画面を表示できません。再起動後、他設定画面を表示してください。なお、初期化完了後は自動で再起動します。
- 本商品側面のリセットスイッチにより完全初期化を行うことも可能です。詳細は「7-3 本商品の初期化」をご覧ください。

詳細設定－通信情報ログ

本商品で発生した通信情報のログが表示されます。

詳細設定 > 通信情報ログ

→本商品に保存しているログの表示/出力を行います。

【ログ種別選択】

① ログ種別 構成情報ログ

ログ表示 ファイルへ保存

【実行結果】

完了しました。

② ページNo 1 [呼出]

③ 日付	④ 種別	⑤ ログ内容
2010/03/14 20:37:57	構成情報ログ	HTTPセッション確立完了 E-ID:026645f4e2f05606 No:1 実行 3 0000000000
2010/03/14 20:39:22	構成情報ログ	HTTPセッション終了 E-ID:b4a267e056164236 No:1 相手切替 3 0000000000

〈ご参考〉

- 詳細なログの見かたは、「7-5 ログの見かた」をご覧ください。

【ログ種別選択】

[ログ表示]をクリックするとログ種別に従ったログを表示します。

[ファイルへ保存]をクリックすると、選択したログ種別についてファイルに保存することができます。保存ファイルの形式は、CSV形式です。

① ログ種別 (初期値：構成情報ログ)

ログ種別を装置状態ログ/H/W障害ログ/構成情報ログから選択します。

【ログ情報テーブル】

② ページNo (初期値：1)

ログのページ番号です (1～15)。

1ページに最大100件のログが表示されます。

[呼出]をクリックすると、選択したページのログを表示します。

③ 日付

ログを記録した日付、時刻です。

④ 種別

ログの種別です。装置状態ログ/H/W障害ログ/構成情報ログのいずれかとなります。

⑤ ログ内容

ログの詳細内容です。

詳細設定－通信情報ログ－定期保存設定

通信情報ログの定期保存設定を行います。

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

詳細設定 > 通信情報ログ > 定期保存設定

→通信情報ログの定期保存設定を行います。

【定期保存設定】	
① 定期保存	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
② 定期保存時刻	2 時 0 分
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>	
【実行結果】	
完了しました。	

【定期保存設定】

① 定期保存 (初期値:有効)

ログ定期保存の有効/無効設定です。

② 定期保存時刻 (初期値:2時0分)

1日1回、何時何分にログの保存を実行するかを設定します。

0時0分～23時59分を入力できます。

STOP

お願い

●ログ保存中は、本商品の電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。

詳細設定－ネットワーク設定－LAN接続・DHCPv4サーバ設定

LAN側IPv4アドレスおよびDHCPv4サーバ機能を設定します。

LAN接続・DHCPv4サーバ設定は、本商品のLAN側ポートのIPv4アドレスと端末のIPv4アドレスを設定するために使用します。トンネル用SIPセッションの発着信をする場合、各拠点のLAN側IPv4アドレスのネットワークアドレスは独立に設定する必要があります。

[設定]をクリックすると設定を実行します。
[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

ネットワーク設定 > LAN接続・DHCPv4サーバ設定

→LAN側IPv4アドレスおよびDHCPv4サーバ機能の設定を行います。

【LAN側IPv4アドレス】	
① IPv4アドレス	192.168.20.1
② ネットマスク	255.255.255.0

【DHCPv4サーバ設定】	
③ DHCPサーバ機能	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
④ 割当先頭IPv4アドレス	192.168.20.2
⑤ 割当可能数	64
⑥ デフォルトゲートウェイ	192.168.20.1
⑦ プライマリDNSサーバ	192.168.20.1
⑧ セカンダリDNSサーバ	
⑨ リース期間	24 時間

設定 リセット

【実行結果】
実行しました。

【LAN側IPv4アドレス】

① IPv4アドレス（初期値：192.168.20.1）

本商品のLAN側インタフェースのIPv4アドレスを設定します。

トンネル用SIPセッションの発着信をする場合には、接続先と異なるネットワークアドレスに設定します。

ただし、最上位8ビットが1～223以外、ホスト部が0、最下位8ビットが255のIPv4アドレスには設定できません。

② ネットマスク（初期値：255.255.255.0）

本商品のLAN側インタフェースのネットマスクを設定します。

ただし、「255.0.0.0」未満のマスク、「255.255.255.255」には設定できません。

〈ご注意〉

- 情報－インタフェース状態(IPv4)画面の[WAN側状態]に表示されるIPv4アドレスと[LAN側IPv4アドレス]を同一のネットワークアドレスに設定しないでください。本商品が正しく動作しません。
- [LAN側IPv4アドレス]を異なるネットワークアドレスに変更する場合には、[DHCPv4サーバ設定]もあわせて設定してください。また、詳細設定－ネットワーク設定－LAN接続・DHCPv4サーバ設定－アドレス割当設定の各アドレス割当エントリを一旦無効にしてください。

【DHCPv4サーバ設定】

③DHCPサーバ機能(初期値:有効)

DHCPv4サーバ機能の有効／無効設定です。

「有効」に設定すると、本商品のDHCPv4サーバ機能が有効になります。

通常は「有効」にして使用します。

LANに別のDHCPv4サーバがある場合や、DHCPv4を使用せずに運用する場合は、「無効」に設定します。

④割当先頭IPv4アドレス(初期値:192.168.20.2)

割り当て開始IPアドレスを指定します。

なお、最上位8ビットが1～223以外、ホスト部が0、「223.255.255.255」のIPアドレスには設定できません。

さらに、ブロードキャストアドレスには設定できません。

例) IPアドレスが「192.168.20.10」ネットマスクが「255.255.255.0」の場合、ブロードキャストアドレスは「192.168.20.255」となります。

〈ご注意〉

- 割当先頭IPアドレスは、[LAN側IPv4アドレス]で設定したIPアドレスおよびネットワークアドレスの範囲外のIPアドレスには設定できません。

⑤割当可能数(初期値:64)

割当アドレス数を指定します。端末数に合わせて設定してください。

1～100を入力できます。

⑥デフォルトゲートウェイ(初期値:192.168.20.1)

デフォルトゲートウェイのIPv4アドレスを指定します。通常は、[LAN側IPv4アドレス]で設定されたIPv4アドレスを設定し、本商品をデフォルトゲートウェイとして使用します。

なお、最上位8ビットが1～223以外、「223.255.255.255」のIPv4アドレスには設定できません。

⑦プライマリDNSサーバ(初期値:192.168.20.1)

プライマリDNSサーバのIPv4アドレスを指定します。通常は、本商品の[LAN側IPv4アドレス]を設定します。

なお、最上位8ビットが1～223以外、「223.255.255.255」のIPv4アドレスには設定できません。

⑧セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPv4アドレスを指定します。通常は、空白（未設定）としてください。

なお、最上位8ビットが1～223以外、「223.255.255.255」のIPv4アドレスには設定できません。

⑨リース時間（初期値：24時間）

端末に通知するリース時間を時間単位で設定します。通常、デフォルトの「24」時間を変更する必要はありません。

0～24を選択できます。

〈ご参考〉

- リース時間を設定しない場合は、「0」としてください。

詳細設定－ネットワーク設定－LAN接続・DHCPv4サーバ設定－アドレス割当設定

DHCPv4サーバ機能のIPアドレス割当設定を行います。

設定を行う[エントリ番号 (ID)]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

【DHCPv4アドレス割当テーブル】

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【DHCPv4アドレス割当エントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【DHCPv4アドレス割当エントリ設定】	
① エントリ番号(ID)	1
② アドレス割当エントリ	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
③ IPv4アドレス	192.168.20.2
④ MACアドレス	AA:BB:CC:DD:EE:FF

【実行結果】

完了しました。

① エントリ番号 (ID)

エントリ番号を指定します。最大100個のエントリを設定することができます。

② アドレス割当エントリ (初期値：有効)

指定エントリの有効／無効設定です。

③ IPv4アドレス

DHCPv4サーバ設定で割り当てた範囲内のIPv4アドレスを設定します。

ただし、最上位8ビットが1～223以外、「223.255.255.255」のIPv4アドレスには設定できません。

④ MACアドレス

上記IPv4アドレスを固定的に割り当てる端末を設定します。

MACアドレスは、半角の0～9、a～f、A～F、:(コロン)を使用できます。

※MACアドレスは、2文字ずつコロンで区切って入力してください。

例) MACアドレスが「xx-xx-xx-xx-xx-xx」の場合は「xx:xx:xx:xx:xx:xx」と入力します。

詳細設定－ネットワーク設定－静的ルート設定(IPv4)

IPv4静的ルートテーブルの設定を行います。

経路検索は、「ロングストマッチ」、「エントリ番号」の順序で検索されます。
設定を行う[エントリ番号 (ID)]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

【IPv4静的ルートテーブル】

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【IPv4静的ルートエントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。
[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【IPv4静的ルートエントリ設定】

① エントリ番号(ID)	1
② IPv4ルートエントリ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
③ 宛先IPv4アドレス	192.168.20.1
④ ネットマスク	255.255.255.0
⑤ ネクストホップ	192.168.30.1

[設定] [リセット] [閉じる]

【実行結果】

完了しました。

① エントリ番号 (ID)

エントリ番号を指定します。最大50個のエントリを設定することができます。

② IPv4ルートエントリ (初期値：有効)

指定エントリの有効/無効設定です。

③ 宛先IPv4アドレス

宛先IPv4アドレスを設定します。

ただし、最上位8ビットが1～223以外、「223.255.255.255」、「1.0.0.0」のIPv4アドレスには設定できません。

④ ネットマスク

ネットマスクを設定します。

ただし、「255.255.255.255」および「255.0.0.0」未満のマスクには設定できません。

⑤ ネクストホップ

ネクストホップを設定します。

ただし、宛先IPv4アドレスと同一ネットワークアドレス、最上位8ビットが1～223以外、「223.255.255.255」、「1.0.0.0」のIPv4アドレスには設定できません。

詳細設定－ネットワーク設定－静的ルート設定(IPv6)

IPv6静的ルートテーブルの設定を行います。

経路検索は、「ロングストマッチ」、「エントリ番号」の順序で検索されます。
設定を行う[エントリ番号 (ID)]をクリックすると、現在設定されている内容が別の画面に表示されます。

【IPv6静的ルートテーブル】

選択にチェックを入れて[削除]をクリックすると、エントリを削除します。

【IPv6静的ルートエントリ設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。
[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

【IPv6静的ルートエントリ設定】

① エントリ番号(ID)	1
② IPv6ルートエントリ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
③ 宛先IPv6アドレス	2001:db8:0000:0000:1111:1111:1111:1111
④ プレフィックス長	64
⑤ ネクストホップ	2001:db8:0000:0000:0000:1111:1111:1111

【実行結果】

完了しました。

① エントリ番号 (ID)

エントリ番号を指定します。最大50個のエントリを設定することができます。

② IPv6ルートエントリ (初期値：有効)

指定エントリの有効/無効設定です。

③ 宛先IPv6アドレス

宛先IPv6アドレスを設定します。IPv6アドレスは、IPv6アドレス形式で半角の0～9、a～f、A～F、:(コロン)を使用できます。

④ プレフィックス長

プレフィックス長を設定します。1～64の範囲で設定できます。

⑤ ネクストホップ

ネクストホップを設定します。

詳細設定－SIP関連設定－SIPアダプテーション設定

SIPアダプテーションの基本設定を行います。

[SIPアダプテーション設定]

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

SIP関連設定 > SIPアダプテーション設定

→SIPアダプテーションの基本設定を行います。

【SIPアダプテーション設定】

①	最大SIPセッション数	2
②	最大メディアストリーム数 *	10
③	最大グループ化数 *	5
④	グループ化帯域閾値 *	5000 kbps
⑤	無通信時安定時間	TCP 600 秒
⑥	TCP切断後SIPセッション保持時間	UDP+ICMP * 20 秒
⑦	ゲートウェイID *	なし / 10秒 / 20秒
⑧		自動 / 手動

☆TCPストリーム用エントリに対してのみ使用します。
★トンネル用エントリに対してのみ使用します。

[設定] [リセット]

【実行結果】
完了しました。

- ①**最大SIPセッション数**（初期値：SIP-TA-200は2、SIP-TA-3200は32）
本商品が利用できる最大SIPセッション数です。ご契約時のチャンネル数に設定します。
SIP-TA-200は1～2、SIP-TA-3200は1～32を選択できます。
- ②**最大メディアストリーム数**（初期値：SIP-TA-200は10、SIP-TA-3200は160）
本商品が利用できる最大メディアストリーム数です。
SIP-TA-200は1～10、SIP-TA-3200は1～160を選択できます。
- ③**最大グループ化数**（初期値：5）
1グループに入れられるメディアストリームの最大数を指定します。
1～5を選択できます。
- ④**グループ化帯域閾値**（初期値：1000kbps）
本商品が利用できるメディアストリームの合計帯域を1kbps単位で指定します。
確立済みのSIPセッションへのメディアストリームの追加時に、合計帯域がここで指定された値を超える場合には、新たなSIPセッションを確立します。
1～5000を入力できます。

〈ご注意〉

- 最大メディアストリーム数、最大グループ化数、グループ化帯域閾値は、TCPストリーム用エントリに対してのみ使用し、トンネル用エントリには使用しません。

⑤無通信時判定時間（TCP）（初期値：600秒）

各TCPフローについて、データ通信状態を監視しています。無通信時間が本設定時間を超えた場合、該当フローを切断します。10～3600を入力できます。

⑥無通信時判定時間（UDP・ICMP）（初期値：20秒）

各フロー（UDP・ICMP）について、データ通信状態を監視しています。無通信時間が本設定時間を超えた場合、該当フローを切断します。10～3600を入力できます。

〈ご参考〉

●無通信の原因としては、

- ①お客様通信装置の仕様により、無通信時判定時間以上データが流れないまたは通信終了時のTCPコネクション切断が起動されない。
- ②LAN機器、ケーブルの故障により、通信できなくなる。
- ③本商品のLANインタフェースの故障により、通信できなくなる。などがあります。

〈ご注意〉

●ひかり電話サービスは、接続時間による従量課金となっていますので、本無通信時間を適切に設定し、速やかに無通信を検出・切断できるようにしてください。なお、トンネル内のすべてのフロー、またはTCPコネクションの切断後、SIPセッションが切断されるまでに数秒の処理時間がかかります。

⑦TCP切断後SIPセッション保持時間（初期値：なし）

なし／10秒／20秒から選択します。

TCPコネクションの切断後にSIPセッションの利用が無くなる場合にはSIPセッションを切断しますが、本設定時間待ってから切断します。通常は、「なし」に設定します。

〈ご注意〉

- 課金単位時間内でTCPコネクションの接続／切断を短時間で繰り返すようなご利用環境では、SIPセッションの接続／切断が繰り返されることで、その都度課金が発生する場合がありますので、ご利用端末の仕様をご確認の上、本設定を適切に変更してください。
- 本設定は、トンネル内TCPコネクションの切断時にも使用されます。

⑧ゲートウェイID（初期値：自動）

本商品を識別するためのIDを設定します。通常は、「自動」を選択します。「手動」を選択した場合、emailアドレス形式でゲートウェイIDを入力してください。「手動」選択時にゲートウェイIDを空白に設定することはできません。

〈ご注意〉

- 無通信時判定時間（UDP・ICMP）、ゲートウェイIDは、トンネル用エントリーに対してのみ使用し、TCPストリーム用エントリーには使用しません。
- ゲートウェイIDは、通信を行う拠点どうしで同じ設定にしてください。

詳細設定－SIP関連設定－SIPアダプテーション詳細設定

SIPアダプテーションの詳細設定では、本商品の連続発信動作の設定を行います。保守者の時だけ本設定画面が表示されます。

【SIPアダプテーション詳細設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

SIP関連設定 > SIPアダプテーション詳細設定

→SIPアダプテーションの詳細設定を行います。

【SIPアダプテーション詳細設定】	
① 連続発信許可数	15 回
② 連続発信抑制タイム	180 秒

設定 リセット

【実行結果】

実行しました。

①連続発信許可数（初期値：15回）

連続発信をどれだけ許容するかを設定します。

1～15を入力できます。

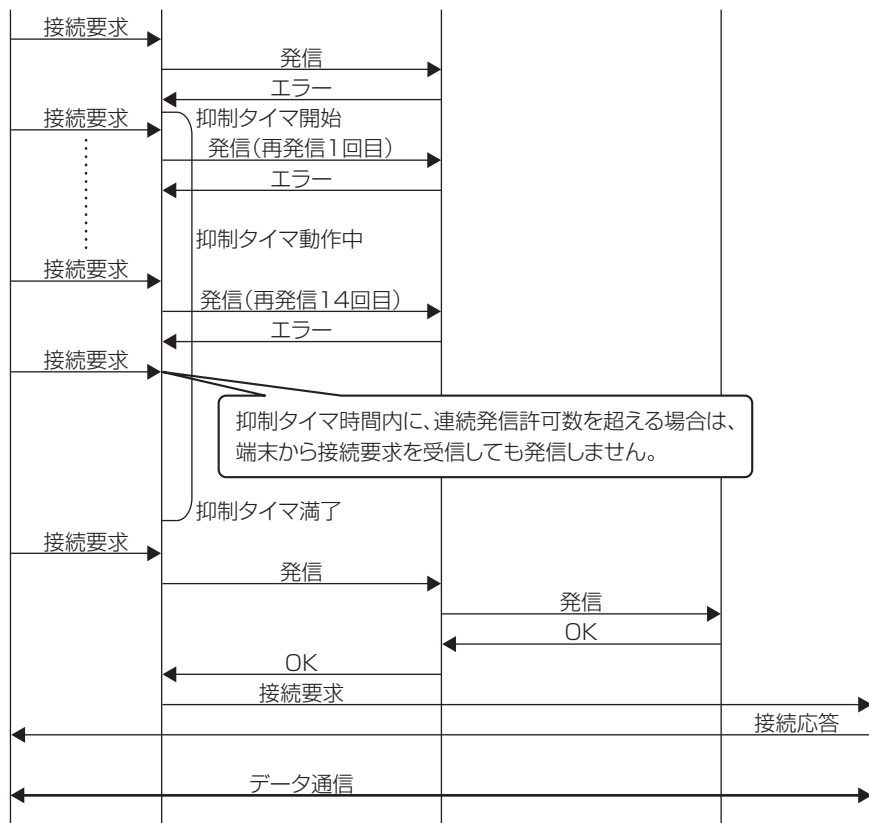
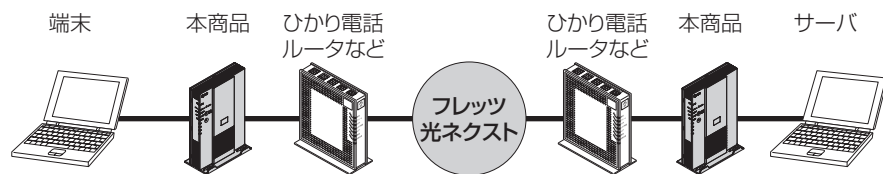
②連続発信抑制タイム（初期値：180秒）

連続発信を抑制するタイム値を設定します。

0～3600を入力できます。「0」設定時は、抑制動作を行いません。

端末からの接続要求によりひかり電話網に対して発信し、エラーを受信した場合、端末からの再接続要求によりひかり電話網に対して再発信しますが、再発信の繰り返し（連続発信）を設定時間内に設定回数以上行わないように、抑制します。連続発信抑制タイムは、最初の発信のエラー応答から開始します。本連続発信抑制動作は、宛先電話番号ごとに行われます。

図に連続発信抑制動作例を示します。本図では、連続発信許可数15回の発信でエラー応答となったあとは、端末からの接続要求に対して発信しません。抑制タイムが満了後に端末から接続要求を受信した場合は、通常どおり発信します。



詳細設定－SIP関連設定－発信者番号認証モード設定

発信者番号認証モードの設定を行います。

【発信者番号認証モード設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

The screenshot shows a web interface for setting the outgoing number authentication mode. At the top, there is a breadcrumb trail: "SIP関連設定 > 発信者番号認証モード設定". Below this, a message states: "→発信者番号認証モードの設定を行います。". The main section is titled "【発信者番号認証モード設定】" and contains a radio button group for "①認証モード" with three options: "認証しない", "拒否リスト", and "許可リスト". The "許可リスト" option is selected. To the right of the radio buttons are two buttons: "設定" and "リセット". Below the radio buttons is a section titled "【実行結果】" with a text box containing the message "完了しました。".

①認証モード（初期値：許可リスト）

認証モードを認証しない／拒否リスト／許可リストから選択します。

発信者番号認証テーブルのリストに対して、「リストを無視する／リストを着信拒否リストとして用いる／リストを着信許可リストとして用いる」のいずれかのモードを指定します。この指定は、本商品で共通ですので、運用方法を決めてから設定してください。

詳細設定－ポート設定－ポート通信設定

ポート毎の通信速度・モードを設定します。

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。

ポート設定 > ポート通信設定

→ポート毎の通信速度・モードの設定を行います。

①

【WANポート】	
WAN	自動

②

【LANポート】	
LAN1	自動
LAN2	自動
LAN3	自動
LAN4	自動

設定 リセット

【実行結果】
完了しました。

【WANポート】

①WAN (初期値：自動)

WANポート通信を自動／1G全二重／100M全二重／10M全二重／100M半二重／10M半二重から選択します。

通常「自動」で使用します。接続機器の仕様にあわせて設定してください。

●自動

WAN側の伝送速度/伝送モードを自動で設定します。

●1G全二重

WAN側の伝送速度を1Gbps、伝送モードを全二重に設定します。

●100M全二重

WAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

●10M全二重

WAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

●100M半二重

WAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

●10M半二重

WAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

【LANポート】

②LAN (LAN1～LAN4) (初期値：自動)

LANポート通信を自動／1G全二重／100M全二重／10M全二重／100M半二重／10M半二重から選択します。

通常「自動」で使用します。接続機器の仕様にあわせて設定してください。

●自動

LAN側の伝送速度/伝送モードを自動で設定します。

●1G全二重

LAN側の伝送速度を1Gbps、伝送モードを全二重に設定します。

●100M全二重

LAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

●10M全二重

LAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

●100M半二重

LAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

●10M半二重

LAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

〈ご注意〉

- 通信設定に不一致が生じた場合、通信に支障をきたします。

メンテナンスパスワード変更

本商品の設定変更や不正アクセスを防止するためのパスワードです。「Web設定」で設定するときが必要です。このパスワードは、変更できます。

【パスワード変更】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

メンテナンス > パスワード変更

→ログインパスワードの変更を行います。

【パスワード変更】	
① アカウント	mnt
② 現在のパスワード	****
③ 新パスワード	****
④ 新パスワードの確認入力	****

【実行結果】

①アカウント

現在ログインしているアカウントが表示されます。

②現在のパスワード

現在のパスワードを入力します。

③新パスワード

新しく登録するパスワードを入力します。

④新パスワードの確認入力

[新パスワード]で入力したパスワードを再度入力します。

〈ご参考〉

- 15文字以内の半角英数字および下記の記号を使用できます（スペースは使用できません）。

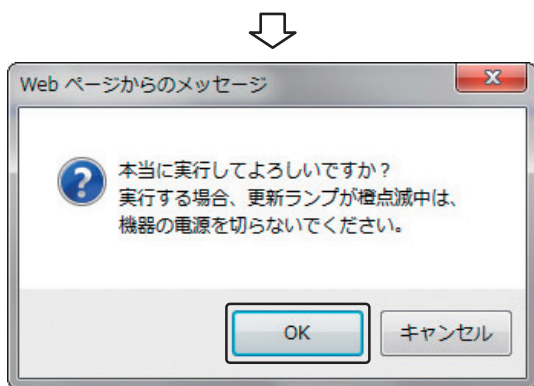
!	-]	{	*	.	^		#
+	[_	}	\$,	`	()

- 大文字と小文字は区別されます。
- 各パスワード入力欄の入力文字列は、すべて「●」や「*」に置き換わって表示されます。
- 空白にすることはできません。
- パスワードの変更時には、認証画面が表示されます。変更後のパスワードを入力してください。パスワードを3回間違えた場合は、認証エラー画面が表示されます。ブラウザを閉じて、再度接続してください。

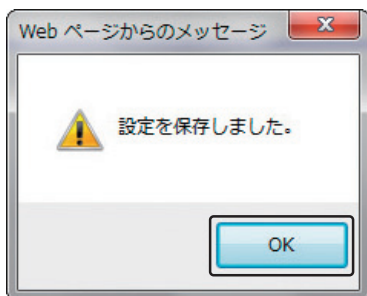
メンテナンスー設定保存

現在の設定値を本商品に保存します。

[実行]をクリックすると、「本当に実行してよろしいですか？実行する場合、更新ランプが橙点滅中は、機器の電源を切らないでください。」と表示されますので [OK] をクリックします。



「設定を保存しました。」と表示されますので、[OK] をクリックします。



STOP

お願い

- 設定保存中は、本商品の電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。

〈ご参考〉

- 保存中は、他設定画面を表示できません。保存終了後に他設定画面を表示してください。

〈ご注意〉

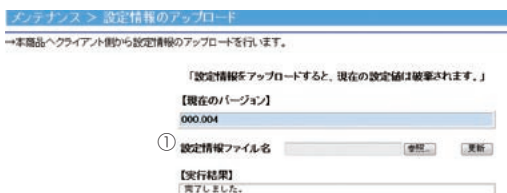
- 設定保存後、更新ランプが緑点滅している場合は、設定変更を有効にするために再起動が必要です。その場合の画面表示は、「設定を保存しました。変更を有効とするため、本商品を再起動してください。」となります。

メンテナンスー設定情報のアップロード

あらかじめ保存しておいた本商品の設定情報ファイルをアップロードします。

【現在のバージョン】

本商品の現在の設定ファイルバージョンを表示しています。（本商品のファームウェアが管理用に使用する番号ですので、お客さまが変更することはできません。）



① 設定情報ファイル名

復元するファイルを指定します。

● ファイルの復元方法

1. [参照]をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定します。
2. [開く]をクリックします。
3. [更新]をクリックします。
4. [OK]をクリックします。



お願い

- 設定ファイルのアップロード中は、本商品の電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。
- お使いの本商品以外の設定ファイルを使って復元を行うことはできません。無理に復元を行うと本商品が動作しなくなります。

〈ご参考〉

- 設定ファイルのアップロード中は、他設定画面を表示できません。設定ファイルのアップロード終了後に他設定画面を表示してください。

〈ご注意〉

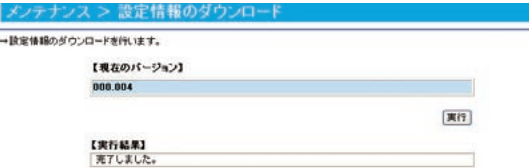
- アップロード時に指定できるファイル名は、半角の英数・記号文字（括弧子を含めて31文字まで）です。
- 設定ファイルのアップロード後、更新ランプが橙点滅中は電源を切らないでください。

メンテナンス－設定情報のダウンロード

本商品の設定情報をダウンロードし、パソコンに保存します。

【現在のバージョン】

設定ファイルのバージョンを表示しています。（本商品のファームウェアが管理用に使用する番号ですので、お客さまが変更することはできません。）



●ファイルの保存方法

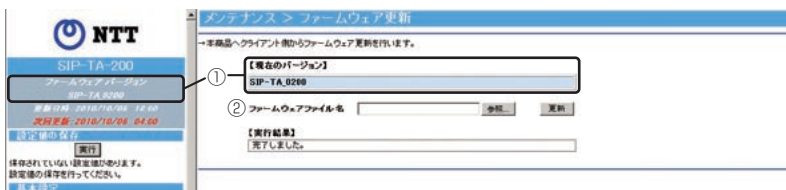
1. [実行]をクリックします。
2. [ファイルのダウンロード]画面で、[保存]をクリックします。
3. ファイルの保存先を指定し、[保存]をクリックします。
4. [ダウンロード完了]画面が表示された場合は、[閉じる]をクリックします。

〈ご注意〉

- パソコンに保存したファイルを本商品にアップロードするときに、ファイル名に制限がありますので、ファイル名のつけ方に注意してください。アップロード時に使用できるファイル名は、半角の英数・記号文字（拡張子を含めて31文字まで）です。

メンテナンス—ファームウェア更新

本商品のファームウェア更新(バージョンアップ)を行います。
また、「現在のバージョン」を表示します。



【現在のバージョン】

- ①本商品の現在のファームウェアバージョンを表示します。メインメニュー画面にも本情報を表示します。
- ②ファームウェアファイル名
アップロードするファームウェアを指定します。

●ファームウェアのアップロード方法

1. [参照]をクリックし、更新するファームウェアファイルを指定します。
2. [開く]をクリックします。
3. [更新]をクリックします。
4. [OK]をクリックします。

〈ご参考〉

- ファームウェアのアップロード中は、他設定画面を表示できません。
ファームウェアのアップロード終了後に、他設定画面を表示してください。
- ファームウェアの保存と再起動が完了するまで、約10分程度お待ちください。

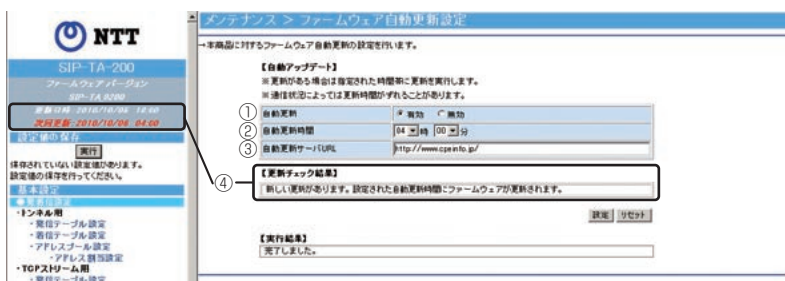


お願い

- ファームウェアのアップロード中は、電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。
- お使いの本商品以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。

メンテナンス—ファームウェア自動更新設定

本商品に対するファームウェア自動更新の設定を行います。
また、ファームウェアの「更新チェック結果」を表示します。
自動アップデートの設定を実施できるのは、保守者・設定ツールの場合に限ります。
[設定]をクリックすると設定を実行します。
[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。



【自動アップデート】

①自動更新(初期値:有効)

自動アップデートの有効/無効設定です。

②自動更新時間(初期値:04時00分)

自動更新を実行する時間を設定します。

時間は「00」～「23」を、分は「00」または「30」を選択します。

③自動更新サーバURL(初期値:http://www.cpeinfo.jp/)

自動更新サーバのURLを設定します。通常は、初期値を使用します。

〈ご参考〉

- 文字は、半角英数字および下記の半角記号を使用できます。(スペースは使用できません)

!	-	_	/	~	,	\$	*	()
;	:	@	=	&	+	?	.	'	

- 大文字と小文字は区別されます。
- 空白にすることはできません。

【更新チェック結果】

- ④本商品のファームウェアの更新有無を表示しています。更新がある場合、自動更新時間にファームウェア更新されます。メインメニュー画面には、前回の更新日時と次回更新日時を表示します。



お願い

- ファームウェアのアップロード中は、電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。

メンテナンスーPINGテスト

本商品から外部に対してPINGテストを行います。

【PINGテスト】

[実行]をクリックすると設定を実行します。

[中止]をクリックすると実行中のPINGテストを停止します。

メンテナンス > PINGテスト

→本商品からPINGテストを行います。

【PINGテスト】	
①宛先IPアドレス指定	<input type="text" value="200.0.101.20"/>
②ping送信回数(1~100)	<input type="text" value="3"/>

【PINGテスト結果】

【実行結果】

①宛先IPアドレス

PINGテストの対象となるホストのIPアドレスを入力します。

IPv4アドレスとIPv6アドレスを入力できます。

ただし、IPv4アドレスを入力する場合、最上位8ビットが1～223以外、「223.255.255.255」のIPv4アドレスは設定できません。またIPv6アドレスを入力する場合、ff00::/8を含むアドレス、fe80::/10を含むアドレスは設定できません。

②ping送信回数（初期値：3回）

Echoパケットの送信回数を指定します。

1～100を入力できます。

【PINGテスト結果】

PINGテスト結果内容を表示します。

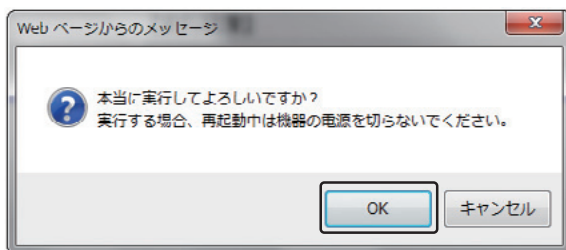
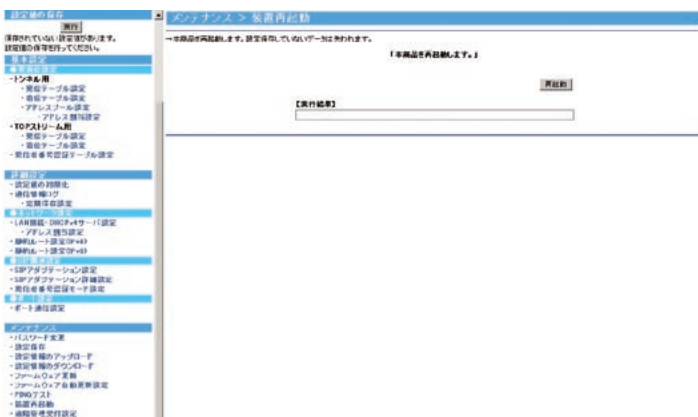
〈ご参考〉

- 本商品のLAN側端末およびWAN側に接続されるひかり電話ルータなどのIPアドレスを設定します。

メンテナンス－装置再起動

保存した設定値を有効にするために、本商品を再起動します。
 設定変更の内容によっては、再起動が不要場合があります。本商品の更新ランプを確認してください。更新ランプが緑点滅している場合は、装置再起動が必要です。ファームウェアを更新した場合には更新ランプが緑点灯しています。その場合でも、装置再起動が必要です。更新ランプが消灯している場合は、再起動する必要はありません。

[再起動]をクリックすると「本当に実行してよろしいですか？実行する場合、再起動中は機器の電源を切らないでください。」と表示されますので[OK]をクリックします。





お願い

- 再起動中は、本商品の電源を切らないでください。本商品の故障の原因となります。

〈ご参考〉

- 設定を保存し再起動が完了した時点で、設定した内容に従って本商品が動作します。
- 再起動中は、Webブラウザで本商品にアクセスすることはできません。
- 再起動が完了したら、本体の電源ランプが緑色に点灯し、本商品へのアクセスが可能となります。
- 再起動中は、再起動処理完了までの目安の時間を示す画面が表示されます。再起動が完了すると、自動的に各ユーザー名に応じた画面を表示します。
- 再起動を行うと通信は切断されます。再起動を行う前に、LAN側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。

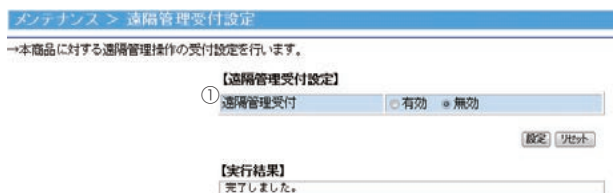
メンテナンスー遠隔管理受付設定

本商品への、遠隔によるWeb-GUI 接続および設定ツール接続の有効/無効を設定します。保守者の時だけ本設定画面が表示されます。

【遠隔管理受付設定】

[設定]をクリックすると設定を実行します。

[リセット]をクリックすると画面を編集前の状態に戻します。



①遠隔管理受付 (初期値：無効)

遠隔管理受付を有効/無効を選択します。遠隔管理を実施しない場合は、「無効」に設定してください。

◆有効

遠隔管理を受け付けます。

◆無効

遠隔管理を受け付けません。

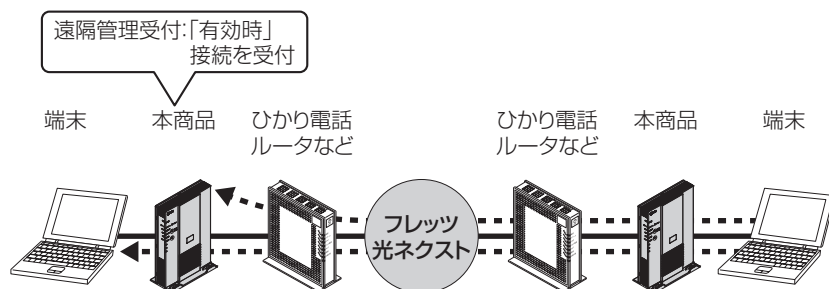
〈ご注意〉

- 本設定は、TCPストリーム通信時の接続可否を設定するものです。トンネル通信を用いた接続は対象外となります。



お願い

- 本設定を「有効」にする場合は、発信者番号認証設定を行ってください。設定によっては不正な接続が行われる可能性があります。
- 本設定を遠隔管理接続中に「無効」に設定すると、遠隔管理端末側で突然接続ができなくなりますので、遠隔管理接続を実施していない時に設定変更してください。



情報－SIP登録状態

SIPの登録状態を表示します。

【SIP登録状態】

- ▶REGISTER状態
- ▶外線電話番号
- ▶内線電話番号
- ▶SIPサーバIPv4アドレス
- ▶SIPサーバIPv6アドレス
- ▶SIPドメイン

[最新に更新]をクリックすると最新の内容に更新されます。

情報 > SIP登録状態

→SIP登録状態の表示を行います。

【SIP登録状態】

REGISTER状態	登録済
外線電話番号	03-5561-1111
内線電話番号	2
SIPサーバIPv4アドレス	192.168.1.1
SIPサーバIPv6アドレス	2001:db8:1111:1110
SIPドメイン	mtt-ngr.ne.jp

[最新に更新](#)

【実行結果】

完了しました。

〈ご参考〉

- 「登録済」状態にならない場合は、「6-1 設置に関するトラブル」の「d. 本商品前面のSIPランプが消灯または橙点灯している」の「SIPランプが消灯している」項をご確認ください。

情報－SIPセッション情報

確立済みのSIPセッション情報を表示します。また、セッションを切断することができます。

【SIPセッション情報】

[最新に更新]をクリックすると最新の内容に更新されます。

〈ご参考〉

- 画面右側下のエントリ番号を選択して、[切断]をクリックすることで、セッションを切断することができます。
- 本画面の詳細については、「4-3 データ通信をする」をご覧ください。

情報—インタフェース状態 (IPv4)

WANポート、LANポートのIPv4インタフェース状態を表示します。

[最新に更新]をクリックすると最新の内容に更新されます。

【WAN状態】

▶リンク状態

WANポートのリンク状態がDOWN/UPのいずれかで表示されます。

▶通信速度

WANポートの通信速度が一/1G全二重/100M全二重/10M全二重/100M半二重/10M半二重のいずれかで表示されます。

〈ご参考〉

- リンク状態がDOWNの場合には、通信速度は「—」で表示されます。

▶MACアドレス

WAN側のMACアドレスが「xx:xx:xx:xx:xx:xx」の形式で表示されます。

▶MTU値

WAN側のMTU値が表示されます。

▶IPv4アドレス

WAN側のIPv4アドレスが表示されます。

▶ネットマスク

WAN側のネットマスクが表示されます。

▶デフォルトゲートウェイ

WAN側のデフォルトゲートウェイのIPv4アドレスが表示されます。

▶プライマリDNSサーバ

WAN側のプライマリDNSサーバのIPv4アドレスが表示されます。

▶セカンダリDNSサーバ

WAN側のセカンダリDNSサーバのIPv4アドレスが表示されます。

【LAN側状態】

▶LAN1～LAN4—リンク状態

LANポートのリンク状態がDOWN/UPのいずれかで表示されます。

▶LAN1～LAN4—通信速度

LANポートの通信速度が一/1G全二重/100M全二重/10M全二重/100M半二重/10M半二重のいずれかで表示されます。

〈ご参考〉

- リンク状態がDOWNの場合には、通信速度は「—」で表示されます。

▶ **MACアドレス**

LAN側のMACアドレスが「xx:xx:xx:xx:xx:xx」の形式で表示されます。

▶ **MTU値**

LAN側のMTU値が表示されます。

▶ **IPv4アドレス**

LAN側のIPv4アドレスが表示されます。

▶ **ネットマスク**

LAN側のネットマスクが表示されます。

情報—インタフェース状態 (IPv6)

WANポート、LANポートのIPv6インタフェース状態を表示します。

[最新に更新]をクリックすると最新の内容に更新されます。

[WAN状態]

▶リンク状態

WANポートのリンク状態がDOWN/UPのいずれかで表示されます。

▶通信速度

WANポートの通信速度が一/1G全二重/100M全二重/10M全二重/100M半二重/10M半二重のいずれかで表示されます。

〈ご参考〉

- 「一」はリンク状態がDOWNの場合に表示されます。

▶MACアドレス

WAN側のMACアドレスが「xx:xx:xx:xx:xx:xx」の形式で表示されます。

▶インタフェースID

WAN側のインタフェースIDが「xxxx:xxxx:xxxx:xxxx」の形式で表示されます。

▶MTU値

WAN側のMTU値が表示されます。

▶リンクローカルIPv6アドレス

WAN側リンクローカルのIPv6アドレスが表示されます。

▶リンクローカルプレフィックス長

WAN側リンクローカルのプレフィックス長が表示されます。

▶デフォルトゲートウェイ

WAN側のデフォルトゲートウェイのIPv6アドレスが表示されます。

▶プライマリDNSサーバ

WAN側のプライマリDNSサーバのIPv6アドレスが表示されます。

▶セカンダリDNSサーバ

WAN側のセカンダリDNSサーバのIPv6アドレスが表示されます。

[LAN側状態]

▶LAN1～LAN4—リンク状態

LANポートのリンク状態がDOWN/UPのいずれかで表示されます。

▶LAN1～LAN4—通信速度

LANポートの通信速度が一/1G全二重/100M全二重/10M全二重/100M半二重/10M半二重のいずれかで表示されます。

〈ご参考〉

- 「—」はリンク状態がDOWNの場合に表示されます。

▶MACアドレス

LAN側のMACアドレスが「xx:xx:xx:xx:xx:xx」の形式で表示されます。

▶インタフェースID

LAN側のインタフェースIDが「xxxx:xxxx:xxxx:xxxx」の形式で表示されます。

▶MTU値

LAN側のMTU値が表示されます。

▶リンクローカルIPv6アドレス

LAN側リンクローカルのIPv6アドレスが表示されます。

▶リンクローカルプレフィックス長

LAN側リンクローカルのプレフィックス長が表示されます。

▶グローバルIPv6アドレス

LAN側グローバルのIPv6アドレスが表示されます。

▶グローバルプレフィックス長

LAN側グローバルのプレフィックス長が表示されます。

情報—時刻表示

本商品の日付、時刻を表示します。

【時刻表示】

▶現在時刻

[最新に更新]をクリックすると現在の日付、時刻が表示されます。

〈ご注意〉

- 本商品の初期状態の日付、時刻は「2010年1月1日0時0分0秒」です。ひかり電話ルータなどのWAN側機器との接続が完了後に、正しい日付、時刻が表示されます。

6

故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこの章を読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

- 6-1 設置に関するトラブル…………… 6-2
- 6-2 データ通信に関するトラブル…………… 6-5
- 6-3 ご利用開始後のトラブル…………… 6-12

6-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？

→いいえ (a 参照)

↓はい

本商品前面のアラームランプ、更新ランプおよびINITランプは消灯していますか？

→いいえ (b 参照)

↓はい

本商品前面のACTランプは緑点灯または緑点減していますか？

→いいえ (c 参照)

↓はい

本商品前面のSIPランプは緑点灯または緑点減していますか？

→いいえ (d 参照)

a. 本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
電源ランプが消灯のままである	<ul style="list-style-type: none"> ●電源アダプタが外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタがパソコンの電源に連動している場合は、別の電源コンセントに接続してください。 ●電源アダプタのコードが破損していないか確認してください。破損している場合は、すぐに抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
電源ランプが緑点滅のままである	<ul style="list-style-type: none"> ●緑点滅状態が10分以上継続している場合は、装置異常の可能性がります。当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b. 本商品前面のアラームランプ、更新ランプおよびINITランプが消灯していない

症状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品で異常が発生しています。約10分待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、本体側面のリセットスイッチを長押し（10秒以上）し、工場出荷状態（初期化された状態）に戻してください。再起動後もアラームランプが赤点灯している場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
アラームランプが赤点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●[詳細設定]－[ネットワーク設定]－[LAN接続・DHCPv4サーバ設定]で[LAN側IPv4アドレス]のネットワークアドレスをWAN側のネットワークアドレスと重複しないように変更してください。
更新ランプが橙点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品内のフラッシュメモリに各情報を書込み中です。しばらくお待ちください。約10分待っても状態が変わらない場合は、装置再起動を行ってください。再度同様の状態が発生する場合は、装置異常の可能性がります。当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
更新ランプが緑点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品のファームウェアをアップデート完了し、再起動待ち状態です。本商品側面の「リセット」ボタンを1秒以上10秒未満で「カチッ」と押ししてください。または「Web設定」にて[装置再起動]を実行してください。
更新ランプが緑点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品の設定変更を有効にするために、再起動待ち状態です。本商品側面の「リセット」ボタンを1秒以上10秒未満で「カチッ」と押ししてください。または「Web設定」にて[装置再起動]を実行してください。
更新ランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品のファームウェア、設定情報またはログ情報の保存に失敗しました。装置再起動を行い、再度ファームウェアアップデートまたは設定更新を実施してください。繰り返し更新ランプが赤点灯する場合は、装置異常の可能性がります。当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
INITランプが橙点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品に設定を実施してください。設定保存を実施しても消灯しない場合は、当社のサービス取扱所にご相談ください。なお、ログの定期保存および装置再起動実施でもINITランプは消灯しません。

c. 本商品前面の ACT ランプが消灯している

症 状	原因と対策
ACTランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品とひかり電話ルータなどWAN側機器の両方に電源が入っていることを確認してください。 ●本商品のWANポートとひかり電話ルータなどのLANポートの両方に、LANケーブルが「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。 ●本商品とひかり電話ルータなどを接続しているLANケーブルが異常の可能性があります。交換してください。 ●本商品とひかり電話ルータなどのポート通信設定が一致していることを確認してください。ひかり電話ルータなどの設定については、ひかり電話ルータなどの取扱説明書をご覧ください。

d. 本商品前面のSIPランプが消灯または橙点灯している

症 状	原因と対策
SIPランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●[情報]－[インタフェース状態 (IPv4)]で[WAN側状態]を確認し、IPv4アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイが表示されていることを確認してください。 ●[情報]－[インタフェース状態 (IPv6)]で[LAN側状態]を確認し、グローバルIPv6アドレスが表示されていることを確認してください。 ●ひかり電話ルータなどWAN側機器の接続を確認してください。 ●ひかり電話ルータなどの内線設定を確認し、本商品が登録されているか確認してください。ひかり電話ルータなどの設定については、ひかり電話ルータなどの取扱説明書をご覧ください。 ●ひかり電話ルータなどのひかり電話ランプが点灯しているか確認してください。消灯している場合は、ひかり電話ルータなどの設定を確認してください。設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。 ●ネットワーク構成が正しいか、確認してください。 ●本商品の電源を入れ直してください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
SIPランプが橙点灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●しばらく待って緑点灯したら、データ通信を実施してください。

6-2 データ通信に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

また、データ通信のご利用方法により対処方法が異なりますので、ご注意ください。

LAN間接続トンネル通信をご利用のとき

本商品背面のLANポートのLINKランプは緑点灯または緑点減していますか？	→いいえ (a 参照)
↓はい	
設定用PCのIPアドレスは設定されていますか？ (IPアドレスの確認方法は、 本商品の取扱説明書「パソコンとの接続を確認する」をご覧ください)	→いいえ (b 参照)
↓はい	
Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？	→いいえ (c 参照)
↓はい	
[LAN接続・DHCPv4サーバ設定]／[アドレス割当設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (d 参照)
↓はい	
[SIPアダプテーション設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (e 参照)
↓はい	
[トンネル用発信テーブル設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (f 参照)
↓はい	
[トンネル用着信テーブル設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (g-1 参照)
↓はい	
[発信者番号認証モード設定]／[発信者番号認証テーブル設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (h 参照)
↓はい	
接続先端末を設置している場所の各装置について、上記と同様の確認をしましたか？	→いいえ (i 参照)
↓はい	
データ通信できましたか？	→いいえ (j 参照)

6

故障かな？と思ったら

リモートアクセス型接続トンネル通信をご利用のとき

本商品背面のLANポートのLINKランプは緑点灯または緑点滅していますか？	→いいえ (a 参照)
↓はい	
設定用PCのIPアドレスは設定されていますか？ (IPアドレスの確認方法は、 本商品の取扱説明書「パソコンとの接続を確認する」をご覧ください)	→いいえ (b 参照)
↓はい	
Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？	→いいえ (c 参照)
↓はい	
[LAN接続・DHCPv4サーバ設定]／[アドレス割当設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (d 参照)
↓はい	
[SIPアダプテーション設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (e 参照)
↓はい	
[トンネル用発信テーブル設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (f 参照)
↓はい	
[トンネル用着信テーブル設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (g-1 参照)
↓はい	
[トンネル用アドレスプール設定]／[トンネル用アドレスプールアドレス割当設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (g-2 参照)
↓はい	
[発信者番号認証モード設定]／[発信者番号認証テーブル設定]を確認し問題ありませんか？	→いいえ (h 参照)
↓はい	
接続先端末を設置している場所の各装置について、上記と同様の確認をしましたか？	→いいえ (i 参照)
↓はい	
データ通信できましたか？	→いいえ (j 参照)

TCPストリーム通信をご利用のとき

本商品背面のLANポートのLINKランプは緑点灯または緑点滅していますか？ →いいえ (a 参照)

↓はい

設定用PCのIPアドレスは設定されていますか？ →いいえ (b 参照)
(IPアドレスの確認方法は、
本商品の取扱説明書「パソコンとの接続を確認する」をご覧ください)

↓はい

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？ →いいえ (c 参照)

↓はい

[LAN接続・DHCPv4サーバ設定]／[アドレス割当設定]を確認し問題ありませんか？ →いいえ (d 参照)

↓はい

[SIPアダプテーション設定]を確認し問題ありませんか？ →いいえ (e 参照)

↓はい

[TCPストリーム用発信テーブル設定]を確認し問題ありませんか？ →いいえ (k 参照)

↓はい

[TCPストリーム用着信テーブル設定]を確認し問題ありませんか？ →いいえ (l 参照)

↓はい

[発信者番号認証モード設定]／[発信者番号認証テーブル設定]を確認し問題ありませんか？ →いいえ (h 参照)

↓はい

接続先端末を設置している場所の各装置について、上記と同様の確認をしましたか？ →いいえ (i 参照)

↓はい

データ通信できましたか？ →いいえ (j 参照)

a. 本商品背面のLANポートのLINKランプが消灯している

症状	原因と対策
LINKランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品と端末機器の両方に電源が入っていることを確認してください。 ●本商品のLANポートと端末機器のLANポートの両方に、LANケーブルが「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。 ●接続端末のLANボードまたはLANカードのセットアップが正しくできているかを確認してください。 ●1Gbps(1000Mbps)に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できない場合がありますので、LANポートで1Gbps(1000Mbps)の通信をご利用になるときは、1Gbps(1000Mbps)に対応したLANケーブルをご用意ください。 ●本商品のポート通信設定と端末機器のLANポートの通信速度設定が一致していることを確認してください。

b. 設定用PCのIPアドレスが正しく設定されていない

症状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.20.xxx」に設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを使用」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されている必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「3-2 パソコンのネットワーク設定」をご覧のうえ再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b. 「3-2 パソコンのネットワーク設定」をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

c. Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない

症状	原因と対策
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「3-2 パソコンのネットワーク設定」をご覧のうえ確認してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の「Web設定」ページが表示されないことがあります。(➡3-7ページ) ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの[インターネットオプション]の[接続]で[ダイヤルしない]が選択されていることを確認してください。(➡3-7ページ) ●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることを確認してください。
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページの画面が正常に表示されない 操作が正常にできない 操作時に、「画面情報不一致により、設定に失敗しました。」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●お使いのWebブラウザの設定で「アクティブスクリプト」を有効に設定してください。(➡3-9ページ) ●お使いのWebブラウザが本商品に対応しているか「対応OSの確認とWebブラウザの準備」(➡1-11ページ)をご覧のうえ確認してください。 ●複数のWebブラウザおよび設定ツールから同時に本商品进行操作していないかを確認して、操作を1箇所からだけにしてください。 ●Webブラウザの「戻る」、「進む」、「更新」ボタンなどを操作していないかを確認して、これらの操作を行わないようにしてください。 ●Webブラウザを一旦閉じて、ログインからやり直してください。

d. [LAN接続・DHCPv4サーバ設定] / [アドレス割当設定]が正しく設定されていない

症状	原因と対策
DHCPv4サーバを設定していない	●DHCPv4サーバ機能を用いる場合は、「有効」設定にしてください。この場合は、端末機器側設定もDHCPを使用する設定にしてください。
アドレス割当を設定していない	●DHCPv4サーバ機能を用いる場合は、端末機器側に割り当てされるIPv4アドレスが固定になりません。端末機器側に割り当てされるIPv4アドレスを固定したい場合に、本設定を行ってください。 ●DHCPv4サーバ機能を用いない場合は、端末機器のアドレスを固定設定してください。

e. [SIPアダプテーション設定]が正しく設定されていない

症状	原因と対策
SIPアダプテーション設定を設定していない	●データ通信のご利用方法に合わせて、本設定を行ってください。 ●本設定は、設定保存 / 再起動後に有効になります。設定保存 / 再起動を行ってください。
構成情報ログに「SIPセッション確立失敗」、「SIPメディア変更失敗」、「SIP発信抑制」が記録されている	●発信側・着信側各SIP-TAの[SIPアダプテーション設定]を確認してください。 ●契約サービス（最大チャネル数）を確認してください。 ●「7-5 ログの見かた」をご覧ください、対処してください。

f. [トンネル用発信テーブル設定]が正しく設定されていない

症状	原因と対策
トンネル用発信テーブルを設定していない	●トンネル用発信テーブルを設定してください。
構成情報ログに「SIPセッション確立失敗」、「SIPメディア変更失敗」、「SIP発信抑制」が記録されている	●発信側SIP-TAの[トンネル用発信テーブル設定]を確認してください。 ●契約サービス（最大チャネル数）を確認してください。 ●「7-5 ログの見かた」をご覧ください、対処してください。
構成情報ログに「トンネル確立失敗」が記録されている	●「7-5 ログの見かた」をご覧ください、対処してください。

g-1. [トンネル用着信テーブル設定]が正しく設定されていない

症状	原因と対策
トンネル用着信テーブルを設定していない	●トンネル用着信テーブルを設定してください。
構成情報ログに「SIPセッション確立失敗」、「SIPメディア変更失敗」、「SIP発信抑制」が記録されている	●着信側SIP-TAの[トンネル用着信テーブル設定]を確認してください。 ●契約サービス（最大チャネル数）を確認してください。 ●「7-5 ログの見かた」をご覧ください、対処してください。
構成情報ログに「トンネル確立失敗」が記録されている	●「7-5 ログの見かた」をご覧ください、対処してください。

g-2. [トンネル用アドレスプール設定] / [トンネル用アドレスプールアドレス割当設定] が正しく設定されていない

症 状	原因と対策
トンネル用アドレスプールを設定していない	●リモートアクセス型接続を行う場合は本設定を行ってください。
トンネル用アドレスプールアドレス割当を設定していない	●リモートアクセス型接続を行う場合は、ユーザーIDとパスワードを設定してください。
構成情報ログに「トンネル確立失敗」が記録されている	●「7-5 ログの見かた」をご覧ください。対処してください。

h. [発信者番号認証モード設定] / [発信者番号認証テーブル設定] が正しく設定されていない

症 状	原因と対策
発信者番号認証テーブルを設定していない	●[認証モード]の設定に合わせて、発信者番号認証テーブルを設定してください。
構成情報ログに「SIPセッション確立失敗」、「SIPメディア変更失敗」、「SIP発信抑制」が記録されている	●着信側SIP-TAの[発信者番号認証モード設定]、[発信者番号認証テーブル設定]を確認してください。 ●契約サービス（ナンバー・ディスプレイ）を確認してください。 ●「7-5 ログの見かた」をご覧ください。対処してください。

i. 接続先端末を設置している場所の各装置について、上記a.~hの設定が正しく設定されていない

症 状	原因と対策
接続先場所の各装置について、設定されていない	●接続先場所の各装置について設定してください。
接続先SIP-TAのファームウェアのバージョンが異なる	●「4-5 サービスご利用時のご注意 [本商品のファームウェアバージョンによる接続性について]」をご覧ください。対処してください。

j. データ通信できない

症 状	原因と対策
接続先の端末に接続を試みても接続できない	●当社のサービス取扱所にご相談ください。

k. [TCPストリーム用発信テーブル設定]が正しく設定されていない

症 状	原因と対策
TCPストリーム用発信テーブルを設定していない	●TCPストリーム用発信テーブルを設定してください。
構成情報ログに「SIPセッション確立失敗」、「SIPメディア変更失敗」、「SIP発信抑制」が記録されている	●発信側SIP-TAの[TCPストリーム用発信テーブル設定]を確認してください。 ●契約サービス（最大チャンネル数）を確認してください。 ●「7-5 ログの見かた」をご覧ください。

l. [TCPストリーム用着信テーブル設定] が正しく設定されていない

症 状	原因と対策
TCPストリーム用着信テーブルを設定していない	●TCPストリーム用着信テーブルを設定してください。
構成情報ログに「SIPセッション確立失敗」、「SIPメディア変更失敗」、「SIP発信抑制」が記録されている	●着信側SIP-TAの[TCPストリーム用着信テーブル設定]を確認してください。 ●契約サービス（最大チャンネル数）を確認してください。 ●「7-5 ログの見かた」をご覧ください。

ご利用開始後のトラブルについては、現在の症状をご確認のうえ、以下のページでその原因と対策をご覧ください。

症 状	原因と対策
通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●設定を変更した場合には、設定変更前の状態に戻してみてください。通信できる場合には、設定変更の内容を再確認してください。 ●LAN側インタフェースでDHCPv4サーバ機能をご使用の場合は、IPv4アドレスが変わっている可能性があります。アドレス割当設定を行い、IPv4アドレスが変わらないように対処してください。 ●LAN側インタフェースでIPv6アドレスをご使用の場合は、IPv6アドレスが変わっている可能性があります。IPv6アドレスを確認してください。 ●「6-2 データ通信に関するトラブル」をご覧ください。対処してください。 ●「7-5 ログの見かた」をご覧ください。対処してください。 ●ご利用回線の変更（電話番号、サービス追加・変更等を含む）を行った場合、データ通信に失敗することがあります。本商品の電源を入れ直してください。
本商品のランプ状態が利用開始時と異なる （電源：点灯、SIP/ACT：点灯または点滅、他：消灯）	●本商品のランプ状態を確認してください。「6-1 設置に関するトラブル」を参照してください。
パスワードを忘れた	●「7-3 本商品の初期化」を参照してください。
Webブラウザで本商品に接続できない	●「6-2 データ通信に関するトラブル a.~c.」をご覧ください。対処してください。

7

付録

この章では、本商品に関するその他の情報について説明します。必要に応じて適宜参照してください。

7-1	パソコンのネットワーク設定	7-2
7-2	設定値の保存	7-10
7-3	本商品の初期化	7-12
7-4	設定画面一覧	7-17
7-5	ログの見かた	7-19
7-6	用語集	7-31
7-7	仕様一覧	7-34
7-8	設定記入シート	7-37
7-9	お客様サポートのご案内	7-50
7-10	索引	7-51

7-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCPサーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCPサーバ機能は、工場出荷時に「有効にする」になっています。

- ・ Windows® 7をご利用の場合
 ☛ 3-3ページをご覧ください。
- ・ Windows Vista®をご利用の場合
 ☛ 7-3ページをご覧ください。
- ・ Windows® XPをご利用の場合
 ☛ 7-7ページをご覧ください。

パソコンに設定されているIPアドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。

本商品のIPアドレスは、初期状態で「192.168.20.1」に設定されています。
IPアドレスを変更する場合は、「Web設定」の[詳細設定]－[ネットワーク設定]－
[LAN接続・DHCPv4サーバ設定]をご覧ください。

☛ 5-27ページをご覧ください。

■Webブラウザの設定

Webブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

☛ 3-7ページをご覧ください。

■アクティブスクリプトの設定確認

Webブラウザで設定を行うには、アクティブスクリプトの設定を有効にする必要があります。

☛ 3-9ページをご覧ください。

Windows Vista®をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

Windows Vista®の設定により表示内容が異なる場合があります。

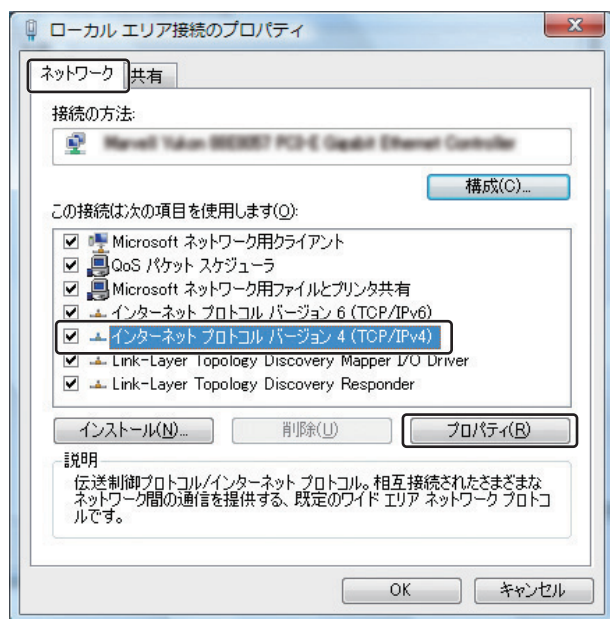
- 1 [スタート]—[コントロールパネル]を選択する。
- 2 [ネットワークと共有センター]をクリックし、[ローカルエリア接続]の[状態の表示]をクリックする。



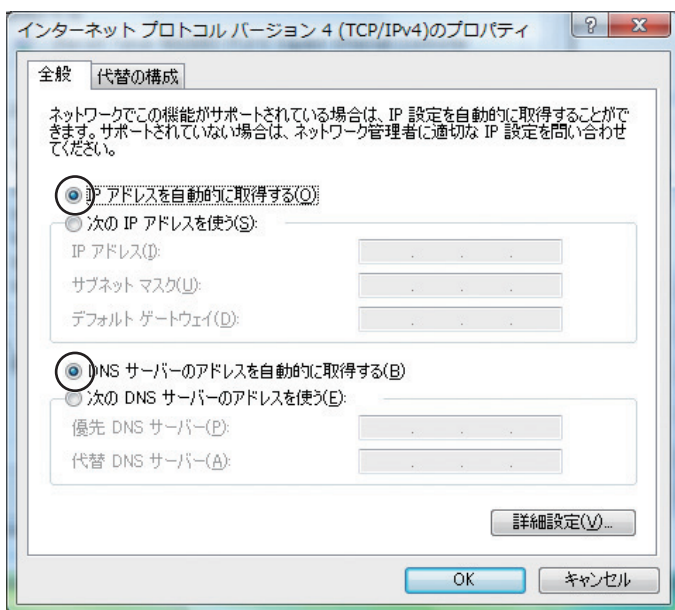
- 3 [プロパティ] をクリックする。
- 4 [続行するにはあなたの許可が必要です]というメッセージが表示されるので、[続行]をクリックする。

(次ページに続く)

5 [ネットワーク]タブをクリックし、[インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックする。



6 [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択する。



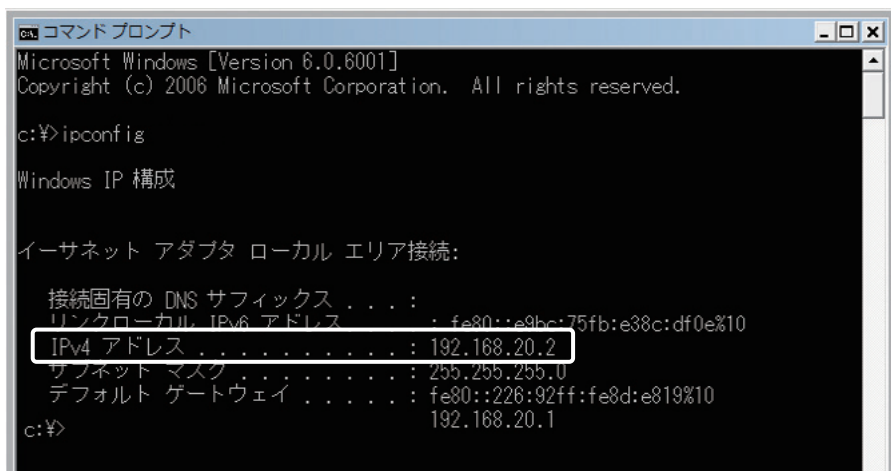
7 [OK]をクリックする。

8 [閉じる]をクリックする。

9 [閉じる]をクリックする。

■IPアドレスの確認ーパソコンとの接続を確認する

- 1 パソコンが接続されている、本商品背面のLINKランプが緑点灯または緑点滅していることを確認する。
- 2 パソコンの[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[コマンドプロンプト]を実行する。
- 3 [コマンドプロンプト]の画面が表示されたら、「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押す。
- 4 [イーサネット アダプタ ローカルエリア接続:]が表示され、IPv4アドレスが[192.168.20.xxx]になっていることを確認する(xxxは2~254の数字です)。



```
cmd コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.0.6001]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

c:\>ipconfig

Windows IP 構成

イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

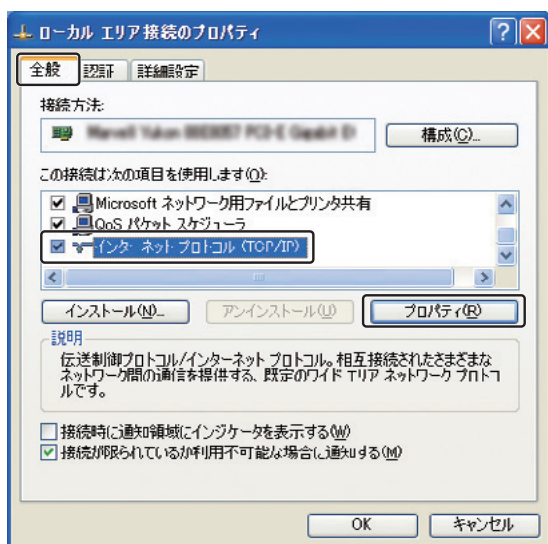
    接続固有の DNS サフィックス . . . . :
    リンクローカル IPv6 アドレス . . . . : fe80::e9bc:75fb:e38c:df0e%10
    IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.20.2
    サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
    デフォルト ゲートウェイ . . . . . : fe80::226:92ff:fe8d:e819%10
c:\> 192.168.20.1
```

Windows® XPをご利用の場合

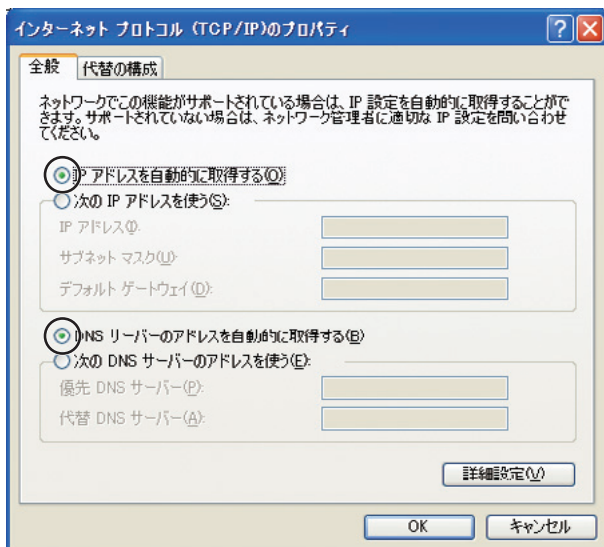
■パソコンのネットワークの設定をする

Windows® XPの設定により表示内容が異なる場合があります。

- 1 [スタート]－[コントロールパネル]を選択する。
- 2 [ネットワーク接続]をダブルクリックする。
- 3 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
- 4 [全般]タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]をクリックする。



5 [IP アドレスを自動的に取得する]と[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択する。

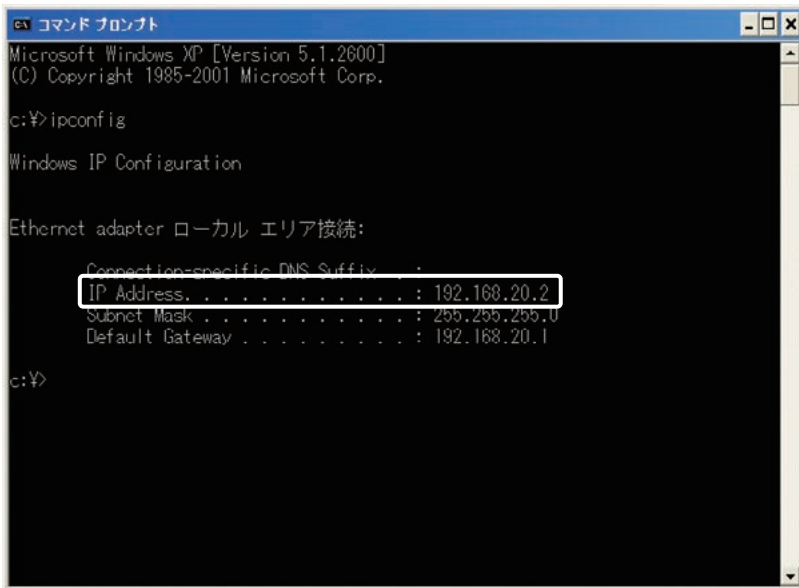


6 [OK]をクリックする。

7 [閉じる]をクリックする。

■ IPアドレスの確認ーパソコンとの接続を確認する

- 1 パソコンが接続されている、本商品背面のLINKランプが緑点灯または緑点滅していることを確認する。
- 2 パソコンの[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[コマンドプロンプト]を実行する。
- 3 [コマンドプロンプト]の画面が表示されたら、「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押す。
- 4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続:]が表示され、IPアドレスが[192.168.20.xxx]になっていることを確認する(xxx は2 ~ 254 の数字です)。



```
CA コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

c:\>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.20.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.20.1

c:\>
```

- 5 「exit」と入力し、[Enter]キーを押す。

7-2 設定値の保存

「Web設定」で現在の本商品の設定内容を保存できます。

設定値の保存

- 1 「Web設定」ページ (<http://192.168.20.1/>) を開く。
- 2 メインメニューの [メンテナンス] - [設定保存] を選択する。
メインメニューに「設定保存」が見えない場合は下にスクロールさせてください。



- 3 [実行]をクリックする。

メンテナンス > 設定保存

→現在の設定値を本商品に保存します。

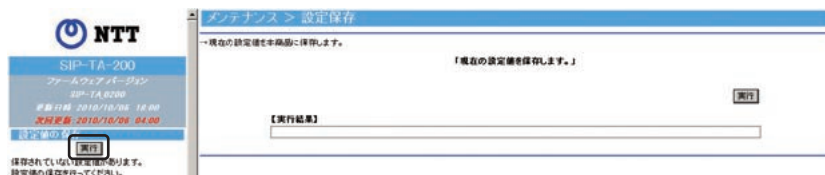
「現在の設定値を保存します。」

実行

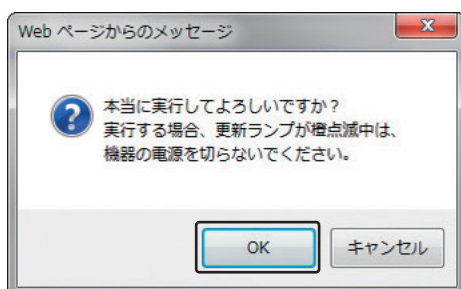
【実行結果】

お知らせ

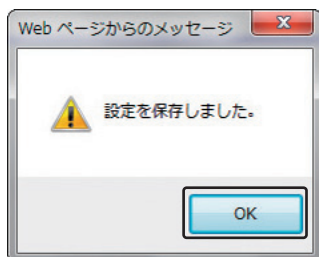
- 保存されていない設定値がある場合は、メインメニューの[設定値の保存]にメッセージが表示されます。[設定値の保存]の[実行]をクリックしても設定値の保存を行うことができます。



- 4** 「本当に実行してよろしいですか？ 実行する場合、更新ランプが橙点減中は、機器の電源を切らないでください。」と表示されるので、[OK]をクリックする。



- 5** 「設定を保存しました。」と表示されるので、[OK]をクリックする。



〈ご注意〉

- 設定保存後、更新ランプが緑点減している場合は、設定変更を有効にするために再起動が必要です。その場合の画面表示は、「設定を保存しました。変更を有効とするため、本商品を再起動してください。」となります。

7-3 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。本商品が正常に動作しない場合、または機器設定用パスワードを忘れたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。（更新されたファームウェアは戻せません）

■初期化の種類について

本商品の初期化は、完全初期化（パスワードを含む設定、ログのすべてをクリア）と部分初期化（パスワード、通信情報ログ除く）の2種類があり、Web設定画面で操作できます。また、完全初期化は本体のボタン操作でも実行できます。

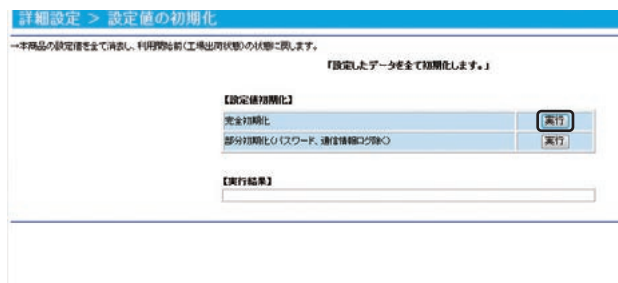
■完全初期化（画面操作）について

画面操作による本商品の完全初期化は、下記の手順で行います。

1 メインメニューの[詳細設定]－[設定値の初期化]を選択する。



2 完全初期化の[実行]をクリックする。



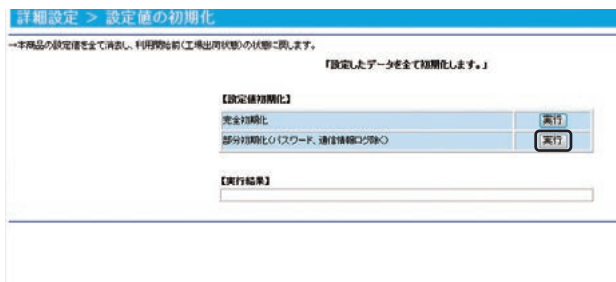
■部分初期化について

画面操作による本商品の部分初期化は、下記の手順で行います。

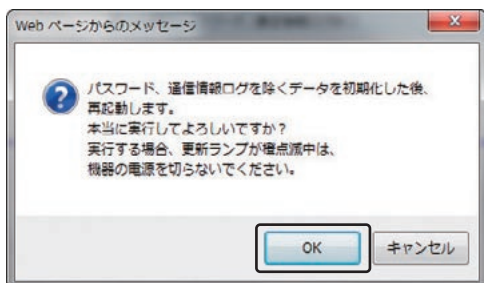
1 メインメニューの[詳細設定]－[設定値の初期化]を選択する。



2 部分初期化の[実行]をクリックする。



3 「パスワード、通信情報ログを除くデータを初期化した後、再起動します。本当に実行してよろしいですか?実行する場合、更新ランプが橙点滅中は、機器の電源を切らないでください。」と表示されるので、[OK]をクリックする。



- 4 「本商品を再起動しています。」と表示され再読み込みまでの時間が表示されます。



SIP-TA-200

本商品を再起動しています。

- 180 秒後に自動的に再読み込みを行います。

しばらくお待ちください。

再起動中は、機器の電源を切らないでください。

- 5 再起動後に、[SIP登録状態]が表示されます。

情報 > SIP登録状態

→SIP登録状態の表示を行います。

【SIP登録状態】	
REGISTER状態	登録済
外線電話番号	03-5561-1111
内線電話番号	2
SIPサーバIPv4アドレス	192.168.1.1
SIPサーバIPv6アドレス	2001:db8::1111:1110
SIPドメイン	ntt-ngr.ne.jp
最新に更新	
【実行結果】	
完了しました。	

STOP

お願い

7

付録

- 初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。故障の原因となることがあります。

■完全初期化（スイッチ操作）について

スイッチ操作による本商品の完全初期化は、下記の手順で行います。

1

本商品側面のリセットスイッチを10秒以上長押しする。

自動で初期化が開始されます。更新ランプの橙点滅を確認した後は押す必要はありません。

「更新ランプが橙点滅」、「電源ランプが緑点滅」、「電源ランプが緑点灯、INITランプが橙点灯」と状態が変われば、初期化完了です。

STOP

お願い

- 初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。故障の原因となることがあります。

(次ページに続く)



お知らせ

- リセットスイッチは奥まった場所にあるので、先の細い道具を使って操作してください。
- 細い金属状の道具で押下しないでください。内部に入り込み、ショートなど、故障する可能性があります。
- いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻ります。設定内容の控えを作成しておくことをお勧めします。
- 本操作を行っても「INIT」ランプが点灯しない場合は、10秒に満たない状態でボタンを離してしまった可能性がありますので、電源ランプが緑点灯後に、もう一度スイッチ操作をやり直してください。
- 初期化中は、他設定画面を表示できません。

7-4 設定画面一覧

本商品でご利用になれる設定画面の一覧です。

「保守者(mnt)」「エンドユーザー(usr)」「設定ツール(admin)」は、ユーザー毎に実施可能なコマンドを○で示しています。「再起動必要有無」は、設定変更など実施時に再起動が必要となる項目を「有」と示しています。設定値を保存し、再起動を行ってください。

設定画面名称	内容	再起動 必要有無	保守者	エンド ユーザー	設定 ツール (※1)
基本設定－発着信設定					
トンネル用					
発信テーブル 設定	SIPアダプテーションで使用するトンネル用発信テーブルの設定を行います。	—	○	○	○
着信テーブル 設定	SIPアダプテーションで使用するトンネル用着信テーブルの設定を行います。	—	○	○	○
アドレスプール 設定	リモートアクセス型トンネル通信で使用するアドレスプールの設定を行います。	—	○	○	○
アドレス割当 設定	アドレスプール割り当てのユーザーとIPアドレスの組設定を行います。	—	○	○	○
TCPストリーム用					
発信テーブル 設定	SIPアダプテーションで使用するTCPストリーム用発信テーブルの設定を行います。	—	○(※2)	○	○(※2)
着信テーブル 設定	SIPアダプテーションで使用するTCPストリーム用着信テーブルの設定を行います。	—	○	○	○
発信者番号認証 テーブル設定	発信者番号認証テーブルの設定を行います。	—	○	○	○
詳細設定					
設定値の初期化	本商品内に保存している設定値をすべて初期化します。	有	○	○	×
通信情報ログ	本商品のログを画面上に表示します。	—	○	○	×
定期保存設定	ログの定期保存時刻、定期保存の有効/無効を設定します。	—	○	○	×
詳細設定－ネットワーク設定					
LAN接続・ DHCPv4サーバ 設定	LAN側IPv4アドレス、DHCPv4サーバ機能の設定を行います。	有	○	○	×
アドレス割当設定	DHCPv4割り当てのMACアドレスとIPv4アドレスの組設定を行います。	有	○	○	×
静的ルート設定 (IPv4)	IPv4静的ルートテーブルの設定を行います。	有	○	○	×
静的ルート設定 (IPv6)	IPv6静的ルートテーブルの設定を行います。	有	○	○	×

※1 設定ツールで使用するためのユーザー名ですが、「Web設定」で使用することもできます。

※2 保守者/設定ツールでログイン時には、設定できる項目が異なります。

設定画面名称	内容	再起動 必要有無	保守者	エンド ユーザー	設定 ツール (※1)
詳細設定－SIP関連設定					
SIPアダプテーション設定	SIPアダプテーションの基本的な設定を行います。	有	○	○	×
SIPアダプテーション詳細設定	SIPアダプテーションの詳細な設定を行います。	有	○	×	×
発信者番号認証モード設定	発信者番号認証のモード設定を行います。	—	○	○	○
詳細設定－ポート設定					
ポート通信設定	WAN/LANポートの通信速度/通信モード設定を行います。	有	○	○	×
メンテナンス					
パスワード変更	パスワードの変更を行います。	—	○	○	○
設定保存	現在動作しているパラメータを本商品内に保存します。	—	○	○	○
設定情報のアップロード	PC→SIP-TA方向に設定情報を転送し、フラッシュメモリへの書き込みを行います。	有	○	○	○
設定情報のダウンロード	SIP-TA→PC方向に設定情報を転送し、PCへの書き込みを行います。	—	○	○	○
ファームウェア更新	本商品のファームウェア更新（バージョンアップ）、および自動アップデートの設定を行います。	有	○	○	○
ファームウェア自動更新設定	本商品に対するファームウェア自動更新の設定を行います。	—	○	○(※2)	○
PINGテスト	本商品から外部に対してPINGテストを行います。	—	○	○	×
装置再起動	本商品の再起動を行います。	有	○	○	○
遠隔管理受付設定	本商品への遠隔管理操作の受付可否を設定します。	—	○	×	×
情報					
SIP登録状態	SIP状態を表示します。	—	○	○	×
SIPセッション情報	SIPアダプテーションのセッション情報を表示します。	—	○	○	○
インタフェース状態 (IPv4)	WANおよびLANポートのIPv4アドレス状態を表示します。	—	○	○	×
インタフェース状態 (IPv6)	WANおよびLANポートのIPv6アドレス状態を表示します。	—	○	○	×
時刻表示	現在時刻を表示します。	—	○	○	×

※1 設定ツールで使用するためのユーザー名ですが、「Web設定」で使用することもできます。

※2 エンドユーザーでログイン時には、設定を変更することはできません。

7-5 ログの見かた

本商品のログの見かたを説明します。

詳細設定－通信情報ログ

本商品で発生した通信情報のログが表示されます。

【ログ種別選択】

[ログ表示]をクリックするとログ種別に従ったログを表示します。

[ファイルへ保存]をクリックすると、選択したログ種別についてファイルに保存することができます。保存ファイルの形式は、CSV形式です。

▶ログ種別 (初期値：構成情報ログ)

ログ種別を「装置状態ログ、H/W障害ログ、構成情報ログ」から選択します。

【ログ情報テーブル】

▶ページNo (初期値：1)

ログのページ番号です (1～15)。

1ページに最大100件のログが表示されます。

▶日付

ログを記録した日付、時刻です。

▶種別

ログの種別です。「装置状態ログ、H/W障害ログ、構成情報ログ」のいずれかとなります。

▶ログ内容

ログの詳細内容です。

ログフォーマットと対処方法

ログフォーマットは以下のとおりです。

フォーマット： [エントリ番号] [日付] [時刻] [ログ種別] [ログ内容]

[ログ内容]の詳細と対処方法を、ログ内容一覧 (1) ~ (3) に示します。

ログ内容一覧 (1)：装置状態ログ

ログ内容一覧 (2)：H/W障害ログ

ログ内容一覧 (3)：構成情報ログ

なお、対処方法に記載の処置を行ってもトラブルが解決せず、本ログが再度記録される場合は、当社のサービス取扱所へお問合せください。

ログ内容一覧 (1) (ログ種別：装置状態ログ)

取得契機	ログ内容	対処方法
電源 ON	SIP-TA Power On(Version=バージョン番号)	対処は不要です。
パラメータ更新	Parameter Update	対処は不要です。
リンク UP/DOWN	Link-Up (WAN) Link-Down (WAN) Link-Up (LAN1) Link-Down (LAN1) Link-Up (LAN2) Link-Down (LAN2) Link-Up (LAN3) Link-Down (LAN3) Link-Up (LAN4) Link-Down (LAN4)	対処は不要です。
LAN/WAN ポートでの IP アドレス重複	IP アドレス重複 (LAN 側 =LAN 側 IPv4 アドレス WAN 側 =WAN 側 IPv4 アドレス)	本商品の WAN 側 IPv4 アドレスおよび LAN 側 IPv4 アドレスのネットワークアドレスが重複しないように設定を変更してください。
装置再起動	Reboot Start	対処は不要です。

取得契機		ログ内容	対処方法
ファームアップデート成功 / 失敗			
	ファームアップデート成功 (Version= バージョン番号)		対処は不要です。
	ファームアップデート失敗		本商品を再起動し、再度正しいファームウェアで更新 (バージョンアップ) を行ってください。再度失敗する場合は、本商品が故障している可能性があります。当社のサービス取扱所へお問合せください。
自動ファームアップデート更新確認成功 / 失敗			
	ファームウェア更新確認成功 レスポンス内容 (受信したレスポンスに以下の情報がある場合は表示します) ダウンロード先 URL 更新バージョン		対処は不要です。
	ファームウェア更新確認失敗		自動更新サーバ URL が正しく設定されている場合は、対処の必要はありません。URL が正しく設定されていてもファームウェアの更新が無い場合には本表示となります。なお、URL が誤っている場合には正しく設定してください。
自動ファームアップデート更新成功 / 失敗			
	ファームウェア更新成功 更新ファームウェアバージョン		対処は不要です。
	ファームウェア更新失敗		対処は不要です。ただし、本ログが 1 週間程度継続している場合は、本商品が故障している可能性があります。当社のサービス取扱所へお問合せください。
パラメータアップデート成功 / 失敗			
	パラメータアップデート成功 (Version= バージョン番号)		対処は不要です。
	パラメータアップデート失敗		本商品を再起動し、再度正しい設定ファイルでアップデートしてください。再度失敗する場合は、本商品が故障している可能性があります。当社のサービス取扱所へお問合せください。
定期ログ保存成功 / 失敗			
	定期ログ保存成功		対処は不要です。
	定期ログ保存失敗		本商品を再起動してください。再度本ログが発生する場合は、本商品が故障している可能性があります。当社のサービス取扱所へお問合せください。

ログ内容一覧 (2) (ログ種別 : H/W 障害ログ)

取得契機		
	ログ内容	対処方法
フラッシュメモリ故障		
	FROM Error (Ope=read, Sector= セクタ番号)	本商品を再起動してください。再度本ログが発生する場合は、本商品が故障している可能性があります。当社のサービス取扱所へお問合せください。
	FROM Error (Ope=write, Sector= セクタ番号)	
	FROM Error (Ope=erase, Sector= セクタ番号)	
例外処理		
	IIIExcept(例外発生番号)	本商品を再起動してください。再度本ログが発生する場合は、本商品が故障している可能性があります。当社のサービス取扱所へお問合せください。

ログ内容一覧 (3) (ログ種別 : 構成情報ログ)

取得契機		
	ログ内容	対処方法
SIP REGISTER 完了 (REGISTER-200OK 受信時)		
	SIP REGISTER 完了 登録電話番号 P-Associated-URI (の内容)	対処は不要です。
SIP de-REGISTER 完了 (de-REGISTER 送信時)		
	SIP de-REGISTER 完了 登録電話番号 要因 (該当する場合のみ表示します)	対処は不要です。 要因は以下のいずれかです。 a. SIP 登録解除ボタン押下 b. 装置再起動
SIP REGISTER 失敗 (REGISTER- 非 2XX 受信時)		
	SIP REGISTER 失敗 レスポンスコード (3XX ~ 6XX) リーズン・フレーズ 登録電話番号 (本応答の原因となった、本商品がひかり電話ルータ (※ 3) に送信した REGISTER メッセージ内容から、以下の3つを表示します。) From ヘッダ To ヘッダ Contact ヘッダ Retry-After ヘッダ	以下を確認してください。 ①ひかり電話ルータ (※ 3) ~フレッツ網間の接続状態 ②ひかり電話ルータ (※ 3) の動作状態 (ランプ点灯状態) ③ひかり電話ルータ (※ 3) の設定

取得契機		
	ログ内容	対処方法
REGISTER 再送タイムアウト時		
	SIP REGISTER 失敗 再送タイムアウト 登録電話番号 (本応答の原因となった、本商品がひかり電話ルータ(※3)に送信した REGISTERメッセージ内容から、以下の3つを表示します。) From ヘッダ To ヘッダ Contact ヘッダ	以下を確認してください。 ①本商品～ひかり電話ルータ(※3)の接続状態 ②ひかり電話ルータ(※3)～フレッツ網間の接続状態 ③ひかり電話ルータ(※3)の動作状態(ランプ点灯状態) ④ひかり電話ルータ(※3)の設定
REGISTER Expire タイマ満了時		
	SIP REGISTER Expire タイマ満了 登録電話番号	以下を確認してください。 ①本商品～ひかり電話ルータ(※3)の接続状態 ②ひかり電話ルータ(※3)～フレッツ網間の接続状態 ③ひかり電話ルータ(※3)の動作状態(ランプ点灯状態) ④ひかり電話ルータ(※3)の設定
本商品が DHCP で取得した内線電話番号の桁数が 3 桁以上の時		
	取得内線電話番号不正 登録電話番号 (桁数オーバー)	本商品がフレッツ網に直接接続されている可能性があります。以下を確認してください。 ①本商品～ひかり電話ルータ(※3)の接続状態 ②ひかり電話ルータ(※3)～フレッツ網間の接続状態
SIP セッション確立完了 [発信側](INVITE-2000K 受信時)		
	SIP セッション確立完了 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1) 発信 自端末側電話番号 相手先電話番号 自端末側 IP アドレス (トンネル時のみ) 相手先 IP アドレス	対処は不要です。
SIP メディア変更完了 [発信側](SDP 付き UPDATE-2000K 受信時)		
	SIP メディア変更完了 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1) メディア ID 発信 追加 / 削除 自端末側電話番号 相手先電話番号	対処は不要です。

取得契機		
	ログ内容	対処方法
SIP メディア変更失敗 [発信側](SDP 付き UPDATE- 非 2xx 受信時)		
	<p>SIP メディア変更失敗 レスポンスコード リーズン・フレーズ</p> <p>セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCPストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1)</p> <p>発信 追加 / 削除 自端末側電話番号 相手先電話番号</p> <p>(受信したレスポンスに以下のヘッダがある場合は表示します)</p> <p>Warningヘッダ (code, host name, text)</p> <p>Reasonヘッダ (protocol, cause, text)</p>	<p>着信側の SIP-TA または、網内で処理を受付できない状態です。</p> <p>①レスポンスコードが 5XX/6XX の場合は、しばらくまってから再接続してください。</p> <p>②レスポンスコードが 4XX の場合は、「本商品の着信時レスポンスコード」を確認してください。</p>
無通信タイマによりメディア通信が切断 [発信側]		
	<p>SIP メディア切断</p> <p>メディア ID</p> <p>発信 自端末側電話番号 相手先電話番号</p>	<p>対処は不要です。</p>
SIP セッション確立中断 [発信側](CANCEL 送信時)		
	<p>SIP セッション確立中断</p> <p>セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1)</p> <p>発信 自切断 自端末側電話番号 相手先電話番号 要因(該当する場合のみ表示します)</p>	<p>対処は不要です。</p> <p>要因がある場合は以下のいずれかです。</p> <p>a. REGISTER Expire タイマ満了</p> <p>b. SIP 登録解除ボタン押下</p> <p>c. 装置再起動</p> <p>要因 a. は、「REGISTER Expire タイマ満了時」の対処と同じです。</p>
SIP セッション確立失敗 [発信側](INVITE- 非 2XX 受信時)		
	<p>SIP セッション確立失敗 レスポンスコード リーズン・フレーズ</p> <p>セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1)</p> <p>発信 相手切断 自端末側電話番号 相手先電話番号</p> <p>(受信したレスポンスに以下のヘッダがある場合は表示します)</p> <p>Warningヘッダ (code, host name, text)</p> <p>Reasonヘッダ (protocol, cause, text)</p>	<p>着信側の SIP-TA または、網内で処理を受付できない状態です。</p> <p>①レスポンスコードが 5XX/6XX の場合は、しばらくまってから再接続してください。</p> <p>②レスポンスコードが 4XX の場合は、「本商品の着信時レスポンスコード」および「本商品のトンネル確立不可要因」を確認してください。</p>

取得契機		ログ内容	対処方法
SIP セッション確立失敗 [発信側](INVITE 再送タイムアウト時)			
	SIP セッション確立失敗 再送タイムアウト セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1) 発信 自切断 / 相手切断 自端末側電話番号 相手先電話番号	以下を確認してください。 ①本商品～ひかり電話ルータ (※ 3) の接続状態 ②ひかり電話ルータ (※ 3) ～フレッツ網間の接続状態 ③ひかり電話ルータ (※ 3) の動作状態 (ランプ点灯状態) ④ひかり電話ルータ (※ 3) の設定	
SIP 発信抑制 [発信側]			
	SIP 発信抑制 トンネル / TCP ストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1) (本ログの契機となったパケット情報を表示します) 送信元 IP アドレス 送信元ポート番号 宛先 IP アドレス 宛先ポート番号 発信抑制要因	本商品が発信を抑制しています。 ①発信エントリの発信許容数 SIP セッション・発信許容数メディアストリーム、および SIP アダプテーション設定の最大 SIP セッション数・最大メディアストリーム数の設定を確認してください。設定が合っている場合は、既存のセッションが切断されるのを待ってください。または、契約チャンネル数を見直してください。 ②連続発信抑制中の可能性があります。しばらくまってから再接続してください。	
SIP セッション輻輳 [発信側](INVITE-503<Reason:Q.850;cause=42> 受信時)			
	SIP セッション輻輳 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 発信エントリ番号 (※ 1)	網側から輻輳通知されています。しばらく時間を置いてから再接続してください。	
SIP セッション確立完了 [着信側](INVITE-2000K 送信時)			
	SIP セッション確立完了 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 着信エントリ番号 (※ 4) 着信 自端末側電話番号 相手先電話番号 自端末側 IP アドレス 相手先 IP アドレス	対処は不要です。	

取得契機		
	ログ内容	対処方法
SIP メディア変更 [着信側](SDP 付き UPDATE-2000K 送信時)		
	SIP メディア変更完了 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 着信エントリ番号 (※ 1、※ 4) メディア ID 着信 追加 / 削除 自端末側電話番号 相手先電話番号	対処は不要です。
SIP メディア変更失敗 [着信側](SDP 付き UPDATE- 非 2xx 送信時)		
	SIP メディア変更失敗 レスポンスコード リーゾン・フレーズ セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 着信エントリ番号 (※ 1、※ 4) 着信 追加 / 削除 自端末側電話番号 相手先電話番号	メディア変更を受付できない状態です。 レスポンスコードと、「本商品の着信時レスポンスコード」を確認してください。
SIP セッション確立中断 [着信側](CANCEL 受信時)		
	SIP セッション確立中断 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 着信エントリ番号 (※ 1、※ 4) 着信 相手切断 自端末側電話番号 相手先電話番号	対処は不要です。
SIP セッション確立失敗 [着信側](INVITE- 非 2XX 送信時)		
	SIP セッション確立失敗 レスポンスコード リーゾン・フレーズ セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 着信エントリ番号 (※ 1、※ 4) 着信 自切断 / 相手切断 自端末側電話番号 相手先電話番号 要因 (該当する場合のみ表示します)	SIP セッション確立できない状態です。 レスポンスコードと、「本商品の着信時レスポンスコード」を確認してください。 要因と、「本商品のトンネル確立不可要因」を確認してください。
SIP セッション終了 [自切断側](BYE 送信時)		
	SIP セッション終了 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 エントリ番号 (複数存在する場合があります※ 2) 自切断 自端末側電話番号 相手先電話番号 要因 (該当する場合のみ表示します)	対処は不要です。 要因がある場合は以下のいずれかです。 a. REGISTER Expire タイマ滿了 b. 無通信タイマ滿了 c. SIP 登録解除ボタン押下 d. 装置再起動 e. セッションタイマ滿了 要因 a. は、「REGISTER Expire タイマ滿了時」の対処と同じです。

取得契機		
	ログ内容	対処方法
SIP セッション終了 [被切断側] (BYE 受信時)		
	SIP セッション終了 セッションを一意に特定できる ID トンネル / TCP ストリームの区別 エントリ番号 (※ 1、※ 4) 相手切断 自端末側電話番号 相手先電話番号	対処は不要です。
トンネル確立成功 [発信側]		
	トンネル確立成功 自端末側 IP アドレス 相手先 IP アドレス 自端末側ゲートウェイ ID 相手先ゲートウェイ ID 発信 ユーザー ID (※ 5) 割当 IP アドレス (※ 5) トンネル収容条件	対処は不要です。
トンネル確立失敗 [発信側]		
	トンネル確立失敗 自端末側 IP アドレス 相手先 IP アドレス 自端末側ゲートウェイ ID 相手先ゲートウェイ ID 発信 要因 (該当する場合のみ表示します)	着信側の SIP-TA とトンネルが確立できない状態です。 要因と、「本商品のトンネル確立不可要因」を確認してください。
トンネル切断 [発信側]		
	トンネル切断 自端末側 IP アドレス 相手先 IP アドレス 自端末側ゲートウェイ ID 相手先ゲートウェイ ID 発信 要因	対処は不要です。 要因がある場合は以下のいずれかです。 a. キープアライブ断検出 b. 鍵更新失敗
トンネル確立成功 [着信側]		
	トンネル確立成功 自端末側 IP アドレス 相手先 IP アドレス 自端末側ゲートウェイ ID 相手先ゲートウェイ ID 着信 ユーザー ID (※ 5) 割当 IP アドレス (※ 5) トンネル収容条件	対処は不要です。
トンネル確立失敗 [着信側]		
	トンネル確立失敗 自端末側 IP アドレス 相手先 IP アドレス 自端末側ゲートウェイ ID 相手先ゲートウェイ ID 着信 要因 (該当する場合のみ表示します)	発信側の SIP-TA とトンネルが確立できない状態です。 要因と、「本商品のトンネル確立不可要因」を確認してください。

取得契機		
	ログ内容	対処方法
トンネル切断 [着信側]		
	トンネル切断 自端末側 IP アドレス 相手先 IP アドレス 自端末側ゲートウェイ ID 相手先ゲートウェイ ID 着信 要因	対処は不要です。 要因がある場合は以下のいずれかです。 a. キープアライブ断検出 b. 鍵更新失敗

- ※ 1 トンネル用発信テーブルエン트리番号、TCP ストリーム用発信テーブルエン트리番号または TCP ストリーム用着信テーブルエン트리番号のことです。エン트리番号はテーブルを検索した結果、該当するテーブルが見つからない場合があります。
その場合およびトンネル着信時は、「エン트리番号なし」と表示されます。
- ※ 2 強制切断などを行った場合、発信テーブルのエン트리番号が複数になることがあります。
そのような場合は「No.1, 50, 100」の形式で表示されます。
- ※ 3 ひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータなどのひかり電話対応機器。
- ※ 4 トンネル用 SIP セッションの場合は、着信エン트리番号は「エン트리番号なし」と表示されます。
- ※ 5 ユーザー ID、割当 IP アドレスは、リモートアクセス型接続トンネル確立時のみ表示されます。

本商品の着信時レスポンスコード

レスポンスコード (※ 1)	原因	対処方法
403 Forbidden	・ 発信者番号認証でエラーになっています。	・ 発信者番号認証モード設定、発信者番号認証テーブル設定を確認してください。
488 Not Acceptable Here	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着信テーブルに該当エントリが存在しません。 ・ トンネル通信時に発生する場合は、事前共有鍵が一致していない可能性があります。 ・ トンネル通信時に発生する場合は、既に同一の SIP-TA との間に確立済みのトンネル通信が存在している可能性があります。 ・ 遠隔管理時に発生する場合は、遠隔管理受付設定が、無効に設定されている可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着信テーブル設定で、該当エントリを追加してください。 ・ 発信側 SIP-TA のトンネル用発信テーブル設定と着信側 SIP-TA のトンネル用着信テーブル設定を確認してください。 ・ 発信側 SIP-TA のトンネル用発信テーブル設定において、同じ宛先電話番号に対して同時に発生しうる複数の通信を単一のエントリにより設定してください。 ・ 遠隔管理を行う場合は、遠隔管理受付設定を、有効に設定してください。

レスポンスコード（※1）	原因	対処方法
486 Busy	・発信／着信許容数 SIP セッション、発信／着信許容数メディアストリーム、最大 SIP セッション数、または最大メディアストリーム数を超過しているため、セッションまたは、メディアストリームを追加することができません。	・発信／着信許容数 SIP セッション、発信／着信許容数メディアストリーム、最大 SIP セッション数、最大メディアストリーム数の設定が合っているか確認してください。設定が合っている場合は、既存のセッションが切断されるのを待ってください。または、契約チャネル数を見直してください。
480 Temporarily Unavailable	・着信側 SIP-TA の LAN1 ～ LAN4 の全ポートがリンクダウンとなっています。	・端末装置との接続を確認してください。

※1 着信時に受信したメッセージによっては、他のレスポンスコードを出力する場合があります。着信側と発信側のレスポンスコードが異なる場合がありますので、両方のコードを確認してください。着信側の本商品が生成したレスポンスコードは、ひかり電話ルータを含めた網内で変更され、発信側の本商品に通知される場合があります。

本商品のトンネル確立不可要因

要因表示	原因	対処方法
事前共有鍵不一致	・発信側 SIP-TA のトンネル用発信エン트리設定の事前共有鍵と着信側 SIP-TA のトンネル用着信テーブルの事前共有鍵が一致していません。	・発信側 SIP-TA のトンネル用発信エン트리設定と着信側 SIP-TA のトンネル用着信テーブル設定を確認してください。
認証失敗	・アドレス割当のためのユーザー認証でエラーになっています。 ・発着信間でゲートウェイ ID が一致していません。	・発信側 SIP-TA のトンネル用発信エン트리設定と着信側 SIP-TA のトンネル用アドレス割当エン트리設定を確認してください。 ・発信側と着信側の SIP アダプテーション設定を確認してください。
収容条件不一致	・トンネルの宛先条件と着信テーブルの条件が一致していません。	・発信側 SIP-TA のトンネル用発信エン트리設定と着信側 SIP-TA のトンネル用着信テーブル設定を確認してください。
アドレス割当不可	・発信側 SIP-TA に割り当てる IP アドレスがありません。	・着信側 SIP-TA のトンネル用アドレスプール設定、トンネル用アドレス割当エン트리設定を確認してください。
重複トンネル確立済み	・同一の SIP-TA との間で複数トンネルを確立しようとしています。	・同時に発生する可能性のある通信を単一のエントリになるように設定してください。

構成情報ログ表示例

構成情報ログの表示例を示します。

2016/03/14 20:16:28	構成情報ログ	SIP セッション確立失敗 400 Not Acceptable Here C-ID:3444f6cde8f5b3a7 No:1 発信 相手切断 3 Warning: 304 0 0 0 0 "Media type not available"
2016/03/14 20:17:41	構成情報ログ	SIP セッション終了 C-ID:fb623f5f9b0a909e No:1 自切断 3
2016/03/14 20:17:58	構成情報ログ	SIP セッション確立完了 C-ID:7b672f3739b0a909e No:1 発信 3
2016/03/14 20:17:58	構成情報ログ	SIP REGISTER完了 3 P-Associated-URI: sip:30ntt-east.ne.jp sip:30ntt-east.ne.jp sip:30ntt-east.ne.jp sip:30ntt-east.ne.jp sip:30ntt-east.ne.jp sip:30ntt-east.ne.jp
2016/03/14 20:18:51	構成情報ログ	SIP de-REGISTER完了 0 (SIP登録解除ボタン押下)
2016/03/14 20:19:22	構成情報ログ	SIP セッション終了 C-ID:b4a2d7ec561d429d No:1 相手切断 3
2016/03/14 20:19:28	構成情報ログ	SIP セッション確立完了 C-ID:b4a2d7ec561d429d No:1 発信 3
2016/03/14 20:19:58	構成情報ログ	SIP 宛呼抑制 QoS-Table: 1 192.160.20.2 50407 1.1.1.1 21 最大SIPセッション数超過
2016/03/14 20:19:58	構成情報ログ	192.168.20.2 50407

用語	解説
CPU	Central Processing Unit の略。 中央処理装置。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 端末装置に対し、動的に IP アドレスやネットマスクなどのネットワーク構成情報を割り当てるための機能。(TCP / IP を使用する端末装置は、固有の IP アドレスを持つ必要がある。)
DHCP サーバ	DHCP を用いて IP アドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
DHCP サーバ機能	DHCP で規定されるサーバ機能。
DNS	Domain Name System の略。 IP アドレスとドメイン名の対応を管理するシステム。
ftp	File Transfer Protocol の略。 ネットワーク上のクライアントとサーバの間でファイルを転送するためのプロトコル。
GUI	Graphical User Interface の略。 設定画面にグラフィックを用い、設定操作でマウスなどのポインティングデバイスを用いることができるユーザーインタフェースのこと。
H/W	hardware の略。 ハードウェア。
http	HyperText Transfer Protocol の略。 TCP/IP を利用するアプリケーション層プロトコルで、TCP が実現する信頼性のあるコネクションを利用して、HTML 文書や画像などのデータを Web サーバとブラウザ間でやり取りするために使われる。
ICMP パケット	ICMP におけるデータ。
IPv4	Internet Protocol version 4 の略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IP アドレスにより相手先を判断する。アドレス資源を 32 ビットで管理。
IPv6	Internet Protocol version 6 の略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IP アドレスにより相手先を判断する。アドレス資源を 128 ビットで管理。
IP パケット	IP におけるデータ。
LAN	Local Area Network の略。 1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
LAN 側インタフェース	本商品で利用ユーザーにサービスを提供する LAN 側のインタフェース。

用語	解説
NAPT 機能	アドレス変換機能の 1 つで、WAN 側 IP アドレス/ポート番号と LAN 側 IP アドレス/ポート番号を相互に変換することで、プライベートアドレスしか割り当てられていない複数の LAN 側端末から、WAN 側ネットワークを介した通信ができる。
NAT 機能	プライベートアドレスとグローバルアドレスを相互に変換し、プライベートアドレスしか割り当てられていないホストでもインターネットを利用できるようにするためのアドレス変換の機能。
NGN	Next Generation Network の略。 IP をベースとする次世代の基幹通信回線網。
NGN 回線	有線回線のうち、NGN の回線。
PING	端末間の接続が正常に行えるかどうかを試験するプログラム。
SDP	Session Description Protocol の略。 端末間のセッションに関する情報を表現し、ビデオや音声信号を送受信するために必要な情報をやりとりするためのプロトコル。
SIP	Session Initiation Protocol の略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの 1 つ。 RFC3261 で仕様が公開されている。
SIP サーバ	SIP を利用して、電話番号を IP アドレスと対応付けたり、相手を呼び出してつなぐといった呼制御を行うサーバ。
SIP アダプテーション機能	LAN 側端末の通信開始/終了に連動して、WAN 側へ対応する SIP セッションの確立/切断を行う機能。
TCP パケット	TCP におけるデータ。
TCP ストリーム通信	本商品の SIP アダプテーション機能において、指定された TCP 通信を TCP コネクション単位に扱う通信方法。
UDP パケット	UDP におけるデータ。
WAN	Wide Area Network の略。 地理的に離れた地点にあるパソコン同士を電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。
WAN 回線	本商品から見た WAN 側の回線。
WAN 側インタフェース	本商品で網側のインタフェース。
Web インタフェース	本商品本体の設定および管理を目的とした Web 形式のインタフェース。
セッション数	SIP により確立されるセッション (チャネル数)。
デフォルト	既定状態のこと。
トンネル通信	本商品の SIP アダプテーション機能において、指定されたネットワークアドレス間の通信に対しカプセル化を行うことでまとめてひとつの通信として扱う通信方法。
ひかり電話対応ホームゲートウェイ、ひかり電話ルータ	本商品をフレッツ光ネクストまたはフレッツ光ライトに接続するためのひかり電話サービス対応ホームゲートウェイ、ルータ。

用語	解説
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
フラッシュメモリ	データの消去・書き込みを自由に行うことができ、電源を切っても内容が消えない半導体メモリの一種。
フレッツ光ネクスト (NGN) 対応	本商品が利用するアクセス回線として、NTT 東日本／NTT 西日本で提供しているフレッツ光ネクストまたはフレッツ光ライト (NGN) に対応可能。
保守者	本商品に対する設定変更を行う権限を持つ者を指す。通常、拠点の NW / システムの管理者またはそれと同等の権限を有する担当者が該当する。
ユーザー端末	本商品の LAN 側インタフェースに接続し、ユーザーがサービスを受ける端末。
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
ルータ機能	IP パケットを宛先に中継する機能。
ルーティング	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。
ログ	本商品で蓄積するログ情報。
時刻同期機能	他機器に対して問い合せて時刻を同期する機能。

7-7 仕様一覧

■ SIP-TA-200 / SIP-TA-3200

■ハードウェア仕様			
項目		仕様	
		SIP-TA-200	SIP-TA-3200
WAN ポート	物理 インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45)	
	ポート数	1ポート	
	規格	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (IEEE802.3 準拠) オートネゴシエーション	
LAN ポート	物理 インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45)	
	ポート数	4ポート (スイッチングハブ内蔵)	
	規格	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (IEEE802.3 準拠) オートネゴシエーション	
ランプ 表示	電源ランプ	電源通電時：緑点灯、起動中：緑点滅	
	アラームランプ	装置障害：赤点灯、WAN側とLAN側のIPアドレス重複：赤点滅	
	SIPランプ	利用可能：緑点灯、利用中／着信中／呼び出し中：緑点滅、 輻輳中：橙点灯	
	ACTランプ	WAN-LINK アップ：緑点灯、データ通信中：緑点滅	
	更新ランプ	更新中：橙点滅、ファームウェア更新完了 (リポート必要)：緑点 灯、設定変更・保存完了 (リポート必要)：緑点滅、 更新失敗：赤点灯	
	INITランプ	工場出荷状態：橙点灯	
	10/100/1000 BASE-Tランプ	10Mbps：消灯、100Mbps/1000Mbps：緑点灯	
	LINKランプ	データ送受信中：緑点滅、接続状態：緑点灯	
操作部	リセット スイッチ	装置再起動、工場出荷時設定へ戻す 短押し：装置再起動 長押し：工場出荷時設定へ戻す	
	SIP登録解除 スイッチ	SIPサーバへの登録の解除	
設置方法		縦置きまたは壁掛け	
動作環境	性能保証温度	温度：0～40℃ 湿度：30～90% (結露しないこと)	
外形寸法 (mm)		約 42(W) × 225(H) × 155(D)mm (スタンド含まず、突起部 分を除く)	
電源		AC100V (50/60Hz)	
消費電力		最大 14W	
質量		約 1.0kg (電源アダプタ含まず)	
電磁妨害波規格		VCCI クラス B	

■ソフトウェア仕様				
項目		仕様		
		SIP-TA-200	SIP-TA-3200	
SIP アダプ テーショ ン機能	TCP ス トリーム 通信	シグナリング プロトコル	SIP(IPv4)	
		適用対象 プロトコル	TCP(IPv4)	
		グループ化 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一対地への複数の通信フローを単一 SIP セッションに収容 ・ 確立済み SIP セッションへの追加・削除 	
		グループ化 最大メディア ストリーム数	10 (ただし 1 SIP セッ ションあたり最大 5)	160 (ただし 1 SIP セッ ションあたり最大 5)
	トンネル 通信	シグナリング プロトコル	SIP(IPv6)	
		適用対象 プロトコル	TCP/UDP/ICMP、IPv4/IPv6	
		トンネル化 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一対地への複数の通信フローを単一 IPsec トンネルに収容 ・ 対応トンネル：IPv4overIPv6 および IPv6overIPv6 	
	QoS 制御		DSCP による優先制御	
	無通信時自動切断		対象トラフィック無通信時の SIP セッション自動切断	
	SIP サーバ登録解除		本商品側面スイッチ押下による SIP 登録解除	
発着信 規制	発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優先度に応じたセッション数による発信の抑制 ・ 優先度に応じたメディアストリーム数による発信の抑制 ・ BUSY 等発生時の一定時間内リダイヤル回数制限 ・ 2 つの宛先番号による冗長化機能 		
	着信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発信者番号による着信許可/拒否 ・ 優先度に応じたセッション数による着信の抑制 ・ 優先度に応じたメディアストリーム数による着信の抑制 		
最大 SIP セッション数		2	32	
WAN 自動 コンフィ グレー ション 機能	IPv4	WAN 側インタフェースに接続されたひかり電話ルータなどの DHCPv4 サーバから情報を自動で取得		
	IPv6	WAN 側インタフェースに接続されたひかり電話ルータなどの DHCPv6 サーバから情報を自動で取得		

■ソフトウェア仕様

項目		仕様		
		SIP-TA-200	SIP-TA-3200	
保守運用機能	保守運用機能	Web ベースでの GUI 機能、設定ツール		
	試験機能	ICMP ECHO (PING)		
	時刻設定	SIP ヘッダ (REGISTER (2000K)) からの時刻取得		
	再起動	本商品側面スイッチ、Web-GUI、設定ツールにて対応		
	ファームウェア更新	<ul style="list-style-type: none"> ・ファームウェアダウンロードサーバによる自動アップデート ・Web-GUI、設定ツールによる手動アップデート 		
	ログ機能	各種状態 (REGISTER、SIP セッションの状態など) ・履歴の表示、網側のエラーメッセージ (MSG 番号など) などをサポート		
	ログ保存機能	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した時刻での定期ログ保存 ・再起動時 (電源断による場合を除く) の自動ログ保存 		
ブロードバンドルータ機能	IPv4	アドレス設定機能	WAN 側: DHCPv4 (WAN 自動コンフィグレーション) LAN 側: 固定設定 (Web-GUI)	
		アドレス配布機能	LAN 側: DHCPv4 サーバ機能	
		NAPT 機能	動的 NAPT (5000 エントリ)	
		経路制御機能	スタティック設定 (50 エントリ) (Web-GUI)	
	IPv6	アドレス設定機能	WAN 側: リンクローカルアドレス LAN 側: リンクローカルアドレス、および DHCPv6-PD で受信したプレフィックスより生成 (WAN 自動コンフィグレーション)	
		アドレス配布機能	LAN 側: DHCPv6-PD 機能 / NDP(RA)	
		経路制御機能	スタティック設定 (50 エントリ) (Web-GUI)	
	DNS プロキシ機能		DNS アドレス取得方法: DHCPv4 ・ DHCPv6	
	装置内フロー数		5000 フロー (トンネル内フロー含む)	

7-8 設定記入シート

本商品の設定記入シートを記載していますので、適宜ご利用ください。

【基本設定－発着信設定】

〔トンネル用〕

<トンネル用発信テーブル設定> (○:選択)

【トンネル用発信エントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() SIP-TA-200 の場合は 1 ~ 20 から、 SIP-TA-3200 の場合は 1 ~ 300 から、 選択します。	SIP-TA-200: 1 ~ 20 SIP-TA-3200: 1 ~ 300 ※ 1
発信エントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
プロトコル	<input type="checkbox"/> TCP <input type="checkbox"/> UDP <input type="checkbox"/> ICMP	全てチェック入り
条件 1：検索対象	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
条件 1：宛先 IP アドレス/マスク長	(. . .) / () または (: : : : : : :) / ()	—
条件 1：宛先 TCP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 () ~ () (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (TCP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 1：宛先 UDP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 () ~ () (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (UDP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 1：送信元 IP アドレス/マスク長	(. . .) / () または (: : : : : : :) / ()	—
条件 1：送信元 TCP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 () ~ () (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (TCP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 1：送信元 UDP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 () ~ () (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (UDP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 2：検索対象	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	無効
条件 2：宛先 IP アドレス/マスク長	(. . .) / () または (: : : : : : :) / ()	—
条件 2：宛先 TCP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 () ~ () (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (TCP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 2：宛先 UDP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 () ~ () (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (UDP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 2：送信元 IP アドレス/マスク長	(. . .) / () または (: : : : : : :) / ()	—
条件 2：送信元 TCP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定 () ~ () (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (TCP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意

【トンネル用発信エントリ設定】		初期値
条件 2：送信元 UDP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定()~() (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (UDP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 3：検索対象	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	無効
条件 3：宛先 IP アドレス/マスク長	(. . .)/()または (: : : : : :)/()	—
条件 3：宛先 TCP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定()~() (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (TCP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 3：宛先 UDP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定()~() (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (UDP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 3：送信元 IP アドレス/マスク長	(. . .)/()または (: : : : : :)/()	—
条件 3：送信元 TCP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定()~() (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (TCP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
条件 3：送信元 UDP ポート番号	<input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 指定()~() (指定選択時の入力範囲は、1 ~ 65535 です) (UDP プロトコル選択時のみ設定可能です)	任意
宛先電話番号	() (1 文字以上 32 文字以内の半角数字および # が使用できます)	—
宛先電話番号 (予備)	() (1 文字以上 32 文字以内の半角数字および # が使用できます)	—
メディア情報帯域幅	() (範囲は、1 ~ 1000 です)	—
発信許容数 SIP セッション	() SIP-TA-200 の場合は 0 ~ 2 から、 SIP-TA-3200 の場合は 0 ~ 32 から、 選択します。	0
無通信状態判定時間 (TCP)	<input type="radio"/> デフォルト (600 秒) <input type="radio"/> 入力値()秒 (入力値選択時の入力範囲は、10 ~ 3600 です)	デフォルト (600 秒)
無通信状態判定時間 (UDP・ICMP)	<input type="radio"/> デフォルト (20 秒) <input type="radio"/> 入力値()秒 (入力値選択時の入力範囲は、10 ~ 3600 です)	デフォルト (20 秒)
事前共有鍵	() (1 文字以上 128 文字以内の半角英数字と記号が使用できます)	—
接続形態	<input type="radio"/> LAN 間接続 <input type="radio"/> リモートアクセス型接続	LAN 間接続

【トンネル用発信エントリ設定】		初期値
ユーザー ID	() (1文字以上64文字以内の半角英数字と「-」、「_」、 「.」、「@」が使用できます) (リモートアクセス型接続選択時のみ設定可能です)	—
パスワード	() (1文字以上64文字以内の半角英数字と記号が使用できます) (リモートアクセス型接続選択時のみ設定可能です)	—
※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。		

※「トンネル用発信エントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

<トンネル用着信テーブル設定>

【トンネル用着信テーブル設定】		初期値
事前共有鍵	() (1文字以上128文字以内の半角英数字と記号が使用できます)	—
受付 IP アドレス 1 : IP アドレス/マスク長	(. . .) / () または (: : : : : :) / ()	—
受付 IP アドレス 2 : IP アドレス/マスク長	(. . .) / () または (: : : : : :) / ()	—
受付 IP アドレス 3 : IP アドレス/マスク長	(. . .) / () または (: : : : : :) / ()	—

<トンネル用アドレスプール設定>

【トンネル用アドレスプール設定】		初期値
IPv4 アドレス/ マスク長	(. . .) / ()	—
IPv6 アドレス/ プレフィックス長	(: : : : : :) / ()	—

<トンネル用アドレス割当エントリ設定> (○: 選択)

【トンネル用アドレス割当エントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() 1 ~ 100 から、選択します。	1 ~ 100 ※ 1
アドレス割当エントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
ユーザー ID	() (1文字以上64文字以内の半角英数字と「-」、「_」、 「.」、「@」が使用できます) (リモートアクセス型接続選択時のみ設定可能です)	—
パスワード	() (1文字以上64文字以内の半角英数字と記号が使用できます) (リモートアクセス型接続選択時のみ設定可能です)	—
IPv4 アドレス	(. . .)	—
IPv6 アドレス	(: : : : : :)	—
※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。		

※ 「トンネル用アドレス割当エントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

[TCP ストリーム用]
 < TCP ストリーム用発信テーブル設定 > (○: 選択)

【TCP ストリーム用発信エントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() SIP-TA-200 の場合は 1 ~ 20 から、 SIP-TA-3200 の場合は 1 ~ 100 から、 選択します。	SIP-TA-200: 1 ~ 20 SIP-TA-3200: 1 ~ 100 ※ 1
発信エントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
宛先 IPv4 アドレス	(. . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、最下位 8 ビット が 255 の IPv4 アドレスには設定できません)	—
宛先ポート番号	() (範囲は、1 ~ 65535 です)	—
送信元 IPv4 アドレス	(. . .) (255.255.255.255 には設定できません)	—
送信元ポート番号	() (範囲は、0 ~ 65535 です)	—
宛先電話番号	() (1 文字以上 32 文字以内の半角数字および # が使用できます)	—
宛先電話番号 (予備)	() (1 文字以上 32 文字以内の半角数字および # が使用できます)	—
グループ番号	() (範囲は、0 ~ 65535 です)	0
メディア情報帯域幅	() (範囲は、1 ~ 1000 です)	—
メディア情報種別※ 2	<input type="radio"/> データ通信 <input type="radio"/> 遠隔管理	データ通信
発信許容数 SIP セッション	() SIP-TA-200 の場合は 0 ~ 2 から、 SIP-TA-3200 の場合は 0 ~ 32 から、 選択します。	0
発信許容数メディア ストリーム数	() SIP-TA-200 の場合は 0 ~ 10 から、 SIP-TA-3200 の場合は 0 ~ 160 から、 選択します。	0
無通信状態判定時間	<input type="radio"/> デフォルト (600 秒) <input type="radio"/> 入力値 () 秒 (入力値選択時の入力範囲は、10 ~ 3600 です)	デフォルト (600 秒)
※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。		
※ 2 保守者 / 設定ツールの時だけ表示されます。		

※ 「TCP ストリーム用発信エントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

< TCP ストリーム用着信テーブル設定 > (○: 選択)

【TCP ストリーム用着信エントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() SIP-TA-200 の場合は 1 ~ 20 から、 SIP-TA-3200 の場合は 1 ~ 50 から、 選択します。	SIP-TA-200: 1 ~ 20 SIP-TA-3200: 1 ~ 50 ※ 1
着信エントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
電話番号	() (1 文字以上 32 文字以内の半角数字が使用 できます)	—
着信先 IPv4 アドレス	(. . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、 「223.255.255.255」の IP アドレスには 設定できません)	—
着信先ポート番号	() (範囲は 1 ~ 65535 です)	—
着信許容数 SIP セッション	() SIP-TA-200 の場合は 0 ~ 2 から、 SIP-TA-3200 の場合は 0 ~ 32 から、 選択します。	0
着信許容数メディア ストリーム	() SIP-TA-200 の場合は 0 ~ 10 から、 SIP-TA-3200 の場合は 0 ~ 160 から、 選択します。	0

※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。

※ 「TCP ストリーム用着信エントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

<発信者番号認証テーブル設定> (○:選択)

【発信者番号認証エントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() SIP-TA-200 の場合は 1 ~ 200 から、 SIP-TA-3200 の場合は 1 ~ 2000 から、 選択します。	SIP-TA-200: 1 ~ 200 SIP-TA-3200: 1 ~ 2000 ※ 1
発信者番号認証エントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
発信者番号	<input type="radio"/> 電話番号指定 () (1 文字以上 32 文字以内の半角数字が使用 できます) <input type="radio"/> 通知あり <input type="radio"/> 非通知	電話番号指定 (電話番号は空白)
宛先電話番号	() (1 文字以上 32 文字以内の半角数字が使用 できます)	—
※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。		

※ 「発信者番号認証エントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

【詳細設定】

< 定期保存設定 > (○: 選択)

【定期保存設定】		初期値
定期保存	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
定期保存時刻	(時 分)	2時0分

【詳細設定-ネットワーク設定】

< LAN 接続・DHCPv4 サーバ設定 > (○: 選択)

【LAN 側 IPv4 アドレス】		初期値
IPv4 アドレス	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、ホスト部がオール「0」/オール「1」の IPv4 アドレスには設定できません)	192.168.20.1
ネットマスク	(. . . .) (「255.0.0.0」未満のマスク、「255.255.255.255」には設定できません)	255.255.255.0
【DHCPv4 サーバ設定】		
DHCPv4 サーバ機能	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
割当先頭 IPv4 アドレス	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、ホスト部がオール「0」/オール「1」の IPv4 アドレスには設定できません)	192.168.20.2
割当可能数	() (範囲は、1 ~ 100 です)	64
デフォルトゲートウェイ	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、「223.255.255.255」の IPv4 アドレスには設定できません)	192.168.20.1
プライマリ DNS サーバ	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、「223.255.255.255」の IPv4 アドレスには設定できません)	192.168.20.1
セカンダリ DNS サーバ	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、「223.255.255.255」の IPv4 アドレスには設定できません)	—
リース時間	() 時間 (範囲は 0 ~ 24 です)	24

<アドレス割当設定> (○:選択)

【DHCPv4 アドレス割当エントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() 1 ~ 100 から、選択します。	1 ~ 100 ※ 1
アドレス割当エントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
IPv4 アドレス	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、 「223.255.255.255」の IPv4 アドレス には設定できません)	—
MAC アドレス	(: : : :)	—

※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。

※ 「DHCPv4 アドレス割当エントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

<静的ルート設定 (IPv4)> (○:選択)

【IPv4 静的ルートエントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() 1 ~ 50 から、選択します。	1 ~ 50 ※ 1
IPv4 ルートエントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
宛先 IPv4 アドレス	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、 「223.255.255.255」の IPv4 アドレス には設定できません)	—
ネットマスク	(. . . .) (「255.0.0.0」未満のマスクには設定できません)	—
ネクストホップ	(. . . .) (最上位 8 ビットが 1 ~ 223 以外、 「223.255.255.255」の IPv4 アドレス には設定できません)	—

※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。

※ 「IPv4 静的ルートエントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

< 静的ルート設定 (IPv6) > (○:選択)

【IPv6 静的ルートエントリ設定】		初期値
エントリ番号 (ID)	() 1 ~ 50 から、選択します。	1 ~ 50 ※ 1
IPv6 ルートエントリ	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
宛先 IPv6 アドレス	(: : : : : :)	—
プレフィックス長	() (範囲は、1 ~ 128 です)	—
ネクストホップ	(: : : : : :)	—
※ 1 選択するエントリによって、初期値は異なります。		

※ 「IPv6 静的ルートエントリ設定」を複数設定している場合は、このページをコピーしてご使用ください。

【詳細設定 – SIP 関連設定】

< SIP アダプテーション設定 > (○: 選択)

【SIP アダプテーション設定】		初期値
最大 SIP セッション数	() (範囲は、SIP-TA-200 の場合は 1 ~ 2、 SIP-TA-3200 の場合は 1 ~ 32 です)	SIP-TA-200 の場合 は 2 SIP-TA-3200 の場合 は 32
最大メディア ストリーム数	() (範囲は、SIP-TA-200 の場合は 1 ~ 10、 SIP-TA-3200 の場合は 1 ~ 160 です)	SIP-TA-200 の場合 は 10 SIP-TA-3200 の場合 は 160
最大グループ化数	() 1 ~ 5 から選択します。	5
グループ化帯域閾値	() kbps (範囲は、1 ~ 5000 です)	1000
無通信時判定時間 (TCP)	() 秒 (範囲は、10 ~ 3600 です)	600
無通信時判定時間 (UDP・ICMP)	() 秒 (範囲は、10 ~ 3600 です)	20
TCP 切断後 SIP セッション保持時 間	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 10 秒 <input type="radio"/> 20 秒	なし
ゲートウェイ ID	<input type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動()@()	自動

< SIP アダプテーション詳細設定 >

【SIP アダプテーション詳細設定】		初期値
連続発信許可数	() 回 (範囲は、1 ~ 15 です)	15
連続発信抑制タイマ	() 秒 (範囲は、0 ~ 3600 です)	180

※本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

< 発信者番号認証モード設定 > (○: 選択)

【発信者番号認証モード設定】		初期値
認証モード	<input type="radio"/> 認証しない <input type="radio"/> 拒否リスト <input type="radio"/> 許可リスト	許可リスト

【詳細設定－ポート設定】

＜ポート通信設定＞（○：選択）

【WAN ポート】		初期値
WAN	<input type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 1G 全二重 <input type="radio"/> 100M 全二重 <input type="radio"/> 10M 全二重 <input type="radio"/> 100M 半二重 <input type="radio"/> 10M 半二重	自動
【LAN ポート】		
LAN1	<input type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 1G 全二重 <input type="radio"/> 100M 全二重 <input type="radio"/> 10M 全二重 <input type="radio"/> 100M 半二重 <input type="radio"/> 10M 半二重	自動
LAN2	<input type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 1G 全二重 <input type="radio"/> 100M 全二重 <input type="radio"/> 10M 全二重 <input type="radio"/> 100M 半二重 <input type="radio"/> 10M 半二重	自動
LAN3	<input type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 1G 全二重 <input type="radio"/> 100M 全二重 <input type="radio"/> 10M 全二重 <input type="radio"/> 100M 半二重 <input type="radio"/> 10M 半二重	自動
LAN4	<input type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 1G 全二重 <input type="radio"/> 100M 全二重 <input type="radio"/> 10M 全二重 <input type="radio"/> 100M 半二重 <input type="radio"/> 10M 半二重	自動

【メンテナンス】

＜パスワード変更＞

【パスワード変更】		初期値
パスワード	()	—

<ファームウェア自動更新設定> (○:選択)

【自動アップデート】		初期値
自動更新	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	有効
自動更新時間	()時()分	04時00分
自動更新サーバURL	()	http://www.cpeinfo.jp/

※本パラメータは、保守者/設定ツールの時だけ設定可能です。ユーザーの時は設定を確認可能です。

<遠隔管理受付設定> (○:選択)

【遠隔管理受付設定】		初期値
遠隔管理受付	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	無効

※本パラメータは、保守者の時だけ設定可能です。

●お客様サポートについて

本商品について、不明な点がございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：0120-970413（9:00～17:00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合
03-5667-7100（通話料金がかかります）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：0120-242751（24時間 年中無休*）

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：0120-248995

（携帯電話・PHSからもご利用可能です。）

□受付時間

・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：

9:00～17:00（年末年始12月29日～1月3日を除く）

・故障に関するお問い合わせ：24時間（年中無休*）

※故障修理対応時間は9:00～17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

【数字】

10/100/1000BASE-T ランプ
 1-5、1-8
 2 番号冗長機能 4-43

【A～Z】

ACT ランプ 1-5、1-8
 ACT ランプ / 消灯 6-4
 ACT ランプ / 緑点灯 6-2
 ACT ランプ / 緑点滅 6-2
 admin 3-13、7-17
 DHCP 4-9、4-23、4-27、4-33
 DHCPv4 サーバ設定 4-11、5-27、7-44
 http 7-31
 INIT ランプ 1-5、1-8
 INIT ランプ / 消灯 6-2
 INIT ランプ / 橙点灯 6-3
 IP アドレスの確認 / Windows® 7 3-6
 IP アドレスの確認 / Windows Vista® 7-6
 IP アドレスの確認 / Windows® XP 7-9
 LAN ケーブル 1-2、1-3
 LAN 接続設定 4-11、5-27、7-44
 LAN ポート 1-5、1-8
 LINK ランプ 1-5、1-8
 LINK ランプ / 消灯 6-8
 LINK ランプ / 緑点灯 6-5
 LINK ランプ / 緑点滅 6-5
 mnt 3-13、7-17
 MTU 値 5-53～5-56
 PING テスト 5-48、7-18
 SIP アダプテーション詳細設定
 5-36、7-47
 SIP アダプテーション設定
 4-11、5-33、7-47
 SIP セッション情報 5-52、7-18
 SIP セッション情報確認 4-17、4-19
 SIP セッション着信 4-19
 SIP セッション発信 4-17
 SIP セッション保持時間 4-11、5-33
 SIP 登録解除スイッチ 1-5、1-8

SIP 登録状態 5-52、7-18
 SIP ランプ 1-5、1-8
 SIP ランプ / 消灯 6-4
 SIP ランプ / 橙点灯 6-4
 SIP ランプ / 緑点灯 6-2
 SIP ランプ / 緑点滅 6-2
 TCP ストリーム通信
 4-2、4-8、4-9、4-15、4-31、4-33
 usr 3-13、7-17
 WAN ポート 1-5、1-8
 Web-GUI 接続
 4-18、4-20、4-44、5-51

【ア行】

アクティブスクリプト 3-9
 アドレスプール設定
 4-14、5-14、5-15、7-39
 アラームランプ 1-5、1-8
 アラームランプ / 赤点灯 6-3
 アラームランプ / 赤点滅 6-3
 アラームランプ / 消灯 6-2
 インタフェース ID 5-55、5-56
 インタフェース状態 5-53、5-55
 遠隔管理 4-44
 遠隔管理受付設定 5-51、7-49
 エンドユーザー 3-13、7-17
 エントリ選択 5-3

【カ行】

壁掛け用ネジ 1-2、1-3
 完全初期化 (スイッチ操作) 7-15
 グループ化機能 4-40
 グローバル 5-56
 ゲートウェイ ID 4-11、5-33
 工場出荷時 5-24
 更新ランプ 1-5、1-8
 更新ランプ / 赤点灯 6-3
 更新ランプ / 消灯 6-2
 更新ランプ / 橙点滅 6-3
 更新ランプ / 緑点灯 6-3
 更新ランプ / 緑点滅 6-3

故障	7-50	電源ランプ / 緑点灯	6-2
【サ行】		電源ランプ / 緑点滅	6-3
再起動	1-6、1-9、5-49、7-17	伝送速度 / 伝送モード	5-39
最大SIPセッション数	4-36、4-40	トンネル通信	4-2、4-4~4-6、4-12~4-14、4-21、4-23、4-27
最大グループ化数	4-41	【ナ行】	
最大メディアストリーム数	4-36	ナンバー・ディスプレイ	4-37
時刻表示	5-56	【ハ行】	
事前共有鍵	4-12、4-14、5-9、5-13、7-38、7-39	パスワード	3-13
自動アップデート	5-46、7-49	パスワード変更	5-41、7-42
初期化 / 完全初期化	7-12	発信者情報 (番号) の通知	4-37
初期化 / 部分初期化	7-14	発信者番号認証テーブル設定	4-12、4-14、4-15、5-22、7-43
スタンド	1-2、1-3、1-5、1-8	発信者番号認証モード設定	4-12、4-14、4-15、5-38、7-47
静的ルート設定	5-31、5-32	発信テーブル設定	4-12、4-13、4-15、5-8、5-16、7-37、7-41
接続先電話番号	4-43	ひかり電話サービス	5-12、5-19、5-34
設定記入シート	7-37	ひかり電話対応ホームゲートウェイ	2-9
設定情報のアップロード	5-44	ひかり電話ルータ	2-9
設定情報のダウンロード	5-45	ファームウェア更新	5-46
設定値の初期化	5-24	複数チャンネル	4-38
設定値の保存	7-10	付属品	1-2
設定ツール	1-3、3-13、5-51、7-17	ポート通信設定	5-39、7-48
設定ファイル / アップロード	5-44	保守者	3-13、7-17
設定ファイル / ダウンロード	5-45	【マ行】	
設定ファイル / 復元	5-44	マイナンバー	4-39
設定ファイル / 保存	5-45	無通信	4-11、5-9、5-16、5-33、7-38、7-41、7-47
設定保存	4-11~4-15、5-42、7-18	メインメニュー	5-3
装置再起動	4-11、5-49、7-18	メディア情報種別	5-16
【タ行】		メディア情報帯域幅	5-9、5-16、7-38、7-41
ダブルチャンネル	4-38	メニュー	5-3
着信テーブル設定	4-9、4-14、5-13、6-20、7-36	リセットスイッチ	1-5、1-8
チャンネル	4-38、4-40	リンクローカル	5-55、5-56
追加番号	4-39	連続発信	5-36
通信情報ログ	5-25、7-19	ログ種別	7-19
通信速度	5-53、5-55	【ラ行】	
定期保存設定	5-26、7-44	リセットスイッチ	1-5、1-8
電源アダプタ	1-2、1-3、2-8、2-9	リンクローカル	5-55、5-56
電源ランプ	1-5、1-8	連続発信	5-36
電源ランプ / 消灯	6-3	ログ種別	7-19

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：

[NTT東日本] <http://web116.jp/ced/>

[NTT西日本] <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-970413** (9:00～17:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7100 (通話料金がかかります)

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-242751** (24時間 年中無休*)

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-248995**

(携帯電話・PHSからもご利用可能です。)

□受付時間

・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：

9:00～17:00 (年末年始12月29日～1月3日を除く)

・故障に関するお問い合わせ：24時間 (年中無休)*

※故障修理対応時間は9:00～17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

